

平成 26 年度第 3 回
鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会

日時：平成 27 年 2 月 24 日（火）

午前 9 時 30 分～

会場：鶴岡市役所本所 6 階大会議室

《次 第》

1 開 会

2 挨 拶

3 協 議

(1) 地域コミュニティ推進計画（仮称）について

①各地域のコミュニティの現状・課題等

②課題の解決に向けた取り組み等

(2) その他

4 そ の 他

5 閉 会

鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会委員名簿

	氏 名	役 職	備 考
1	三矢 正士	鶴岡市町内会連合会常務理事	副委員長
2	畠山 健	鶴岡市消防団副団長	
3	半澤 活	鶴岡市社会福祉協議会地域福祉課長	
4	小林 和男	鶴岡市社会教育委員長	
5	清野 康子	鶴岡市生涯学習推進員	
6	阿部 等	(特)公益のふるさと創り鶴岡常務理事	
7	田口 比呂貴	鶴岡市地域おこし協力隊	
8	早尻 正宏	山形大学農学部准教授	
9	武田 真理子	東北公益文科大学准教授	委員長
10	松浦 伸	藤島中学校前PTA会長	
11	加藤 欣也	鶴岡まちづくり塾羽黒グループ	
12	鈴木 光秀	産直めぐり取締役	
13	小関 祐二	六十里越街道会議会長	
14	斎藤 優子	あつみ湯けむり女子会会長	
15	仲川 昌夫	公募委員	
16	阿部 甚一	公募委員	
17	平田 充廣	公募委員	

鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会幹事名簿

H26. 4

	所 属	職名	氏 名	備考
1	市民部	部長	川畑 仁	
2	政策企画課	課長	高橋 健彦	
3	地域振興課	課長	阿部 真一	
4	防災安全課	課長	阿部 一也	
5	環境課	課長	五十嵐 満	
6	廃棄物対策課	課長	中村 賢	
7	健康課	課長	原田 真弓	
8	福祉課	課長	相澤 康夫	
9	長寿介護課	課長	佐藤 正規	
10	農政課	課長	富樫 栄一	
11	商工課	課長	増田 亨	
12	土木課	課長	佐藤 正明	
13	藤島庁舎総務企画課	課長	本間 光夫	
14	羽黒庁舎総務企画課	課長	阿部 寛	
15	櫛引庁舎総務企画課	課長	菊地 ゆかり	
16	朝日庁舎総務企画課	課長	佐藤 利浩	
17	温海庁舎総務企画課	課長	五十嵐 勇一	
18	消防本部警防課	課長	佐藤 巖	
19	教育委員会学校教育課	課長	生田 浩樹	
20	教育委員会社会教育課	課長	榊原 賢一	

事務局：コミュニティ推進課

職 名	氏 名
課長	小野寺 雄次
コミュニティ主任	加藤 保
主査	佐藤 玲子
主査	五十嵐 泰彦
コミュニティ専門員	渡部 幸一
主任	五十嵐 哲夫

庁舎総務企画課

職 名	氏 名
(藤島)コミュニティ防災主査	黒井 浩之
(羽黒)コミュニティ防災主査	伊原 千佳子
(櫛引)主任	佐藤 文博
(朝日)専門員	難波 陽登
(温海)コミュニティ防災主査	粕谷 一郎

鶴岡市地域コミュニティ推進計画（仮称）に対する意見等への対応

平成26年度第2回鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会（平成26年11月26日）

No.	項目	意見等	対応
1	現状の整理	現状を整理する部分に人口予測などの数値を可能であれば入れてほしい。	「1 地域コミュニティをめぐる現状」に、人口や年齢構成の将来推計数値を記載します。
2	地域資源の明確化	地域資源の各項目の定義を示すべきではないか。	「2 地域資源の明確化」に、分類の定義を記載します。
3	地域資源の明確化	旧町名は地域資源の範疇に入らないのか。	「2 地域資源の明確化」の鶴岡地域の（1）－②歴史的資源として記載します。
4	問題意識、課題	住民台帳を作ることにしたら守秘義務の問題が生じた。民生委員の仕事なのか、社協の仕事なのか、自治会・社協・民生委員と一緒に作り上げたらいいのか疑問に感じている。	「3－（1）－①単位自治組織・②広域コミュニティ組織の運営上の課題」の【情報伝達・収集】の項目の「現状、問題意識」で取り上げています。
5	問題意識、課題	住民情報を町内会長が全然知らないままで、民生委員だけが分かっているということでのよいのか。共有できてもいいのではないか。	「3－（1）－①単位自治組織・②広域コミュニティ組織の運営上の課題」の【情報伝達・収集】の項目の「課題項目」を補足します。
6	問題意識、課題	住民情報を把握するために会員台帳の必要性を訴えることが必要と思う。民生委員が得る情報とは別に自治組織でやらざるを得ないのではないか。	「3－（1）－①単位自治組織・②広域コミュニティ組織の運営上の課題」の【情報伝達・収集】の項目の「具体的取り組み」へ反映します。
7	問題意識、課題	アンケートを書いてもらうことで住民情報を集約する方法もある。	「3－（1）－①単位自治組織・②広域コミュニティ組織の運営上の課題」の【情報伝達・収集】の項目の「具体的取り組み」へ反映します。
8	問題意識、課題	地域のコミュニティの中で動いている組織がもっとあると思うので、それをもう少し計画を作る時に出してほしい。	地域コミュニティに関連する主な組織等の現状について、地域ごとに整理します。
9	問題意識、課題	町内会長や町内会に行政が振っている役割が相当ある。町内会が担っている役割を教えてください。	鶴岡市町内会連合会が作成した『町内会長のための参考ノート』を参考資料として委員に提供します。
10	計画全体	鶴岡地域全体の地域コミュニティはこうあるべきというものをもっと少し作る必要がある。	『鶴岡市地域コミュニティ基本方針』に掲げた「基本理念」や「目指すコミュニティ像」、「地域コミュニティの果たす役割」の実現に向けた地域ごとのコミュニティづくりのコンセプトを分かりやすくまとめることを検討します。
11	計画全体	現状や課題等について、共通する項目には印を付けるとか、抽出するとかするだけでも、課題を共有してノウハウを共有することもできると思う。	分かりやすく整理します。
12	問題意識、課題	全地域に共通する組織等でも、地域によって中身や質が違うかもしれないので、もう少し整理する必要がある。	地域コミュニティに関連する主な組織等の現状について、地域ごとに整理します。

13	問題意識、課題	地域コミュニティ関連のいろいろな団体があるが、似たような団体がある。それらに対して負担金、総会等の出費があり、負担が二重になっている。出席者の顔ぶれも同じであり、少し整理してほしい。	「3-(1)-①単位自治組織の組織上の課題」の【役員】・【会費・資金】・【行政との関わり】の項目に取り上げています。さらに「具体的取り組み」へ反映します。
14	問題意識、課題	会員減少や自治組織の加入率を考えた場合、対応が難しいのはアパートである。アパート住人から町内会に入ってもらえるよう、また、町内会費も家賃と一緒に集めてもらうなど市から家主に指導してもらえると町内会は非常に助かる。	「3-(1)-①単位自治組織の組織上の課題」の【会員】の項目及び「3-(2)地域(住民)が抱える課題」の【その他】の項目に取り上げています。さらに「具体的取り組み」へ反映します。

各地域団体の現状、問題意識

各種地域団体の現状、問題意識

<p>【自主防災組織】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○組織はあるものの、十分な機能を果たし得る体制に至っていないところもある ○役員改選などにより、リーダーが育ちにくい
<p>【消防団】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○団員の担い手不足 ○団員のサラリーマン化で日中の団員が少ない ○消防団 OB による消防団活動協力員制度もあるが、協力員自体もサラリーマン化しており、十分に機能を果たすことが難しい ○学区・地区の区域と消防団分団の区域が一致していないところもあり、学区・地区全体の自主防災活動との連携が難しい ○消防団は地域活動と密接な関わりがあるが、その担い手確保にあたって、自治組織との協力・連携体制がとれていない
<p>【防犯協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○活動を広げ活発化を図るために、小学校の見守り活動や交通安全活動等と一体化した活動を検討することも必要ではないか ○広い世代にわたるリーダーの人材育成が必要ではないか
<p>【交通安全協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市街地の分会単位の交通安全協会は、高齢化により組織の維持が難しくなっている ○分会における交通安全活動を、交通安全協会としてではなく町内会の一部に組み入れているところもある ○会員数の減少に伴い予算も減少し活動への影響が懸念される ○役員の担い手不足
<p>【学区・地区社会福祉協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○少子化、高齢化、人口減少社会の到来等、地域福祉事業における社会福祉協議会の役割や必要性はますます重要となっており、関係事業を進めるうえで経費の増大も予想される ○学区・地区社会福祉協議会の事業を進める上で、広域コミュニティ組織や町内会・住民会等との連携が必要である
<p>【民生児童委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○なり手がおらず、欠員になっている民生区もある ○民生児童委員になると、地域における他の様々な役割を担わせられることが負担の一要因となっている ○人選にあたっては、町内会長・住民会長が大変苦慮している ○民生児童委員が持つ地域に密着した情報を地域が必要とする場合があり、一方で、民生児童委員が業務を進める上で地域との連携を必要とする場合もあることから、相互の連携が重要である
<p>【生涯学習推進員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習推進員と住民自治組織における役員・スタッフとの間に、役割の差が見られない ○適切な人材を見つけることが難しい
<p>【学区・地区体育協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○役員の担い手となる人材不足が課題となっている学区・地区もある ○自治組織と体育協会が連携し行事等を相互協力し多くの参加を得るなど良好な学区・地区もある ○学区・地区によっては、子育て世代の構成員がスポ少活動などで休日にも忙しく、地域行事に参加できない方が多く、参加者の多くを高齢者が占めてしまうこともある ○学区・地区体育協会としては、学校等とも連携・協力できる関係を構築することが望ましいと考えている

【鶴岡地域】

【婦人会】

- 当初は女性の地位向上を目的に設立されたが、現在は女性による社会貢献・地域づくり活動に重点が置かれている
- 学区・地区単位の婦人会がないところもある
- 町内会・住民会単位で婦人部や婦人会が活動しているところもある
- 地域事業の中心になって活動しており、婦人会の協力なしには活動が成り立たないところもある
- 会員の高齢化が進み、積極的に組織を引き継ぐ人が出てこなかったため、町内会・住民会単位や学区・地区単位の婦人会がなくなったところもある(組織の新陳代謝が上手くいかない)
- 女性団体の場合は組織の中心となるリーダーがなかなか生まれにくい
- 若い人が婦人会に入らない傾向にあるとともに、若い世代の参加が少ないため、地域行事等の運営が難しくなった
- 市街地では、女性の寄合的な性格でかつ拘束性のない集まりを作りたいという声は聞こえてきていて、実際には大小様々な集まりが町内会の枠以外に生まれてきている例もある

【老人クラブ】

- 高齢化社会の中で、高齢者の組織は、その経験や能力を生かすためにも重要な組織であるが、クラブ数は減少してきている
- 入会する人が減ってきている

【PTA】

- 小学校の統廃合で今後どのようになるのか不安である
- 子どもを持つ家庭が減少しているためそれぞれの家庭の負担が増えている
- 現在の活動は、子どもを育てる知識を得るための研修活動が中心であるが、参加者が集まらない傾向にある
- 事務局は学校が担当するため組織の維持はできるが、少子化のため役員のなり手がいない等、運営が難しくなっている

各種地域団体の現状、問題意識

<p>【自主防災組織】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○藤島地域 61 町内会すべてに 54 自主防災組織が結成され、結成率 100%となっている ○各防災会によって活動内容や訓練の有無を含め、防災意識に差がある ○組織はあるものの、十分な機能を果たし得る体制には至っていない防災会がある ○広域コミュニティ組織に設置された自主防災部会との役割分担が不明確 ○自主防災組織台帳、人材台帳、要援護者台帳、防災マップ等が未整備
<p>【消防団】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○団員の担い手不足 ○団員が地区出身だが現在市街地に居住していて地区に住んでいない団員が増えてきている(有事の際に対応できない可能性あり)
<p>【防犯協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各町内会長と防犯連絡員(警察署長が委嘱)及び消防団幹部で構成し、事務局は藤島庁舎 ○研修会や街頭指導、防犯のぼりの設置などを行っている ○町内会長が任期で交代するため、活動の理解が進まない
<p>【交通安全協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○他地域に比べ活動している方だと感じる。メンバーは固定化している ○次代を担う人材が出てこないため、役員の選出が困難である。三役の担い手がいない。各町内会より選出されるが名前だけの人もいる。意識の差を感じる ○交通安全協会の加入者が減少しているため、地域への助成金も減っており、地域の活動が縮小されている
<p>【社会福祉協議会藤島福祉センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○住民主体の地域福祉活動の充実 ○自治振興会との連携した地域福祉活動の推進 ○福祉センター活動の見える化の必要性
<p>【民生児童委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○改選期になると人選に苦慮する。近年特に容易ではなくなった ○人により活動に差が出てしまう ○組織はあり十分機能している ○3 年 1 期で退任する委員が増加
<p>【生涯学習推進員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○適正な人材を見つけるのが困難である ○推進員は協力的であると思う
<p>【体育協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○組織の連携及び運営の円滑化が図られている
<p>【婦人会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○藤島地域婦人は 5 地区の支部制をしていたが、役員の担い手がいないのと、新規加入会員の減少が原因で、支部制にこだわらずに活動している。今後もこの形が進んでいくとおもわれる。支部として残っているところは、活動センターの事業の大きな戦力として頑張っている。支部制から抜けた地区は代用の母の会組織や名前を変えた団体が活動センターの事業に協力している ○総じて、良い事は継続し、変えねばならないことは相談の上、時代のニーズに対応していこうと思っている例【あすなる会】 ○会員増加は、今自分たちが楽しく学び、集う姿を見せていれば、やがてはと期待して随時会員募集している

【藤島地域】

【老人クラブ】

- 「役員の担い手がいない」、「連合会会費の負担が大きい」の理由で退会したクラブが多い
- 単位クラブが地区老人クラブ連合会と藤島連合会へ会費を納入しているため、負担が大きい
- 鶴岡市老人クラブへ統合してほしいと言われたが、役員の負担、負担金の増額が見込めるので、加入しないという意見が多い

【PTA】

- 役員の担い手がいない
- 町内会を選出区分とする専門部役員があるが、子どもがいないため選出できなくなっている
- 児童の減少に伴い、活動も縮小傾向にある

【公民館組織】

- 参加者の確保が難しくなっている
- 地区によっては新規事業への取り組みがなかなか出てこない

【婦人防火クラブ】

- 全戸加入が原則であるし、防災と交通安全の活動をしているのに、理解してもらえない町内会役員等がいて、理解いただくのが大変である
- 婦人会と表裏一体となり活動している。役員会から一緒にしてお互いに協力しあっている
- 役員の担い手がいないことが悩み。活動を行えばその意義、重要性等が分かる
- 防災訓練や交通安全等の啓蒙啓発活動が活発である。安全協会との連携が課題である

各種地域団体の現状、問題意識

<p>【自主防災組織】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ほとんどの集落で区長が自主防災会会長を兼務している ○組織はあるものの、十分な機能を果たし得る体制には至っていない ○消防団との役割分担が不明確となっている
<p>【消防団】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1 集落 1 班体制を基本としているが、人員が不足している集落は複数集落で 1 班体制としている ○勤務人が多く日中集落に人員がいないため、消防団 OB による消防協力員制度をつくり、消防体制を補完している ○消防団が以前の青年団のような役割を果しており、消防団員→PTA 役員→他役員など地域の役員への入り口となっている ○団員は何とか確保しているが、若者がいないため年齢が上がってもやめられない
<p>【防犯協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○手向支部、泉支部、広瀬支部の 3 支部があり、鶴岡市防犯協会の構成員となっている ○各世帯や集落から会費を徴収し、支部独自に活動をしている ○各支部とも主に区長が構成員となっており、支部により活動状況の差がある
<p>【交通安全協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○羽黒支部の下に手向分会、泉分会、広瀬分会の 3 分会がある ○集落からも協力金をいただいて活動している ○交通安全協会会員の減少に伴い、協会からの配分予算が減少しており、活動も減少している ○学校・PTA と地区安協の連携が薄い
<p>【社会福祉協議会羽黒福祉センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○羽黒福祉センターで、羽黒地域福祉委員(20 名)を任命し福祉活動について委員会を開催 <ul style="list-style-type: none"> ・集落実施のお茶のみサロンへの助成 ・地区公民館と連携し会食交流会 ・一人暮らし高齢者の配食サービス ・お茶のみサロン(ハッピー広場) ・集落座談会の開催
<p>【民生児童委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○羽黒地域には 22 名の民生児童委員と 2 名の主任児童委員がおり、羽黒地区民生児童委員協議会を構成している ○業務が増えている。複数集落を担当しており、地域により区長との連携に強弱がある ○後継者が不足している ○きめ細かな活動には詳細な個人情報が必要だが、市から貰えない。地域にも出せない
<p>【生涯学習推進員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会教育事業・地区公民館事業に協力しており、生涯学習推進の重要な役割を担っている ○責任ある活動をしているため、後継の引き受け手が不足し、なかなかやめられないとの意見がある
<p>【体育協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○羽黒体育協会は、羽黒地域にあるスポーツ競技団体により構成されている。羽黒全域が対象となる駅伝などの事業を行っている ○H26 年度から事務局が市職員から鶴岡市体育協会職員に変わった ○集落や公民館地区単位への体育推進事業は行っておらず、地区公民館事業で実施している ○新規の会員が少ない

【羽黒地域】

<p>【婦人会】</p> <ul style="list-style-type: none">○婦人大学の開催、研修視察、ボランティア活動、地区地域活動への協力実施○婦人会のある集落が少ない(70 集落中 15 集落)○新規会員が少なく会員数が減少している
<p>【老人クラブ】</p> <ul style="list-style-type: none">○鶴岡市老人クラブ連合会羽黒支部は、羽黒福祉センターで事務局を持っており、同組織に入っている老人クラブは 18 組織。地区ごとの連合組織はなく、羽黒全域での団体となっており、地区バランスにより役員を選出している○老人クラブのない集落が多く、複数集落で構成している老人クラブもある○会員数及び組織が減少している
<p>【PTA】</p> <ul style="list-style-type: none">○羽黒地域PTA連合会において、各小中学校PTAの教育行政への要望事項を取りまとめて、毎年要望書を提出している○OPTA からの要望を区長が把握していない場合がある
<p>【スポーツ推進委員】</p> <ul style="list-style-type: none">○各地区 2 名ずつ、任期 2 年で市が委嘱○鶴岡市の体育事業の運営を担い、羽黒地域では駅伝大会と石段マラソン大会の運営役員をしている○地区公民館の運動会の際には中核役員となる
<p>【体育主任】</p> <ul style="list-style-type: none">○各地区自治振興会で実施する学区運動会、レクリエーション大会、球技大会等の際に集落を代表して会議に出席、当日の事業運営にも参加協力している
<p>【青少年育成市民会議羽黒地区会議】</p> <ul style="list-style-type: none">○あいさつ運動や夏休み夜間パトロール、自転車通学街頭指導など、羽黒地域の青少年健全育成に取り組んでいる○各種団体の代表が参集し情報共有を図っている○予算の多くが関係団体の青少年事業への助成金となっている
<p>【集落公民館長】</p> <ul style="list-style-type: none">○70 集落のうち区長と兼務していない集落は 14 集落。夏祭りなどを行っている集落もあるが、公民館事業として特化したものでなく、集落行事として行っている○地区公民館の事業に集落として参加することが、事業の一つとなっている
<p>【見守り隊】</p> <ul style="list-style-type: none">○各地区で通学時の児童の安全を見守る見守り隊が活動している

各種地域団体の現状、問題意識

<p>【自主防災組織】 <input type="checkbox"/> 組織はあるものの、十分な機能を果たし得る体制には至っていない <input type="checkbox"/> 実施している地区はそれぞれ工夫をしながら行っているが、活動の在り方に差がある</p>
<p>【消防団】 <input type="checkbox"/> 就業形態の多様化、就業先の理解不足やプレッシャーなどから消防団に入団する若者の確保が難しくなっている</p>
<p>【防犯協会】 <input type="checkbox"/> 本部・支部の二重構造 <input type="checkbox"/> 役員の担い手がいない。改選時に難航している <input type="checkbox"/> 今までの経過から支部によって構成員が全く異なる</p>
<p>【交通安全協会】 <input type="checkbox"/> 会員数の減少に伴い予算も減少し活動への影響が懸念される <input type="checkbox"/> 加入率の低下で将来的には協会を維持できなくなり、警察署での免許更新ができなくなるのが危惧される <input type="checkbox"/> 役員は自分で後任を探さないと交替できない</p>
<p>【社会福祉協議会櫛引福祉センター】 <input type="checkbox"/> 農繁期は忙しいため、サロンなど住民同士が支え合うことを目的とした事業がなかなかできず、冬期間の実施となってしまう <input type="checkbox"/> 団体の活動が主体的でない傾向にある <input type="checkbox"/> 住民同士の支え合いの意識はあるものの、住民主体の活動につながっていない</p>
<p>【民生児童委員】 <input type="checkbox"/> 個人情報保護の関係で活動しにくくなっている <input type="checkbox"/> 高齢化が進むと民生児童委員の業務が増えることが心配される <input type="checkbox"/> 業務の負担が大きくなると担い手が少なくなることが懸念される</p>
<p>【生涯学習推進員】 <input type="checkbox"/> 担い手が少ない、人材が少ない <input type="checkbox"/> 学校との関係が希薄である</p>
<p>【体育協会】 <input type="checkbox"/> 少子化の影響で会員が減ってきている <input type="checkbox"/> 人気競技に会員が集中する傾向がある <input type="checkbox"/> サークル的に活動する団体が増え、登録団体が減ってきている <input type="checkbox"/> 事業がマンネリ化している</p>
<p>【婦人会】 <input type="checkbox"/> 婦人会から脱会する地区が出てきている(役員を選出できないことによる脱会) <input type="checkbox"/> 新しい会員がなかなか入らないため、会員が減少している</p>
<p>【老人クラブ】 <input type="checkbox"/> 会員の高齢化 <input type="checkbox"/> 若い人の入会が少ない <input type="checkbox"/> 役員の担い手がいない <input type="checkbox"/> 活動がマンネリ化している</p>
<p>【PTA】 <input type="checkbox"/> 生徒数の減少とともに保護者の数も減ってきている中で、役員を引き受ける人が減ってきているとともに役員が固定化してきている <input type="checkbox"/> 学年行事への参加は多いが、全体や部ごとの行事への参加率が低下している <input type="checkbox"/> 市全体の連合組織の他に櫛引地域の連合組織もあり、会議出席など会長の負担が大きい</p>

各種地域団体の現状、問題意識

<p>【自主防災組織】</p> <p>○地区によって活動頻度・内容に差がある</p> <p>○年1回程度訓練を行っている地区も多いが、実際有事の際に機能を果たし得る体制となっているかは不明</p>
<p>【消防団】</p> <p>○少子化により全域的に人員が不足してきており、団員の長期化や欠員問題が出ている</p> <p>○就労等で日中、地域から離れている団員が多く、有事の際の体制に問題がある</p>
<p>【防犯協会】</p> <p>○会員が各種団体の長によるあて職となっている</p> <p>○平成 22 年の支部体制化以降、活動らしいものがない</p>
<p>【交通安全協会】</p> <p>○役員が長期化・高齢化しており、後進へ引継ぎを行う際に多少問題が出ている</p>
<p>【社会福祉協議会朝日福祉センター】</p> <p>○朝日福祉センターが下記地域福祉事業を実施している状況である</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケアネットワーク会議 ・福祉有償移送サービス(通院等支援) ・地域の担い手育成(見守り活動研修会等) ・福祉活動推進事業(サロン活動等)
<p>【民生児童委員】</p> <p>○複数集落を担当する民生区もあり、範囲が広域化している</p> <p>○行政から情報の提供がない</p> <p>○把握している情報を地域に求められても出せないなど、個人情報取り扱いに苦慮している</p>
<p>【生涯学習推進員】</p> <p>○引き受け手がおらず、委員の任期が長期化している</p> <p>○地区によっては全く活動のない委員もいる</p>
<p>【体育協会】</p> <p>○種目別団体の会員数が減少し、大会の運営が困難な競技がある</p> <p>○スポーツクラブの活動により、生涯スポーツへの取組みが充実してきた</p>
<p>【婦人会】</p> <p>○会員の高齢化は進んでいるが、意欲的に活動を行っている</p> <p>○新規会員の加入はあるが、定期的な加入による更なる活性化が望まれる</p>
<p>【老人クラブ】</p> <p>○60 代の入会者が少なく、クラブの高齢化と人数の減少が進んでいる</p> <p>○入会すると周りから年寄扱いされるので入りたくない人もいる(特に 60 代前半)</p> <p>○役員の手が足りない</p>
<p>【PTA】</p> <p>○担い手がないため、他団体と重複したりして役員の負担は大きい</p> <p>○統廃合により学区とコミュニティセンターの区域が一致なくなり、PTA からの広域コミュニティ組織役員について選出方法の検討が必要となる</p>

各種地域団体の現状、問題意識

<p>【自主防災組織】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全体的に防災意識が高く、市主催の防災訓練への参加だけでなく、独自に避難訓練、救急救命講習などを実施しているところもある ○海岸集落においては、市の支援を受けながら、津避難路の整備や誘導看板の設置など積極的に取り組まれている ○消火栓ホースや防災資機材の整備に対する行政支援が年々薄くなり、財政的に困っている
<p>【消防団】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○少子化により消防団員の確保が難しくなっている ○団員が集落から転出しても、後任がいらないためそのまま団員となっている例が増えている ○日中、地域にいない団員が多く、有事の際にすぐ駆けつけられない場合がある
<p>【防犯協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○会員が各団体長、自治会長の充て職となっている ○支部の予算規模が小さく、協会支部としての事業は少ない ○主な事業は「明るいまちづくり温海大会」の開催と防犯啓発物品の配布となっている
<p>【交通安全協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○協会への加入率が年々低下しており、会費の減少により活動予算も縮小してきている ○協会加入率の低下が、交通安全に対する意識の低下につながっているのではと危惧されている ○役員の高齢化が進んでいるが、若い人が入ってこないのではなかなか交代できない ○役員は支部活動に対して非常に協力的で、分会活動も活発に行われている
<p>【社会福祉協議会温海福祉センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○福祉のワンストップサービスにより、地域住民の相談窓口は幅広くなったが、自立支援に繋がる社会資源が少なくなっている ○若者の引きこもり、ワーキングプア（働く貧困）など、福祉の対象者が多様化しており、これまでの地域における見守り支え合いだけでは対応が困難になっている
<p>【民生児童委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2月1日現在、欠員の集落がある(1集落) ○小規模集落と兼務している民生児童委員が4名 ○民生児童委員の業務の多さとの困難さにより、改選期毎の選出が困難な集落がある ○過疎化等により民生児童委員の担い手がいない ○平成25年の改選期から定数2名減となった
<p>【生涯学習推進員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会教育事業、公民館事業の運営に協力しており、生涯学習推進の重要な役割を担っている
<p>【体育協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域内の若者の減少から、地元でスポーツに取り組む人口が減っており、体育協会加盟の競技種目別団体の活動が衰退している ○温海駅伝大会は、各支部を中心に参加チームの育成・強化に励んでいるが、高速道路開通後、これまでのコース設定ができず課題となっている ○組織機能の強化。特に温海駅伝大会の自主運営が課題となっている
<p>【婦人会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人口減少、晩婚化等により、集落婦人会員が減少し、活動が難しくなっている ○上部団体へ参加するメリットが感じられないこともあり、その参加が負担になっている

【温海地域】

【老人クラブ】

- 対象者は年々増加しているが、新規加入がなく、組織としては弱体化している
- 役員の担い手がなく、結果として組織が解散してしまう自治会もある
- 対象者であっても、「まだ若い」という意識があり、加入への抵抗感がある
- 上部団体への参加を嫌う傾向にある

【PTA】

- 役員の担い手がいない
- 夜の会議が多く負担となっている(平成 28 年 3 月の小学校 4 校統合に向けた準備委員会が加わった)

鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会
鶴岡市地域コミュニティ推進計画（仮称）についての事前提出意見等

No.	資料ページ	区分	意見等の内容	委員名
1	20～31 地域資源	意見	計画書の構成についてですが、「2 地域資源の明確化」という章の収まりがあまりよろしくない、という印象を受けました。3章以降の記述をみても、2章で列挙された地域資源が、各章でどのように位置付けられているのかが見えにくいように思います。2章については、参考資料または補章といった扱いでよろしいのではないのでしょうか。そのほうが、すっきりした論旨構成になるかと思えます。	委員 I
2	現状	質問	役員の役割と権限について NPO組織の理事者の役割は資金調達と組織マネジメントであるが、町内会・コミュニティ組織の役割とマネジメントは、どういった形態になっていますか。	委員 F
3	現状	質問	人材の育成について 川西町のきらりよしじまでは、20代の若い人たちに事務局を任せているという話があるが、鶴岡市の場合、事務局体制はどういった形態になっていますか。	委員 F
4	現状	質問	コミュニティビジネスについて 鶴岡市でコミュニティ組織がビジネスを行っている事例はありますか。	委員 F
5	現状	質問	経営計画について コミュニティ組織で短・中・長期経営計画を作成している事例はありますか。	委員 F
6	現状	質問	自治組織で若者同士の連絡会みたいなものはありますか。	委員 F
7	現状	質問	自治組織向けの人材育成研修はありますか。その研修内容はどのようなものですか。	委員 F
8	現状	質問	地域の歴史についての学びが鶴岡市は活発ですが、どのような活動がありますか。	委員 F

No.	資料 ページ	区分	意見等の内容	委員名
9	32	意見	<p>【役員】 課題項目「B担い手となる人材の確保・育成」に対する取り組みのアイデアとして、 「市職員（退職者も含む）への町内会事業及び役員の担い手としての積極的参加の啓蒙促進」（※役員を依頼しても断られることがある）</p>	委員E
10	33	意見	<p>【生涯学習】 現状①の補足として、 「町内会単位での実施は費用の捻出及び大勢の参加者の確保が難しく困難」</p> <p>それに対する取り組みのアイデアとして、 「増額された地域づくり交付金を利用し、コミセン単位で事業の拡大を図る」</p>	委員E
11	37	意見	<p>【情報伝達・収集】 課題項目「A緊急時や災害時に備えた個人情報の提供に係る理解促進と情報収集」に対する取り組みとして、 「一人暮らし高齢者の緊急時や災害時の連絡者を町内会長もしくは民生委員に周知」（※一人暮らし高齢者の突然死や災害時の連絡方法として）</p>	委員E
12	37	意見	<p>【施設】 現状①の補足として、 「使用料がかかる申込者がコミセンに申込みを行い、納付書を受けて銀行で納付し、再度コミセンに行き、その領収書を提示して許可書の発行を受けるため、利用者に負担がかかる」</p> <p>課題項目「A施設利用受付・貸出方法の見直し」に対する取り組みのアイデアとして、 「申込時にコミセンで領収書と許可書を同時に発行できるようにし、利用者の利便性を図る」</p>	委員E

鶴岡市地域コミュニティ推進計画（仮称）体系図（案）

鶴岡市地域コミュニティ基本方針

《基本理念》

市民がまちづくりの主体として、個性あふれ豊かさを実感できる地域社会を築く地域コミュニティの構築

《目指すコミュニティ像》

- ・笑顔であいさつを交わす心の通った地域コミュニティ
- ・より良い地域環境を築くため、皆が力を合わせる地域コミュニティ
- ・地域課題の解決に向け、住民が主体的に取り組む確かな地域コミュニティ
- ・地域ごとの異なる文化や歴史を尊重し、個性あふれる地域コミュニティ

《地域コミュニティが果たす役割》

①まちづくり活動の主体となる地域コミュニティ

自分たちの身の回りの課題を解決したり、魅力ある環境づくりを目指したりするまちづくり活動は、地域の事情ニーズを一番よく理解している住民自身が関わることで、満足度の高い成果を期待できるものであるため、これからのまちづくりについては、より地域コミュニティが主体となって取り組みます。一方、行政は地域コミュニティと一層の協調・協力を努め、活動を支援します。

②年齢やライフステージに応じて活動に関わる地域コミュニティ

就業形態やライフステージによっては、実質的に地域活動への参加協力が難しい場合も見受けられることから、少年期、青年期、中年期、壮年期といった各年齢期や、就業、結婚、子育て、退職など各々のライフステージの変化に応じて柔軟に活動に参加できる環境づくりを進めます。

鶴岡市地域コミュニティ推進計画（仮称）



鶴岡市地域コミュニティ推進計画（仮称） 構成（目次）

- 1 地域コミュニティをめぐる現状
 - (1) 地域の世帯数、人口、人口構成の推移
 - (2) 鶴岡市の年齢区分別将来推計人口等
 - (3) 単位自治組織の世帯数規模（平成 26 年度）
 - (4) 単位自治組織の加入率
 - (5) 住民自治組織の形態
 - (6) コミュニティ活動関係施設（平成 26 年度）
 - (7) 各地域のその他の特記事項

- 2 地域資源の明確化
 - (1) 主な固定資源
 - ①自然資源
 - ②歴史的資源
 - ③文化・社会資源
 - ④施設資源
 - ⑤人的資源
 - ⑥情報資源

 - (2) 主な流動資源
 - ①特産的資源
 - ②中間生産物

- 3 基本方針に定める「目指すコミュニティ像」の実現に向け、地域コミュニティが抱える課題
 - (1) 自治組織が抱える組織上・運営上の課題
 - ①単位自治組織
 - ②広域コミュニティ組織

 - (2) 地域（住民）が抱える課題

- 4 地域コミュニティが抱える課題の解決に向けて必要と考えられる取り組み
 - (1) 地域コミュニティによる取り組み
 - ①自治組織が抱える組織上・運営上の課題に対する取り組み
 - ②地域（住民）が抱える課題に対する取り組み

(2) 行政による取り組み

- ①自治組織が抱える組織上・運営上の課題に対する取り組み
- ②地域（住民）が抱える課題に対する取り組み

(3) 地域コミュニティと行政の協働による取り組み

- ①自治組織が抱える組織上・運営上の課題に対する取り組み
- ②地域（住民）が抱える課題に対する取り組み

5 地域コミュニティの維持・活性化に向けた地域資源の活用

(1) 地域コミュニティによる活用

(2) 行政による活用

(3) 地域コミュニティと行政の協働による活用

6 その他

1 地域コミュニティをめぐる現状

(1) 地域の世帯数、人口、人口構成の推移

鶴岡地域

	平成7年 国勢調査	12年 国勢調査	17年 国勢調査	22年 国勢調査	26年 住基台帳
世帯数	31,084	32,825	33,991	34,116	36,031
総人口	100,538	100,628	98,127	95,209	93,688
0～14歳	16,873	15,354	13,846	12,521	11,629
割合 (%)	16.8	15.3	14.1	13.2	12.4
15～64歳	64,396	62,797	59,635	56,370	54,659
割合 (%)	64.1	62.4	60.9	59.3	58.3
65歳～	19,269	22,408	24,512	26,089	27,400
割合 (%)	19.2	22.3	25.0	27.5	29.2
年齢不詳	-	69	134	229	-

藤島地域

	平成7年 国勢調査	12年 国勢調査	17年 国勢調査	22年 国勢調査	26年 住基台帳
世帯数	2,802	2,945	2,965	2,973	3,173
総人口	12,414	12,294	11,595	11,064	10,847
0～14歳	2,063	1,839	1,609	1,468	1,321
割合 (%)	16.6	15.0	13.9	13.3	12.2
15～64歳	7,569	7,325	6,754	6,299	6,117
割合 (%)	61.0	59.6	58.2	56.9	56.4
65歳～	2,782	3,130	3,232	3,297	3,409
割合 (%)	22.4	25.5	27.9	29.8	31.4
年齢不詳	-	-	-	-	-

羽黒地域

	平成7年 国勢調査	12年 国勢調査	17年 国勢調査	22年 国勢調査	26年 住基台帳
世帯数	2,181	2,209	2,273	2,330	2,561
総人口	9,988	9,616	9,323	9,059	8,814
0～14歳	1,758	1,490	1,264	1,119	1,049
割合 (%)	17.6	15.5	13.6	12.4	11.9
15～64歳	6,003	5,587	5,416	5,249	5,127
割合 (%)	60.1	58.1	58.1	58.0	58.2
65歳～	2,227	2,539	2,643	2,687	2,638
割合 (%)	22.3	26.4	28.3	29.7	29.9
年齢不詳	-	-	-	4	-

櫛引地域

	平成7年 国勢調査	12年 国勢調査	17年 国勢調査	22年 国勢調査	26年 住基台帳
世帯数	1,863	1,912	1,954	1,995	2,155
総人口	8,742	8,536	8,320	7,794	7,605
0～14歳	1,588	1,407	1,163	973	887
割合 (%)	18.2	16.5	14.0	12.5	11.7
15～64歳	5,309	5,013	4,772	4,470	4,356
割合 (%)	60.7	58.7	57.4	57.4	57.3
65歳～	1,845	2,116	2,385	2,351	2,362
割合 (%)	21.1	24.8	28.7	30.2	31.1
年齢不詳	-	-	-	-	-

朝日地域

	平成7年 国勢調査	12年 国勢調査	17年 国勢調査	22年 国勢調査	26年 住基台帳
世帯数	1,417	1,367	1,316	1,259	1,362
総人口	6,309	5,864	5,378	4,798	4,615
0～14歳	1,098	874	669	509	444
割合 (%)	17.4	14.9	12.4	10.6	9.6
15～64歳	3,640	3,308	3,026	2,681	2,533
割合 (%)	57.7	56.4	56.3	55.9	54.9
65歳～	1,571	1,682	1,683	1,608	1,638
割合 (%)	24.9	28.7	31.3	33.5	35.5
年齢不詳	-	-	-	-	-

温海地域

	平成7年 国勢調査	12年 国勢調査	17年 国勢調査	22年 国勢調査	26年 住基台帳
世帯数	3,312	3,122	2,992	2,838	2,902
総人口	11,518	10,608	9,641	8,698	8,262
0～14歳	1,752	1,478	1,147	937	773
割合 (%)	15.2	13.9	11.9	10.8	9.4
15～64歳	6,813	5,980	5,319	4,571	4,247
割合 (%)	59.2	56.4	55.2	52.6	51.4
65歳～	2,953	3,150	3,175	3,190	3,242
割合 (%)	25.6	29.7	32.9	36.7	39.2
年齢不詳	-	-	-	-	-

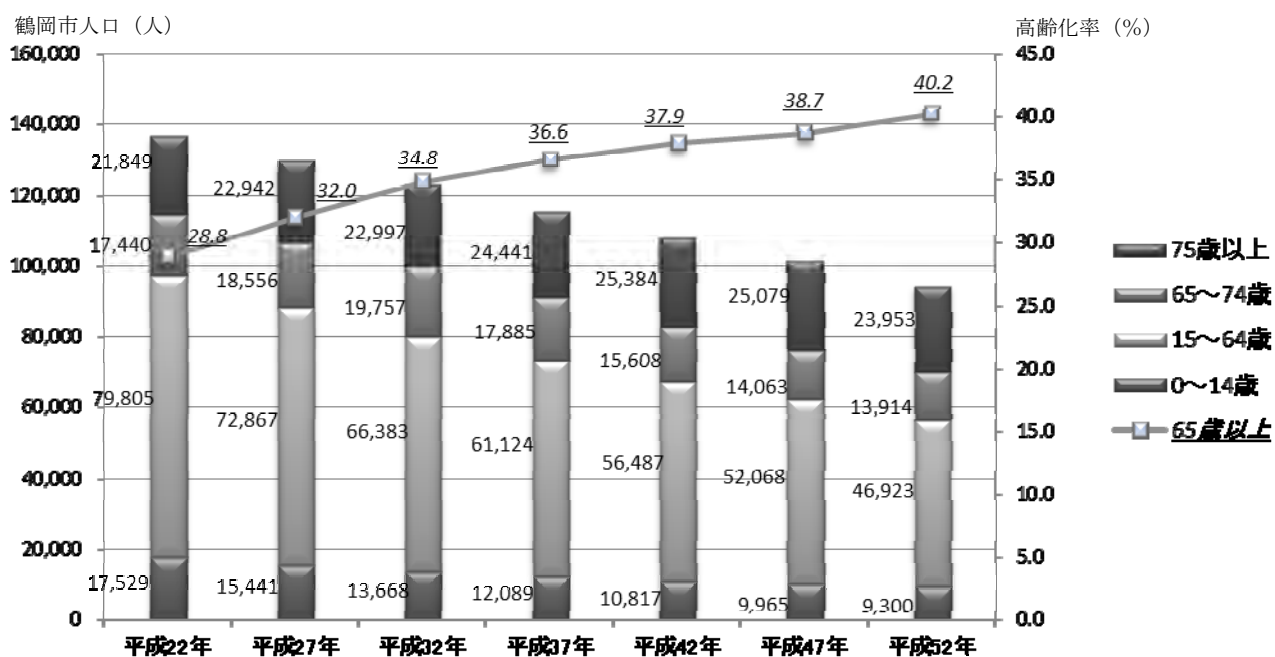
※国勢調査は10月1日現在、住民基本台帳は3月31日現在。

※年齢別人口割合は年齢不詳を除いて算出。

(2) 鶴岡市の年齢区分別将来推計人口等

鶴岡市

	平成22年	27年	32年	37年	42年	47年	52年 (2040年)
総人口	136,623	129,806	122,805	115,539	108,296	101,175	94,090
0～14歳	17,529	15,441	13,668	12,089	10,817	9,965	9,300
割合 (%)	12.8	11.9	11.1	10.5	10.0	9.8	9.9
15～64歳	79,805	72,867	66,383	61,124	56,487	52,068	46,923
割合 (%)	58.4	56.1	54.1	52.9	52.2	51.5	49.9
65～74歳	17,440	18,556	19,757	17,885	15,608	14,063	13,914
割合 (%)	12.8	14.3	16.1	15.5	14.4	13.9	14.8
75歳～	21,849	22,942	22,997	24,441	25,384	25,079	23,953
割合 (%)	16.0	17.7	18.7	21.2	23.4	24.8	25.5
(再掲) 65歳以上	39,289	41,498	42,754	42,326	40,992	39,142	37,867
(再掲) 割合 (%)	28.8	32.0	34.8	36.6	37.9	38.7	40.2

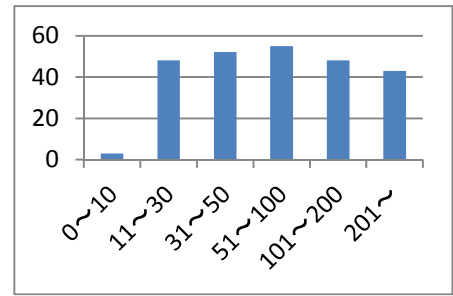


※参照：国立社会保障・人口問題研究所 男女・年齢(5歳)階級別データ『日本の地域別将来推計人口』(平成25年3月推計)より作成

(3) 単位自治組織の世帯数規模 (平成 26 年度)

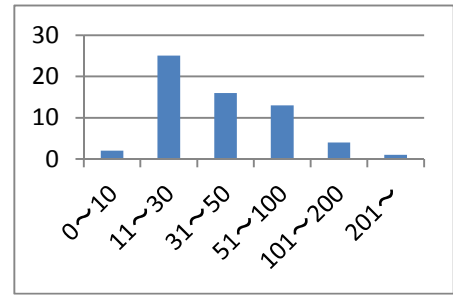
鶴岡地域

世帯数規模	組織数	割合	備考
0~10	3	1.2	
11~30	48	19.3	
31~50	52	20.9	
51~100	55	22.1	
101~200	48	19.3	
201~	43	17.3	
合計	249	100.0	



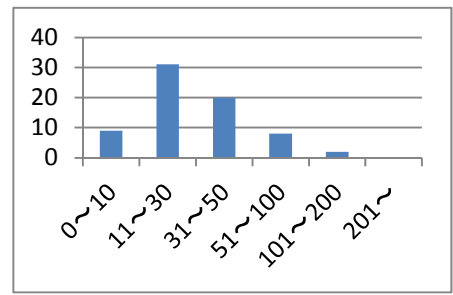
藤島地域

世帯数規模	組織数	割合	備考
0~10	2	3.3	
11~30	25	41.0	
31~50	16	26.2	
51~100	13	21.3	
101~200	4	6.6	
201~	1	1.6	
合計	61	100.0	



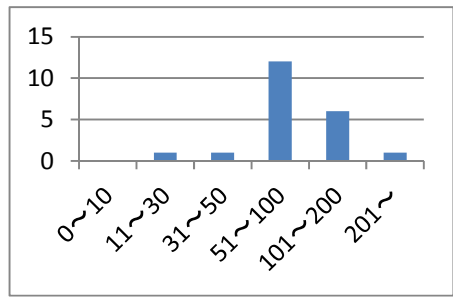
羽黒地域

世帯数規模	組織数	割合	備考
0~10	9	12.9	
11~30	31	44.3	
31~50	20	28.6	
51~100	8	11.4	
101~200	2	2.9	
201~	0	0.0	
合計	70	100.0	



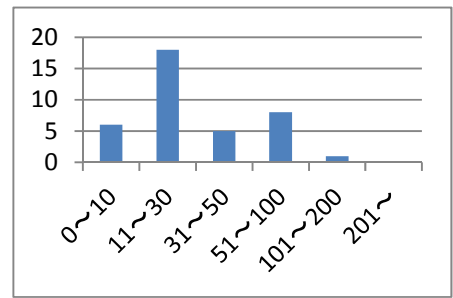
櫛引地域

世帯数規模	組織数	割合	備考
0~10	0	0.0	
11~30	1	4.8	
31~50	1	4.8	
51~100	12	57.1	
101~200	6	28.6	
201~	1	4.8	
合計	21	100.0	



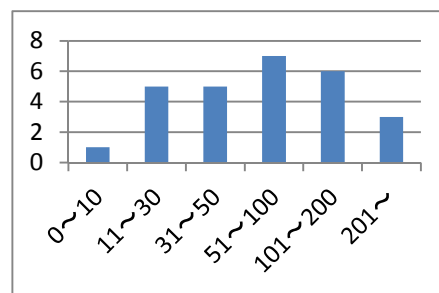
朝日地域

世帯数規模	組織数	割合	備考
0~10	6	15.8	
11~30	18	47.4	
31~50	5	13.2	
51~100	8	21.1	
101~200	1	2.6	
201~	0	0.0	
合計	38	100.0	



温海地域

世帯数規模	組織数	割合	備考
0～10	1	3.7	
11～30	5	18.5	
31～50	5	18.5	
51～100	7	25.9	
101～200	6	22.2	
201～	3	11.1	
合計	27	100.0	



(4) 単位自治組織の加入率

鶴岡地域

	平成20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年
世帯数	34,919	35,010	35,153	35,328	35,568	35,990	36,031
加入世帯数	30,482	30,343	30,294	30,318	30,375	30,281	30,200
加入率 (%)	87.3	86.7	86.2	85.8	85.4	84.1	83.8

藤島地域

	平成20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年
世帯数	3,117	3,123	3,130	3,144	3,145	3,162	3,173
加入世帯数	3,024	3,043	3,025	3,034	3,032	3,063	2,931
加入率 (%)	97.0	97.4	96.6	96.5	96.4	96.9	92.4

羽黒地域

	平成20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年
世帯数	2,533	2,551	2,553	2,552	2,565	2,577	2,561
加入世帯数	2,354	2,386	2,394	2,394	2,407	2,403	2,310
加入率 (%)	92.9	93.5	93.8	93.8	93.8	93.2	90.2

櫛引地域

	平成20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年
世帯数	2,061	2,070	2,105	2,111	2,115	2,141	2,155
加入世帯数	2,012	2,022	2,027	2,035	2,037	2,042	2,003
加入率 (%)	97.6	97.7	96.3	96.4	96.3	95.4	92.9

朝日地域

	平成20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年
世帯数	1,371	1,366	1,375	1,369	1,381	1,369	1,362
加入世帯数	1,313	1,308	1,311	1,304	1,288	1,221	1,231
加入率 (%)	95.8	95.8	95.3	95.3	93.3	89.2	90.4

温海地域

	平成20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年
世帯数	3,065	3,046	3,025	2,987	2,950	2,947	2,902
加入世帯数	2,985	2,966	2,946	2,909	2,870	2,868	2,728
加入率 (%)	97.4	97.4	97.4	97.4	97.3	97.3	94.0

※平成26年度より住民自治組織総合交付金制度がスタートし、これに合せ、世帯数の調査方法も変更となり、地域によっては加入率が大きく減少しているところもある。

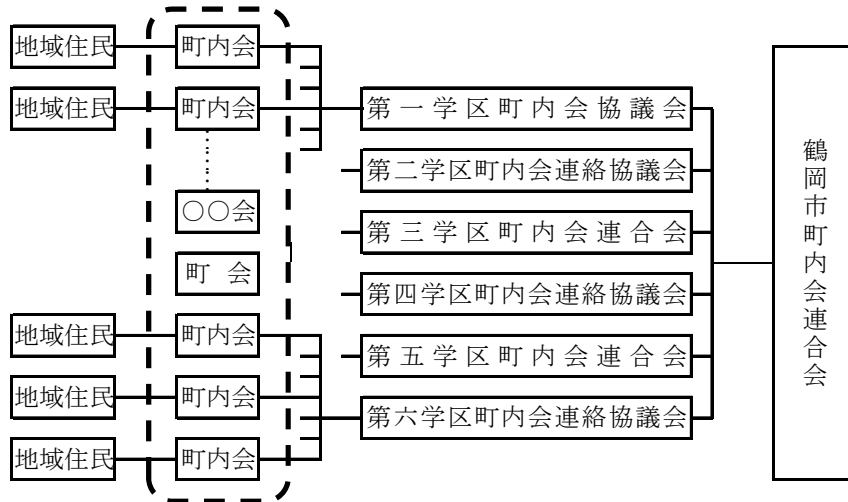
(5) 住民自治組織の形態

< 鶴岡地域【市街地（第一学区から第六学区）】 >

①町内会等

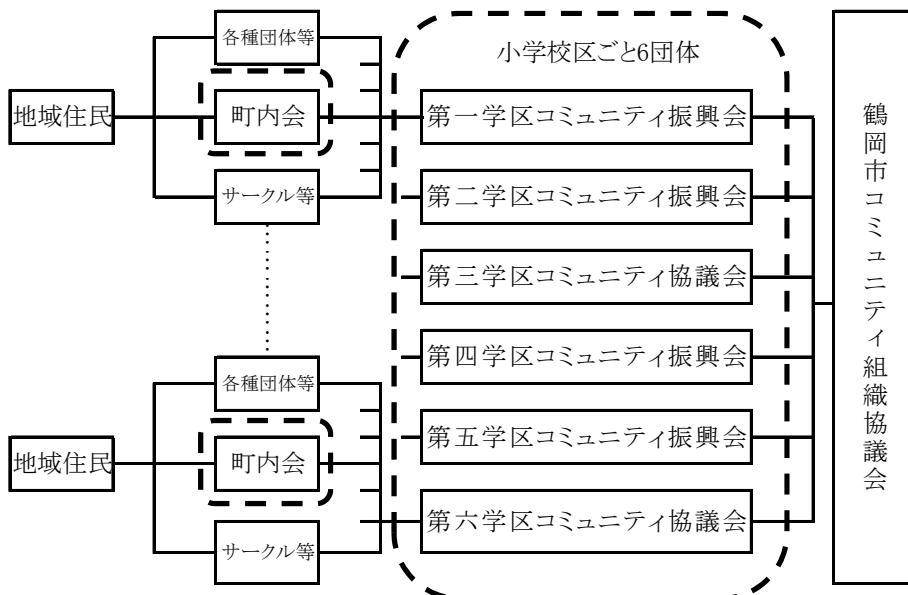
市街地には、102の単位自治組織（町内会等）があり、住民相互の連絡協調と交流を図りながら、明るく住みよい地域づくりに向けた各種事業が行われている。町内会等の代表者はおおむね町内会長と称する。

また、市街地には、おおむね小学校区単位の6つの学区ごとに、学区内の町内会等で構成する町内会協議会等が、さらに、全町内会等で構成する鶴岡市町内会連合会が組織され、町内会等相互の連絡調整と調和を図り、住民の意思を市政に反映させるとともに、住民自治の発展と住民福祉の向上に寄与することを目的として運営されている。



②コミュニティ振興会等

市街地には、おおむね小学校区単位の6つの学区ごとに、学区内の町内会等や関係団体等で構成する広域コミュニティ組織（コミュニティ振興会等）が、さらに全コミュニティ振興会等で構成される鶴岡市コミュニティ組織協議会があり、市民相互の連帯感の醸成と自治意識の高揚を図り健康で住みよい豊かな地域づくりを進めることを目的として、コミュニティ（防災）センターを拠点に、コミュニティ活動が展開されている。なお、コミュニティ振興会等は、同センターの指定管理者として管理運営にあっている。



注)組織図の | - - - - - | は、住民自治組織を示す。

< 鶴岡地域【郊外地（斎地区から西郷地区）】 >

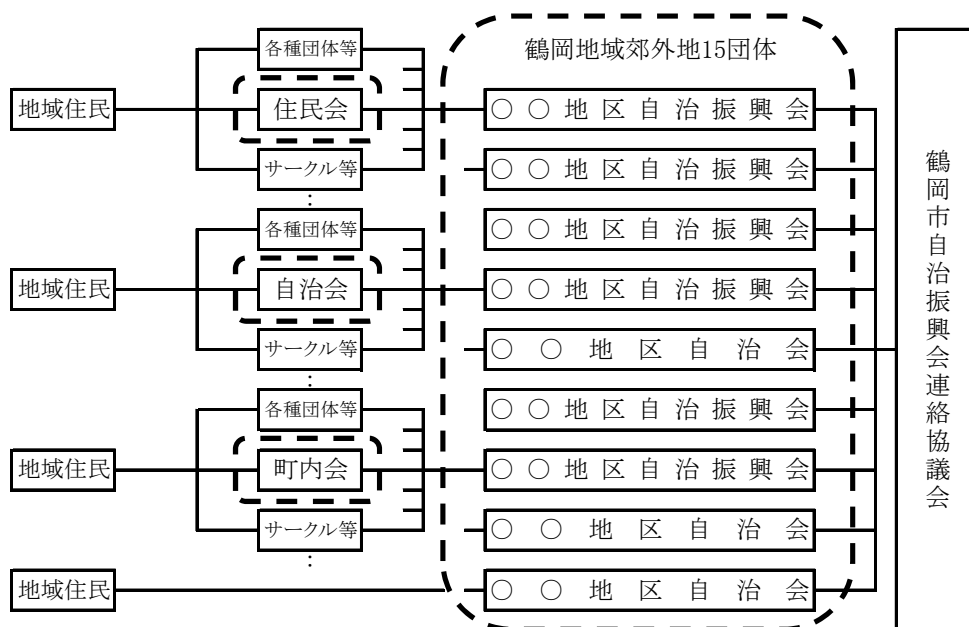
①住民会等

郊外地には、147の単位自治組織（住民会等）があり、住民相互の連絡協調と交流を図りながら、明るく住みよい地域づくりに向けた各種事業が行われている。住民会等の代表者は住民会長・自治会長・町内会長と称する。

郊外地の15の地区には、地区内の住民会長等で構成する住民会長会等が組織されているところもあり、その形態は様々だが、住民会長等相互の連絡調整と住民会等の調和を図り、住民自治の発展と住民福祉の向上に寄与することを目的に運営されている。

②自治振興会等

郊外地の15の地区には、地区内の住民会等や関係団体等で構成する広域コミュニティ組織（自治振興会等）が、さらに全自治振興会等で構成される鶴岡市自治振興会連絡協議会があり、住民相互の連帯感の醸成と自治意識の高揚を図り健康で住みよい豊かな地域づくりを進めることを目的として、コミュニティ（防災）センターを拠点に、コミュニティ活動が展開されている。なお、自治振興会等は、同センターの指定管理者として管理運営にあっている。



(行政からの主な依頼事項)

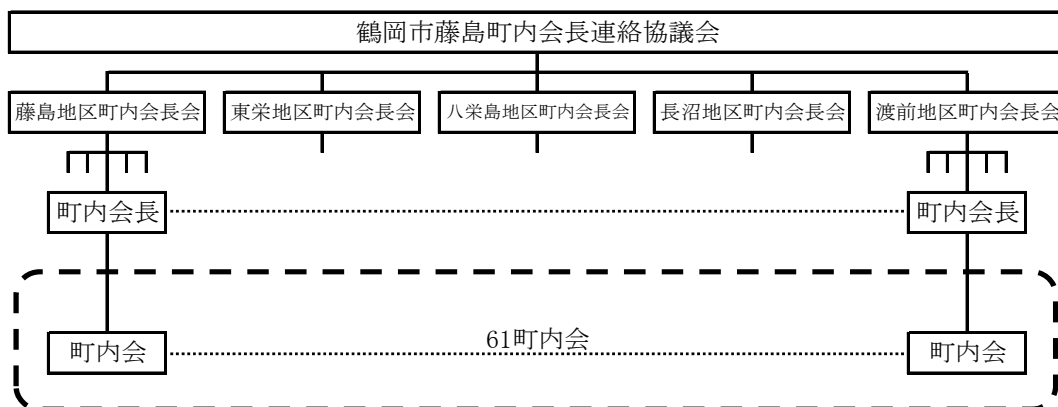
- (1) 広報物関係(市広報、市議会報、県広報等)及び回覧物の配布
- (2) 各種募金・日赤社費等の取りまとめ及び集金
- (3) 公共機関が発行するチラシ等の配布

< 藤島地域 >

①町内会

藤島地域には、61の単位自治組織（町内会）があり、住民相互の連絡協調と交流を図りながら、明るく住みよい地域づくりに向けた各種事業が行われている。町内会の代表者は町内会長と称する。

地域内には、5つの地区ごとに、地区内の町内会長からなる町内会長会が、さらに町内会長全員からなる鶴岡市藤島町内会長連絡協議会が組織され、町内会長相互の連絡協調と各町内会の調和を図り、住民の意思を市政に反映させるとともに、住民自治の発展と住民福祉の向上に寄与することを目的として運営されている。



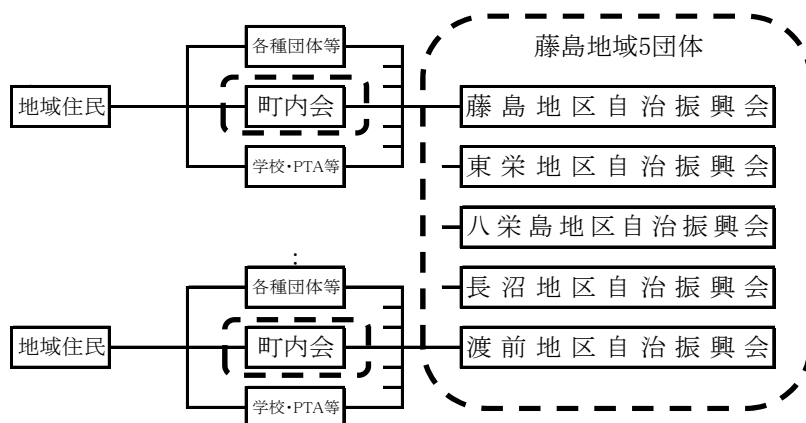
(行政からの主な依頼事項)

- (1) 広報物関係(市広報、市議会報、県広報等)及び回覧物の配布
- (2) 各種募金・日赤社費等の取りまとめ及び集金
- (3) 公共機関が発行するチラシ等の配布
- (4) 各種委員・推進員・連絡員等の推薦
- (5) 関連団体広報等の配布

②自治振興会

藤島地域では、平成25年度に地区公民館単位の5つの地区に、広域的なコミュニティ組織である自治振興会が設立された。自治振興会は、住民相互の連帯感の醸成と自治意識の高揚を図り健康で住みよい豊かな地域づくりを進めることを方針として、地区内の町内会や関係団体等で構成されている。

平成26年度に地区公民館から移行した地域活動センターを拠点に、地域コミュニティ活動を展開するとともに、同センターの指定管理者として管理運営にあっている。

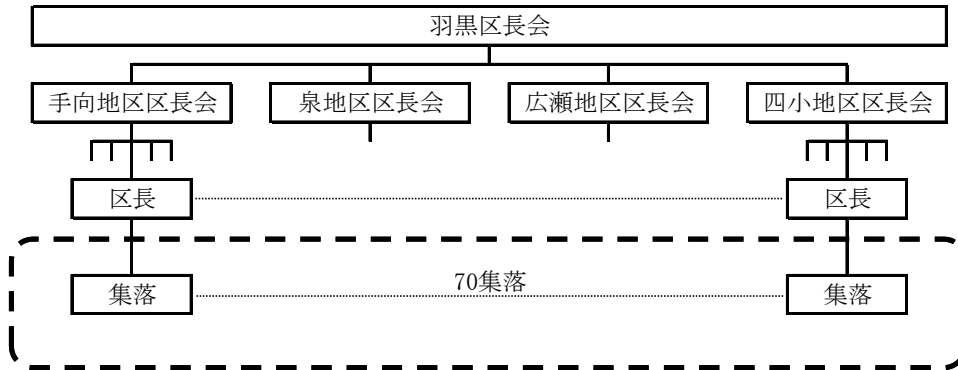


<羽黒地域>

①区長会

羽黒地域には、70の単位自治組織（集落）があり、住民相互の連絡協調と交流を図りながら、明るく住みよい地域づくりに向けた各種事業が行われている。集落の代表者は区長と称する。

地域内には、4つの地区ごとに、地区内の区長からなる区長会が、さらに区長全員からなる羽黒区長会が組織され、区長相互の連絡協調と各集落の調和を図り、住民の意思を市政に反映させるとともに、住民自治の発展と住民福祉の向上に寄与することを目的に運営されている。



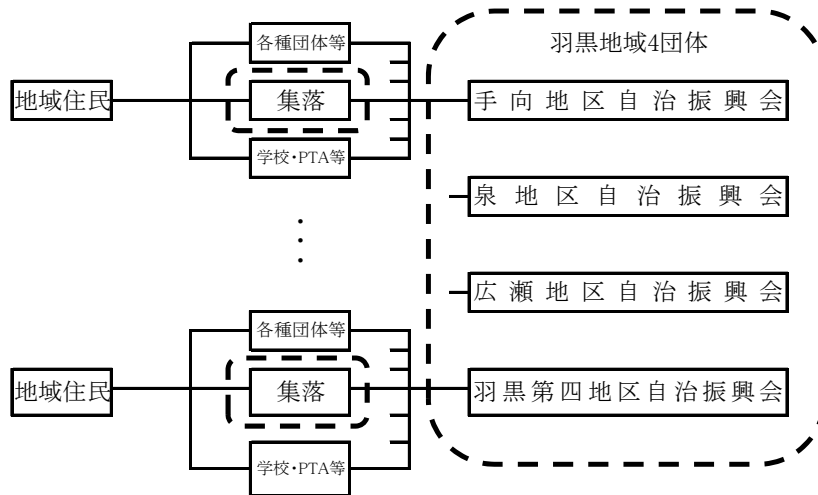
(行政からの主な依頼事項)

- (1)広報物関係(市広報、市議会報、県広報等)及び回覧物の配布
- (2)各種募金・日赤社費等の取りまとめ及び集金
- (3)公共機関が発行するチラシ等の配布
- (4)各集落内庶事・要望の取りまとめ
- (5)市長が必要と認めたこと

②自治振興会

羽黒地域では、平成26年度に地区公民館単位の4つの地区に、広域的なコミュニティ組織である自治振興会が設立された。自治振興会は、住民相互の連帯感の醸成と自治意識の高揚を図り健康で住みよい豊かな地域づくりを進めることを方針として、地区内の集落や関係団体等で構成されている。

平成27年度に地区公民館から移行する地域活動センターを拠点に、地域コミュニティ活動を展開するとともに、同センターの指定管理者として管理運営にあたる予定としている。



< 榑引地域 >

榑引地域には、21の単位自治組織（地区）があり、住民相互の連絡協調と交流を図りながら、明るく住みよい地域づくりに向けた各種事業が行われている。地区の代表者は区長と称する。

また、地区を単位とする自治公民館が設置され、社会教育、社会体育活動が活発に行われ、自治組織と一体となった取り組みが行われている。

地域内には、区長全員からなる榑引区長会が組織され、区長相互の連絡協調と各自治会の調和を図り、住民の意思を市政に反映させるとともに、住民自治の発展と住民福祉の向上に寄与することを目的に運営されている。



(行政からの主な依頼事項)

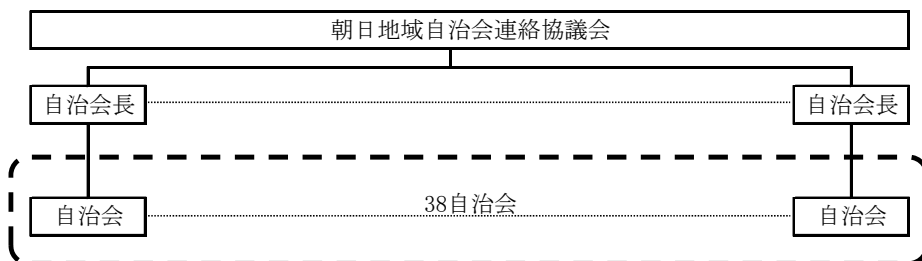
- (1) 広報物関係(市広報、市議会報、県広報等)及び回覧物の配布
- (2) 各種集金・日赤社費等の取りまとめ及び集金
- (3) 公共機関が発行するチラシ等の配布
- (4) 社会福祉協議会費の集金、取次ぎ及び広報等の配布
- (5) 行政の事務事業執行の補佐

<朝日地域>

①自治会

朝日地域には、38の単位自治組織（自治会）があり、住民相互の連絡協調と交流を図りながら、明るく住みよい地域づくりに向けた各種事業が行われている。自治会の代表者は自治会長と称する。

地域内には、自治会長全員からなる朝日地域自治会連絡協議会が組織され、自治会長相互の連絡協調と各自治会の調和を図り、住民の意思を市政に反映させるとともに、住民自治の発展と住民福祉の向上に寄与することを目的に運営されている。



(行政からの主な依頼事項)

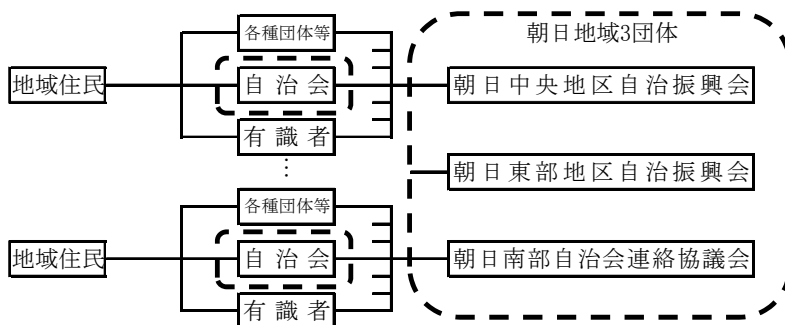
- (1)広報物関係(市広報、市議会報、県広報等)及び回覧物の配布
- (2)案内文書(会議など)の配布
- (3)各種調査票のとりまとめ
- (4)募金のとりまとめ(日本赤十字社)
- (5)各種委員等の推薦
- (6)その他

(関係団体からの主な依頼事項) 会報・情報資料等の配布(社会福祉協議会、シルバー人材センター、あさひ村観光協会、産直あさひ・グー、出羽庄内森林組合、朝日ぶなの木会、出羽商工会、月山あさひ博物村、朝日中学校同窓会)

②自治振興会

朝日地域では、平成26年度に地区公民館単位の3つの地区に、広域的なコミュニティ組織である自治振興会が設立された。自治振興会は、住民相互の連帯感の醸成と自治意識の高揚を図り健康で住みよい豊かな地域づくりを進めることを方針として、地区内の集落や関係団体等で構成されている。

平成27年度に地区公民館から移行するコミュニティセンターを拠点に、地域コミュニティ活動を展開するとともに、同センターの指定管理者として管理運営にあたる予定としている。

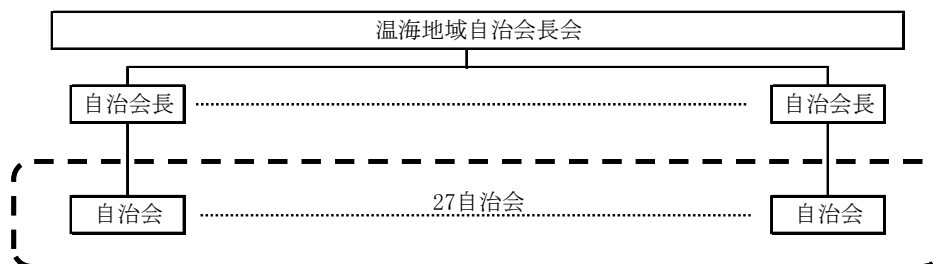


< 温海地域 >

① 自治会

温海地域には、27の単位自治組織（自治会）があり、自治会活動と公民館活動を一体的に行う自治公民館方式をとっており、住民相互の連絡協調と交流を図りながら、明るく住みよい地域づくりに向けた各種事業のほか、生涯学習活動や特色ある事業を展開した地区自治会活動も取り組まれている。自治会の代表者は自治会長と称する。

地域内には、自治会長全員からなる温海地域自治会長会が組織され、自治会長相互の連絡協調と各自治会の調和を図り、住民の意思を市政に反映させるとともに、住民自治の発展と住民福祉の向上に寄与することを目的に運営されている。

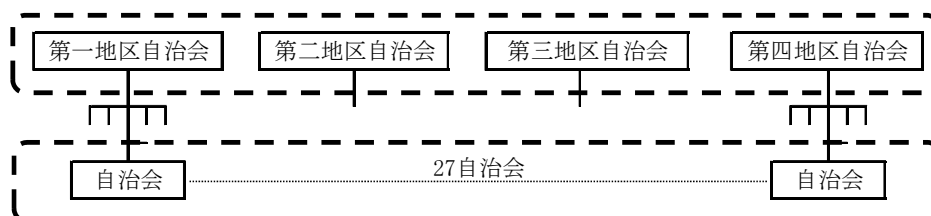


(行政からの主な依頼事項)

- (1) 広報物関係(市広報、市議会報、県広報等)及び回覧物の配布
- (2) 各種募金・日赤社費等の取りまとめ及び集金
- (3) 公共機関が発行する公報物の配布
- (4) 防犯灯、林道原材料等要望取りまとめ
- (5) 庁舎からの有線放送依頼
- (6) その他市長が依頼する事務

② 地区自治会

温海地域では、平成26年度に4つの地区ごとに、広域的なコミュニティ組織である地区自治会が設立された。地区自治会は、住民相互の連帯感の醸成と自治意識の高揚を図り健康で住みよい豊かな地域づくりを進める方針として、地区内の自治会で構成されている。



(6) コミュニティ活動関係施設数一覧 (平成 26 年度)

	鶴岡地域	藤島地域	羽黒地域	櫛引地域	朝日地域	温海地域	合計
コミュニティ(防災)センター、 地域活動センター等	21	5	-	-	-	-	26
中央公民館・地区公民館	1	-	5	1	3	1	11
自治公民館	160	58	62	21	37	27	365
保育園	27	2	3	4	1	5	42
幼稚園	8	1	-	-	-	-	9
児童館等	5	1	-	-	-	-	6
小学校	19	4	4	3	2	5	37
中学校	6	1	1	1	1	1	11
高等学校	6	1	1	1	-	-	9
高等専門学校	1	-	-	-	-	-	1
大学・大学院	2	-	-	-	-	-	2
市役所庁舎	1	1	1	1	1	1	6
総合福祉センター(にこふる)	1	-	-	-	-	-	1
鶴岡市社会福祉協議会各地 区福祉センター	1	1	1	1	1	1	6
警察署・交番・駐在所	12	3	2	2	1	3	23
消防署・分署	4	1	1	1	1	1	9
体育館	2	1	2	1	1	-	7

(7) 各地域のその他の特記事項

<鶴岡地域>

i コミュニティの成り立ち

明治 22 年の郡区町村編成法施行において、はじめて自治体としての鶴岡町が誕生した。その後、大正 7 年に稲生村、大正 9 年に大宝寺村を合併し、大正 13 年に鶴岡市となった。さらに、昭和 30 年 4 月に、隣接する斎村、黄金村、湯田川村、大泉村、京田村及び栄村の 6 村が、7 月に田川村、上郷村、豊浦村及び加茂町の 1 町 3 村が合併し、昭和 38 年 8 年に大山町が合併して旧鶴岡市を形成してきた。

町内会、自治会及び住民会等の住民自治組織については、江戸時代に一定の住居地区を前提とする地縁を重視した生活共同体から派生した地域集団が、昭和 15 年の部落会町内会等整備要領に基づき整備され、戦後再発足したものと、新しく住宅地となり、自然派生的に組織化が進んだものがあるが、各組織の世帯数に大きな差異がある。

昭和 51 年からは、社会情勢の変化をふまえて、住民の自主的なコミュニティ活動の拠点づくりを進め、郊外地の地区公民館をコミュニティセンターに移行するとともに、市街地にも学区単位にコミュニティセンターを設置し、平成元年を以て 21 小学校区全てにコミュニティ（防災）センターを設置して、学区・地区コミュニティ組織が管理運営を行ってきた。

ii 自然特性・立地

鶴岡地域は、米どころ庄内平野の南部に位置し、地域総面積は 233.91 km²、平野が約 6 割を占める。古くから庄内地方の政治、経済、文化の中心として発展してきた。

市街地は、城下町として培われた長い歴史と文化が脈々と受け継がれ、街並みも、鶴ヶ岡城址である鶴岡公園周辺には藩校致道館をはじめとした歴史的建造物が集中している。また、市街地を流れる内川は、古くから市民の川として親しまれている。なお、内川のほかに、赤川や青龍寺川等の河川が流れ、農業用水路、排水路等も横断しており、水利は豊富だが、集中豪雨の際等の洪水が心配される。

郊外地は、良質な庄内米が栽培されており、海や山などの豊かな自然環境にも恵まれ、海産物や山菜が豊富である。一方で、海岸沿いでは津波や高潮が、山間地では土砂災害等が心配される。

iii その他

人口の 64%、世帯の 69%が市街地に集中しており、市街地と郊外地に 2 極化している。

<藤島地域>

i コミュニティの成り立ち

明治 22 年に旧藤島・東栄・八栄島・長沼・渡前の各村が発足、その後大正 11 年に町制を施行した藤島町と東栄・八栄島・長沼の 3 村が昭和 29 年に合併、翌昭和 30 年に渡前村が編入合併し、旧藤島町を形成してきた。

その経過から、これまで旧藤島・東栄・八栄島・長沼・渡前村単位に地区公民館を設置し、生涯学習活動を中心とした地域活動に取り組んでいたが、平成 26 年 4 月より各地区とも新たに地域活動センターに移行し、総合的な地域活動の拠点施設としてのコミュニティ活動を担うこととなった。

ii 自然特性・立地

藤島地域は、庄内地方のほぼ中央に位置していることから明治 11 年に東田川郡役所が置かれるなど農村地域の中心として発展してきた。

面積は 63. 22k m²で、その約 85%が平坦な地形、約 60%が農用地として利用されるなど、庄内平野を代表する水稻地帯を形成している。

iii その他

藤島地域の中心部にある藤島地区は地域の世帯の約半数を占めているが、県水田農業試験場をはじめ県庄内農業技術普及課、県立庄内農業高校、土地改良区などの農業施設が集約され、市の公共施設や学校、商店などもあわせて市街地を形成している。その関係から各地区とも世帯数は横ばい、人口は減少傾向となっている中で、藤島地区は世帯数が漸増している。

<羽黒地域>

i コミュニティの成り立ち

明治 22 年町村制が施行され、手向・泉・広瀬村が誕生した。昭和 30 年 2 月 1 日、町村合併促進法のもとに 3 ケ村が合併し、羽黒町が誕生した。平成 17 年 10 月 1 日に鶴岡市と合併し現在に至る。

主要地方道鶴岡羽黒線沿いに集落を形成しているほか、中山間地や平地に小規模な集落が点在している。手向地区は古くから出羽三山神社の門前集落であり宿坊が多く、家屋が連担している。広瀬地区には、明治 5 年に庄内藩の武士達が荒野を開墾開拓し、その後養蚕業を興した松ヶ岡開墾場がある。

多くは昔からの集落であるが、住宅開発により新しく設立した自治組織もある。

ii 自然特性

総面積は 109. 61 km²、月山・羽黒山の山麓を含み赤川周辺までを範囲としている。山岳地、中山間地、平野からなり、半分以上が山麓、中山間地に属している。農業・畜産業が盛んであり、山岳地、中山間地においては積雪が多い。

iii その他

明治 22 年に合併した手向・泉・広瀬地区単位で活動する団体、4 つの小校区単位で活動する団体、羽黒地域全体で活動する団体が混在している。

近年住宅開発をした地域や別荘地など、新規居住者が増える自治組織も存在しているが、積雪が多い中山間地では、特に人口減少、少子化が進んでいる。

<櫛引地域>

i コミュニティの成り立ち

昭和29年12月、山添村と黒川村が合併し櫛引村となった。昭和31年1月、鶴岡市大字勝福寺の一部（三千刈地区）を編入し、昭和41年には町制を施行し櫛引町となった。

物理的に赤川を挟んでの合併だったため、新村の融和促進を図る観点から旧村単位の組織を設けず全村的な組織づくりをしてきた。櫛引村誕生当時の集落数は44であったが、自治会運営の効率化や行政による統合の誘導により集落が統合し、昭和51年には22集落となった。平成21年には、集落の戸数減少による自主的な統合によって、集落数は21となり現在に至っている。

当時、櫛引村は合併後、1村に1館の中学校区をエリアとする公立公民館を置く一方、住民に最も身近である集落ごとに自治公民館の設置を奨励・促進した。以降、自治公民館を拠点に集落単位で社会教育、社会体育活動が行われてきた。

ii 自然特性・立地

櫛引地域の総面積は80.18 k m²で、そのうち山林・原野が約39%、田畑が約33%、宅地が約3%となっている（平成18年1月1日現在）。中山間地域もあるが、いずれの集落も櫛引庁舎から車で10分程度というコンパクトな地勢となっている。

iii その他

自治組織の数も21集落とコンパクトであり、1集落あたりの世帯数が比較的多い。

小学校区単位の地区公民館がなく、地域コミュニティを構成する各種団体の活動が中学校区単位で行われている。

<朝日地域>

i コミュニティの成り立ち

明治22年の町村制施行により18あった村が東村、本郷村、大泉村の3村に、また昭和29年8月、3村が朝日村に合併された。

朝日地域のコミュニティ活動の範囲として、平成7年に現在の3地区公民館に再編される以前の8地区公民館の区域が現在も残っている。

8地区公民館に至る歴史としては、まず社会教育法制定により昭和27年、旧東村に2館（大網、東岩本）、旧大泉村に2館（大鳥、大泉）が役場・学校との併設で設置された。そして朝日村合併後の昭和30年、役場新庁舎建設に伴い旧本郷村役場を転用して1館（本郷）が設置。昭和40年、当時の8小学校区の中で設置されていなかった3地区（大針、熊出、名川）についても公民館が設置された。

ii 自然特性・立地

庄内地方最南端に位置し、569.17 km²の市内最大の地域面積をもつが、その94%が山岳・林野地帯という山間地で、河川沿いのわずか3%の平地を農地や宅地としている。また、積雪1.5mから3mにも達する豪雪地帯であり、地理条件として

はあまり恵まれていない。

iii その他

少子高齢化が進んでおり、自治会単位の世帯数も少ない。よって、各組織の予算規模も小さいものとなっている。

< 温海地域 >

i コミュニティの成り立ち

明治 22 年の町村制の施行により、それまでの 19 か村が、温海村、念珠関村、福栄村の 3 か村に合併し、その後、明治 25 年に温海村から山戸村が分離独立した。昭和 13 年には旧温海村が温海町となり、昭和 29 年にそれら 1 町 3 か村が合併し温海町となった。

昭和 33 年に集落づくりの温海町公民館を中心とした 4 つの地区公民館のもとに 31 集落（部落）に自治（部落）公民館が設置整備され現在の公民館体系の基礎が構築された。

その後、自治会が行う集落活動と自治公民館が行う学習活動等が一体となった「自治公民館方式」での活動となった。

平成 17 年の市町村合併により、鶴岡市中央公民館を中心に、温海ふれあいセンター（温海公民館）が鶴岡市温海地区公民館とし、そのもとに第 1～4 地区公民館と位置付けて事業展開を行っていた。

平成 26 年度には、4 つの地区ごとに、防災・福祉等の活動にも取り組むことを想定した広域コミュニティ組織である地区自治会が設立された。その活動拠点施設として、各地区の自治公民館を活用している。

ii 自然特性・立地

山形県の日本海側に面した西南端に位置し、長さ約 16 km を一辺としたほぼ正方形をなしており、総面積は 255.40 km² で、その約 89% は山林となっている。海岸線は庄内海浜県立自然公園に指定され、変化に富んだ海岸線を形成している。噴火で噴出した玄武岩が海中までのび、暮坪の立岩、鼠ヶ関の弁天島などの景勝をつくり、入江の多くは漁港として利用されている。

川は、摩耶山系に源を発し、四本の川がほぼ平行して流れ、日本海に注いでいる。その河川沿いには 27 の集落が点在しており、温海川の上流には温海岳の山懐に抱かれた、開湯一千年の温海温泉がある。

iii その他

海、山、川、温泉等の天然資源があり、職業が多種多様であるが、職場は鶴岡地域が多く昼間人口は非常に少ない。また高齢化率・高齢者世帯比率等は高く、人口減少率も高い地域である。

<鶴岡地域>

2 地域資源の明確化

(1) 主な固定資源

① 自然資源

金峯山
高館山自然休養林
温泉（湯野浜、湯田川、由良、火
灯崎、波戸崎）
鶴岡公園桜

上池・下池
海水浴場（由良、湯野浜、加茂、三瀬、
小波渡、堅苔沢）
白山島
まぼろしの滝

② 歴史的資源

鶴岡公園[城址]
致道博物館[旧鶴岡警察署庁舎、
旧西田川郡役所、民族文化財収蔵
庫、田麦俣多層民家]
荘内神社宝物殿
大宝館
庄内藩校致道館
酒井家庭園
旧風間家住宅丙申堂
風間家旧別邸無量光苑积迦堂
三井家蔵座敷
菅家庭園
旧松原御殿（庭園）
鶴岡カトリック教会天主堂

南岳寺[即身仏]
湯田川温泉梅林公園
日枝神社
由豆佐売神社
気比神社
善宝寺
大山公園
旧町名※鷹匠町や天神町等住居表示変更以前の名称
「雪の降るまちを」メロディー発想の地
学校給食発祥の地
高山樗牛
田澤稲舟
藤沢周平
丸谷才一

③ 文化・社会資源

鶴岡冬まつり
日本海寒鱈祭
由良寒鱈まつり
大山新酒・酒蔵まつり
鶴岡雑物語
湯田川梅まつり
鶴岡桜まつり
大山公園桜まつり
鶴岡天神祭

岩牡蠣祭
荘内大祭
大山犬まつり
金峯山雪灯籠祭
だるま市
加茂港大漁フェスティバル
山王ナイトバザール
赤川花火大会

④ 施設資源

藤沢周平記念館
鶴岡タウンキャンパス
鶴岡アートフォーラム

鶴岡市自然学習交流館ほとりあ
県民の海プールスパール
出羽庄内国際村

金峯山博物館
加茂水族館
由良海洋釣り堀
キャンプ場(由良海岸、三瀬海岸、
三瀬八森山、小波渡海岸)

小真木原運動場
ゴルフ場(湯野浜カントリークラブ)
出羽ノ雪酒造資料館
庄内空港

⑤人的資源

山形大学農学部
鶴岡工業高等専門学校
慶應義塾大学先端生命科学研究所
東北公益文科大学大学院
NPO 法人公益のふるさと創り鶴岡
NPO 法人つるおかランド・バンク
NPO 法人三井蔵部

NPO 法人鶴岡城下町トラスト
NPO 法人ぼらんたす
首都圏鶴岡会
東京尾浦会
江戸川大山会
白山会

⑥情報資源

(2) 主な流動資源

①特産的資源

絵ろうそく
いづめこ人形
御殿まり
駄菓子
庄内竿
竹塗漆器
漬物(民田なす、赤かぶ)
絹織物
地酒
クリスタルガラス
田川そば

だだちや豆
もうそう汁
南禅寺豆腐
庄内砂丘メロン
寒鱈汁
麦切り
庄内米
芋煮
庄内柿
岩牡蠣

②中間生産物

<藤島地域>

2 地域資源の明確化

(1) 主な固定資源

①自然資源

添川根子杉
十文字開発記念樹
藤九郎清水

添川大森山のあずまや
藤島歴史公園
各所にある藤棚

②歴史的資源

独木船（まるきぶね）
硬玉類
平形館跡
藤島城址

東田川文化記念館（旧東田川郡役所・
郡会議事堂・旧東田川電気事業組合倉
庫）

③文化・社会資源

獅子踊り（渡前獅子踊り、大谷獅
子舞、東堀越獅子踊り、両所神社
御獅子舞、八色木獅子踊り、豊栄
獅子踊り）
神楽（長沼八幡神社神楽、六所神
社神楽、古郡神楽）

ふじの花まつり
ふじしま夏まつり（鶴岡伝統芸能祭、
ふじしま焼肉フェスティバル）
ふじしま秋まつり

④施設資源

筍沢温泉慈生館
湯の沢温泉地蔵の湯
長沼温泉ぽっぽの湯

産直楽々（らら）
藤島ふれあいセンター（直売）
県水田農業試験場（つや姫誕生の地）

⑤人的資源

東京藤島会
名寄交流友の会

NPO 法人明日のたね

⑥情報資源

(2) 主な流動資源

①特産的資源

有機・特別栽培農産物
大吟醸藤島
すいおう
庄内柿
トマト

マコモタケ
軟白ねぎ
庄内牛
藁工芸品

②中間生産物

エコ有機センターで生産される堆肥

<羽黒地域>

2 地域資源の明確化

(1) 主な固定資源

①自然資源

月山
羽黒山
杉林
水田
畑
月山牧場

柿
熊
牛
水芭蕉
温泉

②歴史的資源

玉川縄文遺跡
硬玉製勾玉類（玉川遺跡出土）
玉川寺庭園
羽黒山のスギ並木
羽黒山の爺スギ
月山
羽黒山南谷の蘚苔と杉並木
羽黒山五重塔

羽黒山正善院
羽黒山三神合祭殿及び鐘楼
銅鏡（羽黒山御手洗池出土）
松ヶ岡開墾場（本陣、蚕室等）
蜂子皇子
天宥法印
戸川安章
今井繁三郎

③文化・社会資源

高寺八講
法螺貝
宿坊
斎館
精進料理
花祭り
八朔祭
松例祭
出羽三山羽黒太鼓
奥の細道羽黒山全国俳句大会

新島村との交流事業（墓参、物産交流、
駅伝参加、サマー交流訪問、スキー体
験来訪）
松ヶ岡クラフトフェア
松ヶ岡雪灯籠祭り
松ヶ岡音楽祭
庄内ラブジャム
奉納相撲大会
羽黒山石段マラソン
羽黒地区駅伝大会

④施設資源

出羽三山神社
羽黒山石段
映画ロケオープンセット
いでは文化記念館
玉川寺
歴史博物館
松ヶ岡本陣

松ヶ岡開墾記念館
庄内農具館
庄内映画村資料館
おカイコさまの蔵
新徴屋敷
「庄内の米作り用具」収蔵庫
松岡窯陶芸教室陶の蔵

くらふと松ヶ岡「こうでらいね」
ギャラリーまつ
シルクショップ荘内藩
直売所ひょうたん
やまぶし温泉「ゆぼか」
月山ビジターセンター
月山レストハウス
宿坊

休暇村羽黒
キャンプ場
蝦夷館公園
創造の森
蝦夷館公園
農業用ため池
羽黒山スキー場

⑤人的資源

出羽三山神社宮司、山伏
氏子会
松例祭保存会
NPO 法人蜂鼓山社中
まちづくり塾羽黒グループ
精進料理プロジェクト
出羽三山魅力発信協議会
松ヶ岡地域振興会議

荒川地域づくり文化振興会議
東北振興研修所
いでは観光ガイドの会
月山観光ガイドの会
走友会
羽黒スポーツクラブ
東京羽黒会
宮城羽黒会

⑥情報資源

山伏修行体験塾
お札（出羽三山神社）

松岡窯陶芸教室

(2) 主な流動資源

①特産的資源

庄内柿
アスパラ
ブルーベリー
米
月山筍
月山高原メロン
赤カブ

長芋
桃
ラフランス
サクランボ
枝豆（主に加工用）
陶芸
酒造

②中間生産物

<櫛引地域>

2 地域資源の明確化

(1) 主な固定資源

①自然資源

勝地の大杉
桜並木（馬渡川）
鮎（赤川）
イバラトミヨ（板井川）

ホタルの里（宝谷）
棚田（たらのき代）
酸性白土（松根）

②歴史的資源

丸岡城跡及び加藤清正墓碑
上ノ山城主、里見越後守主従の墓地
赤川渡舟跡（弘法の渡し）
首なし地藏堂と修理塚

六十里越街道
柏戸
斎藤秀一（言語研究家）
遠藤虚籟（綴錦織）

③文化・社会資源

黒川能（王祇祭、水焰の能、蠟燭能、能装束、能面）
天狗舞・獅子舞
御神子舞
奴振り（上山添皇大神社）
流鏝馬神事（下山添八幡神社）
丸岡桐箱踊り
宝谷八木節
昔話

「空にかける階段」作品群
さくらんぼ祭り
清正公祭
くしびき夏祭り
ふるさとむら宝谷新そば祭り
櫛引地域スポーツ大会（サッカー、バスケ、バレーボール、卓球）
こしやってマルシェ

④施設資源

鶴岡市ケーブルテレビジョン
たらのきだいスキー場
くしびき温泉ゆ〜Town
柏戸記念館
産直めぐり
観光果樹村（くしびきPA）・果樹園（さくらんぼ、ぶどう、りんご）

宝谷そば・ふるさとむら宝谷
櫛引総合運動公園・櫛引スポーツセンター
黒川能の里・王祇会館
工業団地（庄内南、櫛引東、櫛引西）
地場イタリアンレストラン
農家民宿・農家レストラン

⑤人的資源

櫛引会（首都圏、関西、宮城）
横浜市立青木小学校（修学旅行交流）
鎌倉女子大学（農業体験受入）

神楽坂毘沙門天（農産物訪問販売・東京都）
櫛引花と緑の会（サルビア植栽活動）
櫛引やすらぎ公園管理組合（馬渡の桜）

の管理)
公益財団法人黒川能保存会
上海清水池イバラトミヨを守る
会 (板井川)
荘内加藤清正公忠廣公遺蹟顕彰
会 (丸岡)
櫛引観光ガイドの会

黒川能の里観光ガイドの会
黒川能の里の会 (民宿)
黒川・蠟燭能実行委員会
松根塾
講中 (伊勢講、地蔵講等)
富樫実

⑥情報資源

(2) 主な流動資源

①特産的資源

果樹 (ぶどう、さくらんぼ、りん
ご、なし、柿)
そば

宝谷かぶ
酒造

②中間生産物

ペレット

<朝日地域>

2 地域資源の明確化

(1) 主な固定資源

①自然資源

ブナ原生林	水力
カタクリ群生地	豪雪（雪室利用）
梵字川溪谷	湧水
溪流	朝日連峰（以東岳、大鳥池、高山植物）
里山	月山
棚田	湯殿山
カモシカ	摩耶山
野鳥（カワセミ科、クマタカ、白鳥）	湯ノ沢岳
ホタル	湖沼（中台池、池の平池）
溪流魚	秋の紅葉
	滝（日本の滝百選 七ツ滝 外）

②歴史的資源

越中山遺跡	即身仏（注連寺、大日坊、本明寺）
砂川A遺跡	旧遠藤家住宅（多層民家）
大泉鉦山跡	本多猪四朗
湯殿山神社	森敦
六十里越街道	

③文化・社会資源

山岳信仰	湯殿山開山祭
マタギ	湯ノ沢岳山開き
鷹匠	大鳥川フェスタ
獅子舞	月山ワインまつり
神楽	あさひ産業文化まつり
祥雲御山太鼓	庄内あさひ新そばまつり
タキタロウ伝説、	スキー
月山あさひ博物村イベント（キジ汁祭り、月山筍汁祭り、博物村夏祭り、大梵字新そば祭り）	溪流釣り
タキタロウまつり（大鳥池山開き）	キャンプ
	カヌー
	登山

④施設資源

ダム	湯殿山スキー場
道の駅（月山あさひ博物村周辺施設群）	キャンプ場
	オートキャンプ場

⑤人的資源

狩猟技術

鷹匠

茅葺き

首都圏庄内あさひ会

仙台朝日会

墨田区交流

かだんこの会(青少年ボランティアグループ)

⑥情報資源

(2) 主な流動資源

①特産的資源

山菜(月山筍、わらび、ぜんまい、
たらの芽)

きのこ(なめこ、まいたけ)

山ぶどう

庄内柿

月山ワイン

とちもち

②中間生産物

<温海地域>

2 地域資源の明確化

(1) 主な固定資源

①自然資源

温海温泉（開湯一千年）
海（紺碧の海・夕陽）
山（杉山・紅葉）
川（清流）
立岩（暮坪）
念珠の松（鼠ヶ関）
海水浴場（鼠ヶ関）
日本国（小名部）

摩耶山（越沢）
温海岳（温海温泉）
四ノ滝（温海川）
玉スギ（山五十川）
おぼこおけさライン（庄内海浜県立自然公園）
マルバシヤリンバイ
棚田（越沢、暮坪）

②歴史的資源

関所址（鼠ヶ関）
源義経ゆかりの浜（鼠ヶ関）
孝子慶玉（早田）
大名行列（小国）

弓射れ神事（小国）
小国城址
戊辰の役古戦場（関川）
芭蕉句碑（暮坪）

③文化・社会資源

獅子舞（熊野神社）
あつみこけし（温海温泉）
さくらマラソン大会（温海温泉）
ケヤキキョウダイ（浜中）
神輿流し（鼠ヶ関）
全国大漁旗フェスティバル（鼠ヶ関）
トライアスロン大会（鼠ヶ関）

念珠関辨天太鼓（鼠ヶ関）
山戸能（山五十川）
山五十川歌舞伎
戸沢歌舞伎（花胡蝶歌舞伎）
獅子踊り（木野俣）
ワッパ舞（楨代）
一霞焼
カッパ焼

④施設資源

足湯カフェ「チットモッシェ」（温海温泉）
バラ公園（温海温泉）
共同浴場（温海温泉）
朝市（温海温泉）
米子漁港（暮坪）
海の釣堀センター（暮坪）
鼠ヶ関港

鼠ヶ関マリーナ
マリンパークねずがせき
キャンプ場（鼠ヶ関）
小国ふる里ふれあい村（楯山荘）
古典芸能伝承館（山五十川）
しな織センター（関川）
道の駅あつみ「しゃりん」（早田）

⑤人的資源

あつみ湯けむり女子会

まちづくりチーム YUKAI（湯温海）

さくらマラソン大会・トライアス
ロン大会参加者
ふるさと温海会
NPO 法人豊かな海の環境をめざす
おけさ会
NPO 法人自然体験温海コーディネ
ット

NPO 法人あつみ育成会
鼠ヶ関地域協議会「蓬莱塾」
福栄地域協議会「福の里」
鶴岡まちづくり塾温海グループ
地域農産物直売「んめっちゃ市」

⑥情報資源

(2) 主な流動資源

①特産的資源

温海かぶ（一霞）
カラ竹（鈴）
アユ（五十川）
イカの一夜干し（鼠ヶ関）
寒ダラ汁（鼠ヶ関）
あつみ豚（小名部）

しいたけ（小名部）
そば（越沢）
しな織（関川）
べろべろ餅（関川）
元禄餅
孟宗汁（早田）

②中間生産物

※日本総研の分類を参考にしています。

(1)固定資源 地域に固定されているもの 地域内で活用、消費されるもの	①自然資源	原生的自然資源	原生林、自然草地、自然護岸 等
		二次的自然資源	人工林、里山、農地 等
		野生生物	希少種、身近な生物 等
		鉱物資源	化石燃料、鉱物素材 等
		エネルギー資源	太陽光、風力 等
		水資源	地下水、表流水、湖沼、海洋 等
		環境総体	風景、景観 等
	②歴史的資源	遺跡、歴史的的文化財、歴史的建造物、歴史的事件、郷土出身者 等	
	③文化・社会資源	伝統文化、芸能、民話、祭り、イベント、スポーツ 等	
	④施設資源	構築物、構造物、家屋、市街地、街路、公園 等	
⑤人的資源	技術資源	労働力、技能、技術、知的資源 等	
	関係資源	人脈、ネットワーク、相互信頼、ソーシャルキャピタル 等	
⑥情報資源	知恵、ノウハウ、電子情報、ブランド、評判、制度、ルール、愛着、誇り 等		
(2)流動資源 地域内で生産され、地域外でも活用、消費されるもの	①特産的資源	農・林・水産物、同加工品、工業部品・組立製品 等	
	②中間生産物	間伐材、家畜糞尿、下草や落葉、産業廃棄物、一般廃棄物 等	

※2(1)⑤「人的資源」について、ほぼ全地域に共通する消防団、婦人会、体育協会、観光協会、芸術文化協会、交通安全協会、防犯協会、老人クラブ、PTA、スポーツ少年団、民生児童委員、生涯学習推進員、青少年育成推進員等は、記載を省略しています。

3 基本方針に定める「目指すコミュニティ像」の実現に向け、地域コミュニティが抱える課題

(1) 自治組織が抱える組織上・運営上の課題

①単位自治組織

<組織上の課題>

現状、問題意識	課題項目	具体的取り組みのアイデア(地域資源活用方策含む※具体的取り組みを設定するうえで地域資源の活用ができるものがあれば記載)
<p>【市民の意識】</p> <p>①隣近所の支え合い意識が低下してきている</p> <p>②町内会や地域コミュニティへの無関心層が拡大している</p> <p>③町内会活動に協力が少なく他人任せのところがある</p>	<p>A 町内会の存在意義や活動に対する理解促進</p> <p>B 町内会が抱える問題・課題の再認識と共有</p> <p>C 隣近所・町内会で気軽に話し合える雰囲気や場づくり</p>	<p>A 町内会の存在意義を確認し問題・課題を共有するワーキングや講演会の開催【町内会、市】</p> <p>A 総会資料等の作り方に工夫をこらし活動方針や活動自体の見える化【町内会】</p> <p>A 地域の子どもの郷土愛を育む地域教育活動の実践【町内会、市】</p> <p>AB コミュニティ広報紙(コミュニティだより)の充実による情報発信力の強化【町内会】</p> <p>C 笑顔で挨拶を交わす取り組みの実践【町内会】</p> <p>C 気軽に話し合える場を設定する(夏祭りの売店を隣組単位で出店させる等)【町内会】</p>
<p>【会員】</p> <p>①会員の少子高齢化が進んでいる</p> <p>②新しい入居者で町内会に入らない世帯がある</p> <p>③アパート入居者で町内会に入らない世帯がある</p>	<p>A 町内会の存在意義や活動に対する理解促進(再)</p> <p>B 在住者や転入者への町内会加入の呼びかけ</p>	<p>A 町内会の存在意義を確認し問題・課題を共有するワーキングや講演会の開催【町内会、市】(再)</p> <p>AB 転入者及び転居者に対して、市民課等窓口での住民票異動手続きの際に、町内会加入呼びかけチラシを配付する(継続)【市】</p> <p>AB アパート入居者の町内会加入促進のため、建築関連手続きで来庁した家主に啓発文書を配付する【市】</p> <p>AB 市、自治組織、宅建協会との連携によるアパート家主及び入居者等への町内会加入啓蒙の推進【市・町内会】</p> <p>B あきらめず誘い続ける声かけの実践【町内会】</p> <p>B 新しく住民になった人でも気軽に参加できるイベントの開催【町内会】</p>
<p>【役員】</p> <p>①役員の高齢化が進んでいる</p> <p>②少子高齢化の進展と若い世代の参加意識の希薄さもあり、<u>役員の担い手不足と固定化が進んでいる</u></p> <p>③行政からの依頼やチラシの配布、募金の取りまとめなど、役員の負担感が高まっている</p> <p>④他団体における役員のあて職が多く負担になっている</p> <p>⑤各種会議が平日に開催されることが多く、現役世代は会議への出席の難しさから役員を敬遠する人も多い</p> <p>⑥<u>役員を一度引き受けると抜けられないのではと感じ、役員を敬遠する人も多い</u></p>	<p>A 組織の機能や役割等の見直し(役員の役割、分担、選出方法、負担軽減策等含む)</p> <p>B 担い手となる人材の確保・育成</p> <p>C 役員の年間スケジュールの明確化</p> <p>D あて職を担うこととなる学区団体組織等の統合・再編に係る情報交換</p>	<p>A 役員の任期・交代・選定方法(公募含む)のあり方検討会の開催【町内会、広域コ】</p> <p>A 広域コミュニティ組織が先導して「地域課題総合調整会議」を開催し、課題解決のための優先順位付け、役割分担等を定める【町内会、広域コ、市】</p> <p>A 役員の負担軽減に繋がる効果的な分担制の検討【町内会】</p> <p>B 女性の力の活用、女性の活躍の場の拡大(女性を役員に登用)【町内会】</p> <p>B 若い世代が会議に参加しやすいように、同日・同時に子ども行事を実施し、親は会議に参加、子どもは行事で楽しむ【町内会】</p> <p>B 会議の日程や時間の設定を工夫する(例えば「60分会議」、「休日早朝会議」等)【町内会】</p> <p>B 町内会役員とPTA・婦人会・体育協会等との交流促進【町内会】</p> <p>C 役員の年間スケジュールの作成【町内会】</p> <p>D 学区団体組織等の統合・再編に係る情報交換会の開催【町内会、広域コ、市】</p> <p>D 各種団体・組織の整理・統合・再編【町内会】</p>
<p>【会費・資金】</p> <p>①<u>会員減少による会費収入減少により町内会の財政運営が難しくなりつつある</u></p> <p>②会費未納者が多くなってきている</p> <p>③他団体への負担金が多く、町内会財政運営の負担が大きい</p>	<p>A 町内会の存在意義や活動に対する理解促進(再)</p> <p>B 会費のあり方の検討</p> <p>C 財政運営の見直し</p>	<p>A 町内会の存在意義を確認し問題・課題を共有するワーキングや講演会の開催【町内会、市】(再)</p> <p>B 会費のあり方検討会の開催【町内会】</p> <p>C 会費収入に見合った事業運営に向けた住民合意に基づく活動の優先順位付けや内容の見直し【町内会】</p> <p>C 小規模町内会への支援(継続:総合交付金)【市】</p> <p>C 各種団体・組織の整理・統合・再編【町内会】(再)</p>

【組織の規模】 ①組織規模の小さい町内会では、少子高齢化に起因する会員減少等により、今後、町内会を存続できるかどうか不安を抱えている ②会員減少で隣組を統合したところもある	A 将来を見据えた隣組や町内会の再編に係る情報交換	A 町内会の再編・統合への実務的支援と財政支援（継続：統合町内会への総合交付金の経過措置）【市】
【他の地域組織との関わり】		
【行政との関わり】 ①各種の調査報告とりまとめ等、行政からの多様な依頼業務が町内会の負担となっている（行政の下請けとの苦情が多く聞かれる） ②市他団体の総会や会議が多く、同日同時に開催されること等もあり苦慮している	A 行政から町内会に依頼される仕事の洗い出しや整理・統合 B 行政の担当課同士による情報交換と会合日程の調整	A 各種団体・組織の整理・統合・再編【町内会】(再) A 行政から町内会に依頼される仕事の洗い出しや整理・統合【市】 B 行政の担当課同士による情報交換と会合日程の調整【市】
【その他】 ①		

<運営上の課題>

現状、問題意識	課題項目	具体的取り組みのアイデア <small>（地域資源活用方策含む※具体的取り組みを設定するうえで地域資源の活用ができるものがあれば記載）</small>
【組織の役割・機能】 ①		
【事業参加】 ①参加者が固定化、高齢化、減少している ②子育てが終わった世帯で参加しない人もいる	A 事業への参加の呼びかけ	A 多様な媒体を活用した事業周知、年齢層やライフステージを意識したPR活動【町内会】 A あきらめず誘い続ける声かけの実践【町内会】(再) A 親子行事や祖父母孫行事など、多世代と一緒に参加し、関わることのできる事業の開催【町内会】 A 総会資料等の作り方に工夫をこらし活動方針や活動自体の見える化【町内会】(再)
【事業日程】 ①		
【事業企画】 ①事業がマンネリ化、固定化、地域事業と重複している ②新旧住民、老若男女でニーズの相違がある	A 参加層を意識した魅力的な事業企画立案と実施 B <u>関係団体との協力・連携体制の構築</u>	A 住民ニーズの把握（アンケートの活用など）と、ニーズに沿った事業企画【町内会】 A 町内会の中で事業企画を公募する【町内会】 A 企画立案研修の実施【市】 A 知見を共有するための町内会活動報告会の開催【市、町内会】 A 従来行われてきた事業内容の再点検・見直し【町内会】 B 分野別に強みを持つ関係団体との事業共催【町内会】
【事業運営】 ①役員への負担が集中し、現状維持が精一杯で、地域の問題・課題に積極的に動けない状況にある ②町内会単体では解決が難しい問題への対応を迫られることもある（引きこもり老人対策等）	A 町内会事業等の喫緊の課題の洗い出し作業（住民ニーズの把握） B 地域の課題は地域で解決していく意識の醸成、枠組み構築 C 関係団体、NPO、志縁団体との協力・連携体制の構築 D 町内会と <u>広域コミュニティ組織との連携・役割分担</u> E 持続可能な事業運営のための人材育成・確保、資金管理	A 町内会の存在意義を確認し問題・課題を共有するワーキングや講演会の開催【町内会、市】(再) B 地域課題の解決方策等の事例をHPに整理し発信【市】 C 体育協会（若者）や婦人会（女性）との事業共催【町内会】 D 単位自治組織と広域コミュニティ組織との機能・役割分担会議の開催【町内会、広域コ、市】 E 事業を通じて自分が必要とされている喜びや達成感を共有できる仕掛けづくり【町内会】 E 人材育成のための研修機会の充実（町内会若手を対象とした研修会、PTAと連携しての地域人材育成研修会、コミセン職員研修会など）【市】
【生涯学習（公民館活動）】 ①役員の負担が大きく、生涯学習事業の実施が困難になりつつある、手が回らないという声がある ② <u>事業のマンネリ化</u>	A 住民合意に基づく活動の優先順位付けや内容の見直し	A 住民合意に基づく活動の優先順位付けや内容の見直し【町内会】(再) A 単位自治組織と広域コミュニティ組織との機能・役割分担会議の開催【町内会、広域コ、市】(再)

<p>【福祉】</p> <p>①高齢者や要支援者の増加が懸念される</p> <p>②認知症高齢者の増加と徘徊による帰宅困難者の増加が懸念される</p> <p>③高齢者が増加する中で、最低限必要な安全・安心を確保できるような地域内における絆づくりが求められている</p>	<p>A 声掛け・見守り体制の構築</p> <p>B 組織連携型の広域的な支援組織づくり</p>	<p>A 災害時要援護者支援計画の策定【町内会】</p> <p>A 自治組織による要支援者の把握への市の協力【市】</p> <p>B 組織連携型(市、自治組織、福祉団体、警察など)の広域的な認知症徘徊者対策の検討・実施【市、町内会、広域コ】</p>
<p>【防犯・防災】</p> <p>①高齢者や要支援者が増加し、会員の高齢化・減少、若者の減少、さらに平日日中の人口減少等、地域の防犯・防災体制を弱体化させる要因が増えている</p> <p>②空き家が年々増加しており、防犯、防災上の不安を抱えている</p> <p>③安全・安心に係る広域コミュニティ組織と町内会の役割分担ができていない</p>	<p>A 自主防災組織の充実</p> <p>B 高齢者等への支援体制づくり</p> <p>C 町内会と広域コミュニティ組織との連携・役割分担による安全・安心の確保(再)</p> <p>D 空き家の把握と見守り体制づくり</p> <p>E 関係団体、NPO、志縁団体との協力・連携体制の構築(再)</p>	<p>A 自主防災組織の機能点検【町内会】</p> <p>AB 見守り、防災面での女性の力の活用、女性の活躍の場の拡大【町内会】</p> <p>B 災害時要援護者支援計画の策定【町内会】(再)</p> <p>B 自治組織による要支援者の把握への市の協力【市】(再)</p> <p>B 安否情報伝達訓練の開催【町内会】</p> <p>C 安全・安心の確保を目的に、町内会と広域コミュニティ組織による連携・役割分担会議の開催【町内会、広域コ】</p> <p>D 空き家調査と見守り体制づくりの実践【町内会】</p> <p>E 関係団体等との協働による防災訓練の実施【町内会】</p>
<p>【生活環境整備】</p> <p>①アパート入居者に係るごみ処理等のマナー違反</p> <p>②会員の高齢化等により、河川清掃や側溝清掃等の共同作業への協力要請が難しくなりつつある</p>	<p>A アパート入居者への町内会ルールの周知徹底</p> <p>B 町内会の状況(年齢構成等)に応じた共同作業の役割・作業分担、作業の簡略化の検討</p>	<p>A 宅建協会との連携によるアパート家主及び入居者への町内会ルールの徹底【市・町内会】</p> <p>B 共同作業の在り方の検討【町内会】</p>
<p>【財産管理】</p>		
<p>【情報伝達・収集】</p> <p>①世帯カード等を作成する際に情報が得にくい(特にアパート入居者)</p> <p>②世帯カード等を作成する際にどこまで情報提供をお願いすればよいかわからない</p> <p>③住民の動向をリアルタイムに把握することが難しい</p>	<p>A 緊急時や災害時に備えた個人情報の提供に係る理解促進と情報収集</p> <p>B 民生児童委員等との連携による情報伝達・収集力の向上</p> <p>C 世帯カード等への記載項目の共有</p> <p>D 空き家等の住民に係る情報を隣組単位で把握して町内会の上部に伝える伝達手段の確立</p>	<p>A 住民情報の収集の必要性と活用方法、活用成果についての情報公開、収集したデータをもとにした地域の現状に関する情報共有【町内会】</p> <p>A 自治組織による、アンケートを活用してのコミュニティ活動に必要な住民情報や住民ニーズの収集・把握【町内会】</p> <p>A 防災訓練時に、緊急時や災害時に備えた個人情報の提供の必要性を説明する【市、町内会】</p> <p>A 緊急時の連絡先の情報収集【町内会】</p> <p>A 手助けできる人の情報収集【町内会】</p> <p>A 市と町内会と宅建協会が協力・連携したアパート入居者に係る情報収集活動の実践【市、町内会】</p> <p>B 町内会・広域コミュニティ組織、民生児童委員・社協の連携による情報収集活動の実践【町内会】</p> <p>C 世帯カードの雛形の作成・提供【市】</p> <p>D 住民動向を隣組単位で把握して町内会の上部に伝達する仕組みの構築【町内会】</p>
<p>【行政との関わり】</p> <p>①行政へ相談しても地域課題の解決が進まない不満がある</p>	<p>A 地域と行政の協調・協力による課題解決の仕組みづくり</p>	<p>A 広域コミュニティ組織での課題集約と地区担当職員との情報共有の推進、地区担当職員と連携した地域課題の解決【市】</p> <p>A 市の住民自治組織総合交付金制度の状況把握【市】</p>
<p>【その他】</p> <p>①近隣トラブルへどのように関与すべきか(心身上的病気、認知症・徘徊、一人暮らし高齢世帯の金銭的負担負えない等多岐)</p> <p>②町内会の歴史等を記録することが大切</p>	<p>A 近隣トラブルに関する町内会の関わり方の検討、情報共有</p> <p>B 町内会の歴史等の保存・記録</p>	<p>A 地域課題の解決方策等の事例を HP に整理し発信【市】(再)</p> <p>B 周年記念誌発刊等、町内会の歴史等の保存を促進【町内会】</p>

(1) 自治組織が抱える組織上・運営上の課題

②広域コミュニティ組織

<組織上の課題>

現状、問題意識	課題項目	具体的取り組みのアイデア(地域資源活用方策含む※具体的取り組みを設定するうえで地域資源の活用ができるものがあれば記載)
<p>【市民の意識】</p> <p>①</p>		

<p>【会員】</p> <p>※会員は学区に所属する町内会の会員で構成されていることから、単位自治組織の組織上の課題と同じ</p>	<p>※会員は学区に所属する町内会の会員で構成されていることから、単位自治組織の組織上の課題と同じ</p>	<p>※会員は学区に所属する町内会の会員で構成されていることから、単位自治組織の組織上の課題と同じ</p>
<p>【役員】</p> <p>①構成役員は町内会や学区団体からのあて職となっており、町内会長等が中心で若い人が少ない</p> <p>②役員の高齢化・固定化が進み、役職も重複するケースも多く、負担が大きい</p> <p>③役員へ負担が集中し、地域の問題・課題に積極的に動けない状況にある(再)</p>	<p>A <u>組織の機能や役割等の見直し(役員役割、分担、選出方法、負担軽減策等含む)(再)</u></p> <p>B <u>担い手となる人材の確保・育成(再)</u></p> <p>C 関係団体、NPO、志縁団体との協力・連携体制の構築(再)</p>	<p>A 役員任期・交代・選定方法(公募含む)のあり方検討会の開催【広域コ】(再)</p> <p>A 地域の現状に応じた組織体制の見直しを行い、組織及び活動の活性化に繋げる【広域コ】</p> <p>B 女性の力の活用、女性の活躍の場の拡大(女性を役員に登用)【町内会、広域コ】(再)</p> <p>BC 学区内での人材育成のための研修機会の充実(町内会若手を対象とした研修会、PTAと連携しての地域人材育成研修会、コミセン職員研修会など)【市】(再)</p>
<p>【会費・資金】</p> <p>①</p>		
<p>【町内会との関わり】</p> <p>①町内会の統廃合は広域コミュニティ組織から主導してほしいとの声がある</p> <p>②少子高齢化に伴い、町内会の機能は縮小傾向にある</p>	<p>A 将来を見据えた隣組や町内会の再編に係る情報交換(再)</p> <p>B 広域コミュニティ組織による町内会の機能補完、適切な支援やアドバイス</p>	<p>AB 単位自治組織と広域コミュニティ組織の機能・役割分担会議の開催【広域コ、町内会】(再)</p>
<p>【組織の規模】</p> <p>①小学校区のエリアが、コミュニティ活動の実態と一致していないところもあり、活動への思い入れ等に温度差が生じる等、一体感を作りあげていくことが難しい</p>	<p>A 情報の共有</p>	<p>A 交流や話し合いの機会を持つ【広域コ】</p> <p>A コミュニティ広報紙(コミュニティだより)の充実による情報発信力の強化【広域コ】(再)</p>
<p>【他の地域組織との関わり】</p> <p>①各種団体・協議会が多く、地域における組織を整理する議論が必要</p> <p>②同じ顔ぶれの学区会合が多く、会合自体も多い</p> <p>③各種団体同士の情報交換や連携が十分ではない</p>	<p>A 学区団体組織及び町内会の統合・再編に係る情報交換</p> <p>B <u>学区団体組織による情報交換や連携の場づくり</u></p>	<p>A 各種団体・組織の整理・統合・再編【広域コ】(再)</p> <p>A 各種団体の事務局を広域コミュニティ組織に集約する、あるいは取り込む等して、人材・資金不足を解消するとともに団体同士の連携を進めて地域づくりに活かす【広域コ】</p> <p>B 学区団体組織(広域コミュニティ組織、町内会、学区社協等の団体)による情報交換会の開催、連携組織の立上げ【広域コ】</p>
<p>【行政との関わり】</p> <p>①行政へ相談しても地域課題の解決が進まない不満がある(再)</p>	<p>A 広域コミュニティ組織と行政の信頼関係の構築</p> <p>B 地域と行政の協調・協力による課題解決の仕組みづくり(再)</p>	<p>A 地域の現状・課題等について、地区担当職員との情報共有の推進【市、広域コ】</p> <p>B 地区担当職員と連携した地域課題の解決【市、広域コ】(再)</p>
<p>【その他】</p> <p>①</p>		

<運営上の課題>

現状、問題意識	課題項目	具体的取り組みのアイデア(地域資源活用方策含む※具体的取り組みを設定するうえで地域資源の活用ができるものがあれば記載)
<p>【組織の役割・機能】</p> <p>①町内会と広域コミュニティ組織との連携・役割分担により、役員等の負担を少なくしながら、より効果の上がる事業活動が求められている</p> <p>②広域コミュニティ組織の役割や機能の考え方は多様に存在する</p>	<p>A 地域課題を踏まえた町内会と広域コミュニティ組織の連携・役割分担</p> <p>B 課題解決型広域コミュニティ組織運営への転換</p> <p>C 広域コミュニティ組織事業等の喫緊の課題の洗い出し作業</p> <p>D 住民の声を反映した地域ビジョンづくり</p>	<p>AB 広域コミュニティ組織が先導して「地域課題総合調整会議」を開催し、課題解決のための優先順位付け、役割分担等を定める【広域コ、町内会】(再)</p> <p>B 地域コミュニティの実態を把握するための調査の継続実施【市・広域コ】</p> <p>C 問題・課題を共有するワーキングの開催【広域コ】</p> <p>D 住民の声を反映した学区地域計画の策定【広域コ】</p>
<p>【事業参加】</p> <p>①参加者が固定化、高齢化、減少している(再)</p>	<p>A 事業への参加の呼びかけ(再)</p>	<p>A 多様な媒体を活用した事業周知、年齢層やライフステージを意識したPR活動【広域コ】(再)</p> <p>A あきらめず誘い続ける声かけの実践(再)【広域コ】</p> <p>A 親子行事や祖父母孫行事など、多世代と一緒に参加し、関わることのできる事業の開催【広域コ】(再)</p>

<p>【事業日程】 ①学区事業と町内会事業の日程調整が難しい</p>	<p>A 広域コミュニティ組織の調整機能の発揮</p>	<p>A 広域コミュニティ組織と町内会が協議して事業の優先順位を決め、優先度の高い事業から日程を決める【広域コ、町内会】</p>
<p>【事業企画】 ①事業がマンネリ化、固定化、地域事業と重複している(再)</p>	<p>A <u>参加層を意識した魅力的な事業企画立案と実施(再)</u> B 組織や事業の統合・再編 C <u>関係団体との協力・連携体制の構築(再)</u></p>	<p>A 年齢層やライフステージの観点から通常事業の見直し【広域コ】 A 若者が関心を持つ行事の開催【広域コ】 B 事業ごとに最適な担い手(町内会なのか広域コミュニティ組織なのか、あるいは全くの別組織なのか)を決め、事業を統合・再編する【広域コ】 C 共通課題解決に向けた団体横断的プロジェクトを展開し協力・連携体制構築する【広域コ】 C 分野別に強みを持つ関係団体との事業共催【広域コ】(再)</p>
<p>【事業運営】 ①市民に開かれた広域コミュニティ組織運営が求められている ②事業が多く、広域コミュニティ組織事務局の負担が増加している</p>	<p>A 市民が気軽に集まれる場づくり B 子どもから高齢者まで事業等への参加意識の醸成 C <u>地域課題を踏まえた町内会と広域コミュニティ組織の連携・役割分担(再)</u> D 広域コミュニティ組織の運営形態の見直し E 関係団体、NPO、志縁団体との協力・連携体制の構築(再) F 持続可能な事業運営のための人材育成・確保、資金管理(再)</p>	<p>A 市民が気軽に集まれる場を作るための検討会議の開催【広域コ】 B コミュニティ広報紙(コミュニティだより)の充実による情報発信力の強化【広域コ】(再) CD <u>単位自治組織と広域コミュニティ組織の機能・役割分担会議の開催【広域コ、町内会】(再)</u> E 広域コミュニティ組織と地区内の関連団体との連携強化【広域コ】 E 体育協会(若者)や婦人会(女性)との事業共催【広域コ】(再) F 地域の課題解決に向け自治組織自らが取り組む事業への資金の獲得と支援(ステップアップ事業補助金)【広域コ、市】</p>
<p>【生涯学習】 ①事業のマンネリ化 ②参加者の固定化 ③事業を実施する際の担い手不足</p>	<p>A <u>参加層を意識した魅力的な事業企画立案と実施(再)</u> B 事業への参加の呼びかけ(再) C <u>生涯学習推進員の役割・位置づけ・活用方策の整理</u></p>	<p>A 年齢層やライフステージの観点から通常事業の見直し【広域コ】(再) A 若者が関心を持つ行事の開催【広域コ】(再) A 分野別に強みを持つ関係団体との事業共催【広域コ】(再) B 多様な媒体を活用した事業周知、年齢層やライフステージを意識したPR活動【広域コ】(再) C 生涯学習推進員の意識づけと研修活動や情報交換【市】 C 生涯学習推進員の活かし方の検討【広域コ】</p>
<p>【福祉】 ①高齢者や要支援者の増加が懸念される(再)</p>	<p>A <u>声掛け・見守り体制の構築(再)</u> B <u>高齢者の生活ニーズ(除雪・買い物・通院等)への対応</u> C <u>高齢者の孤立予防対策</u></p>	<p>A 町内会と連携した災害時要援護者支援計画の策定【広域コ・町内会】 B 高齢者の生活ニーズ(支援が必要な人と支援ができる人の情報収集、必要とされる支援内容の洗い出し、高齢者支援のボランティア体制の確立)への対応策の検討【町内会・広域コ】 B コミュニティビジネスの取り組みに向けた研究活動 C 自治組織による要支援者の把握への市の協力【市】(再)</p>
<p>【防犯・防災】 ①高齢者や要支援者が増加し、会員の高齢化・減少、若者の減少、さらに平日日中の人口減少等、地域の防犯・防災体制を弱体化させる要因が増えてきている(再) ②空き家が年々増加しており、防犯、防災上の不安を抱えている(再) ③安全・安心に係る広域コミュニティ組織と町内会の役割分担ができていない(再)</p>	<p>A 自主防災組織の充実(再) B <u>高齢者等への支援体制づくり(再)</u> C 町内会と広域コミュニティ組織との連携・役割分担による安全・安心の確保(再) D 空き家の把握(再) E <u>関係団体との協力・連携体制の構築(再)</u> F 消防団 OB の活用(消防団活動協力員の強化含む)</p>	<p>AB 見守り、防災面での女性の力の活用、女性の活躍の場の拡大【広域コ】(再) B 町内会と連携した災害時要援護者支援計画の策定【広域コ・町内会】(再) C <u>安全・安心の確保を共通目的に、町内会・広域コミュニティ組織・学区団体による連携プロジェクトの実施【広域コ、町内会】</u> D 町内会と連携した空き家調査と見守り体制づくりの実践【広域コ・町内会】(再) E 関係団体等との協働による防災訓練の実施【広域コ】(再)</p>
<p>【生活環境整備】 ①</p>		

<p>【情報伝達・収集】</p> <p>①一人暮らしや高齢者世帯等の緊急時連絡者(家族関係者)の情報が得にくい</p> <p>②要支援者の生活実態がわからない</p>	<p>A 緊急時や災害時に備えた個人情報の提供に係る理解促進と情報収集(再)</p> <p>B 学区内組織や民生児童委員等との連携による情報伝達・収集力の向上</p>	<p>A 住民情報の収集の必要性と活用方法、活用成果についての情報公開、収集したデータをもとにした地域の現状に関する情報共有【広域コ】(再)</p> <p>A 自治組織による、アンケートを活用してのコミュニティ活動に必要な住民情報や住民ニーズの収集・把握【広域コ】(再)</p> <p>A 防災訓練時に、緊急時や災害時に備えた個人情報の提供の必要性の説明を行う【広域コ】(再)</p> <p>B 町内会・広域コミュニティ組織、民生児童委員・社協の連携による情報収集活動の実践【広域コ】(再)</p>
<p>【施設】</p> <p>①施設利用受付・貸出(希望日に取れない)</p> <p>②今後増加する高齢者が利用しやすいコミュニティ(防災)センター環境整備</p>	<p>A 施設利用受付・貸出方法の見直し</p> <p>B コミュニティ(防災)センターのバリアフリー化の推進</p>	<p>A 受付開始日の見直し【市】</p> <p>B コミュニティ(防災)センターにおける老朽化対策の計画的な実施、バリアフリー化の推進、駐車場の拡張【市】</p>
<p>【他の地域組織との関わり】</p> <p>①学区団体の各種活動のマンネリ化</p> <p>②学区団体の集まるメンバーの固定化</p> <p>③参加者を惹きつける学区団体の楽しさや魅力の不足</p>	<p>A 青年層(若者)の参画</p> <p>B 学区団体等と広域コミュニティ組織との連携強化</p> <p>C 広域コミュニティ組織職員や役員、リーダーの人材育成</p>	<p>A 事業運営を若者に任せる(関わってもらいたい人に任せる)【団体】</p> <p>B 広域コミュニティ組織における住民活動の場を広げるコーディネート機能の発揮【広域コ】</p> <p>C 人材育成のための研修機会の充実(町内会若手を対象とした研修会、PTAと連携しての地域人材育成研修会、コミセン職員研修会など)【市】(再)</p>
<p>【行政との関わり】</p> <p>①</p>		
<p>【その他】</p> <p>①</p>		

(2) 地域(住民)が抱える課題

現状、問題意識	課題項目	具体的取り組みのアイデア(地域資源活用方策含む※具体的取り組みを設定するうえで地域資源の活用ができるものがあれば記載)
<p>【地域連帯感の希薄化、帰属意識の低下】</p> <p>①</p>		
<p>【高齢化の進展(高齢者の増加)】</p> <p>①高齢化に伴い日常的な生活活動(除雪、買い物、通院等)が困難な住民が増えている</p>	<p>A 高齢者の生活ニーズ(除雪・買い物・通院等)への対応(再)</p>	<p>A 高齢者の生活ニーズ(支援が必要な人と支援ができる人の情報収集、必要とされる支援内容の洗い出し、高齢者支援のボランティア体制の確立)への対応策の検討【町内会、広域コ】(再)</p> <p>A コミュニティビジネスの取り組みに向けた研究活動【広域コ】(再)</p>
<p>【少子化の進展(子どもの減少)、子育て環境の変化】</p> <p>①</p>		
<p>【晩婚化、未婚化の進展】</p> <p>①</p>		
<p>【若者の流出】</p> <p>①</p>		
<p>【日中人口の減少】</p> <p>①</p>		
<p>【地域伝統芸能文化の継承】</p> <p>①神社の維持が難しくなっている</p> <p>②お祭りの当屋を担うことが難しくなっている</p>	<p>A 神社維持に係る理解促進</p> <p>B お祭りの当屋に係る理解促進</p>	<p>AB 神社やお祭りの維持・活性化に向けた意見交換会の開催【町内会】</p>
<p>【地域団体の活力低下、多様化】</p> <p>①</p>		
<p>【空き家の増加】</p> <p>①空き家の把握が難しい(住民の動向をリアルタイムに把握することが難しい)(再)</p>	<p>A 空き家等の住民に係る情報の把握方法の確立</p>	<p>A 住民動向を隣組単位で把握して町内会の上部に伝達する仕組みの構築【町内会】(再)</p>
<p>【地域交通の不便さ】</p> <p>①</p>		

<p>【その他】 ①アパートが多く立地し、入居者の未加入やマナー違反が問題となっている ②子どもと地域の繋がりが困難になった</p>	<p>A <u>アパート入居者への町内会</u>の存在意義や町内会活動に対する理解促進 B <u>アパート入居者への町内会加入</u>の呼びかけ C <u>アパート入居者への町内会ルール</u>の周知徹底（再）</p>	<p>AB 転入者及び転居者に対して、市民課等窓口での住民票異動手続きの際に、町内会加入呼びかけチラシを配付する(継続)【市】(再) AB アパート入居者の町内会加入促進のため、建築関連手続きで来庁した家主に啓発文書を配付する【市】(再) C 市、自治組織、宅建協会との連携によるアパート家主及び入居者へのルール徹底【市】(再)</p>
---	---	---

3 基本方針に定める「目指すコミュニティ像」の実現に向け、地域コミュニティが抱える課題

(1) 自治組織が抱える組織上・運営上の課題

①単位自治組織

<組織上の課題>

現状、問題意識	課題項目	具体的取り組みのアイデア(地域資源活用方策含む※具体的取り組みを設定するうえで地域資源の活用ができるものがあれば記載)
<p>【市民の意識】</p> <p>①隣近所がなくても生活できる環境が整い、隣近所付き合いが少なくなっている</p> <p>②世代間交流が十分に図られていない</p> <p>③世帯数が減少し行事が出来なくなる等、住民会活動が低迷しつつある</p> <p>④人口減少社会において、地域課題の増加が懸念される</p>	<p>A 住民会の存在意義や活動に対する理解促進</p> <p>B 住民会が抱える問題・課題の再認識と共有</p>	<p>A 住民会の存在意義を確認し問題・課題を共有するワーキングや講演会の開催【住民会、市】</p> <p>A 総会資料等の作り方に工夫をこらし活動方針や活動自体の見える化【住民会】</p> <p>A 地域の子どもの郷土愛を育む地域教育活動の実践【住民会、市】</p> <p>AB コミュニティ広報紙(コミュニティだより)の充実による情報発信力の強化【住民会】</p>
<p>【会員】</p> <p>①会員の少子高齢化が進み、かつ減少している</p> <p>②新しい入居者(I ターン等)で住民会に入らない世帯がある</p>	<p>A 住民会の存在意義や活動に対する理解促進(再)</p> <p>B 転入者への住民会加入の呼びかけ</p> <p>C 将来を見据えた組織再編の検討</p> <p>D 元村住民と新住民の融合</p>	<p>A 住民会の存在意義を確認し問題・課題を共有するワーキングや講演会の開催【住民会、市】(再)</p> <p>AB 転入者及び転居者に対して、市民課等窓口での住民票異動手続きの際に、住民会加入呼びかけチラシを配付する(継続)【市】</p> <p>B 住民会加入において、あきらめず誘い続ける声かけの実践【住民会】</p> <p>BD 新しく住民になった人でも気軽に参加できるイベントの開催【住民会】</p> <p>C 各種団体・組織の整理・統合・再編【住民会】</p>
<p>【役員】</p> <p>①役員の担い手不足により固定化が進んでいる</p> <p>②世帯数が少ないのに(減少傾向にあるのに)役職数は変わらず多く、世帯数が少ないからすぐに役がまわってくるとの声がある</p> <p>③役員が1年交替のところもあり課題解決までに至らない</p>	<p>A 組織の機能や役割等の見直し(役員の役割分担、選出方法、負担軽減策等含む)</p> <p>B 担い手となる人材の確保・育成</p>	<p>A 役員の任期・交代・選定方法(公募含む)のあり方検討会の開催【住民会、広域コ】</p> <p>A 広域コミュニティ組織が先導して「地域課題総合調整会議」を開催し、課題解決のための優先順位付け、役割分担等を定める【住民会、広域コ、市】</p> <p>A 役員の負担軽減に繋がる効果的な分担制の検討【住民会】</p> <p>B 女性の力の活用、女性の活躍の場の拡大(女性を役員に登用)【住民会】</p> <p>B 若い世代が会議に参加しやすいように、同日・同時間に子ども行事を実施し、親は会議に参加、子どもは行事で楽しむ【住民会】</p> <p>B 会議の日程や時間の設定を工夫する(例えば「60分会議」、「休日早朝会議」等)【住民会】</p> <p>B 住民会役員とPTA・婦人会・体育協会等との交流促進【住民会】</p>
<p>【会費・資金】</p> <p>①会員減少等による会費収入の減少により住民会の財政運営が難しくなりつつある</p> <p>②市街地に比べて会費が高いという声がある</p> <p>③住民負担が重いという声がある(住民会費、互助会費、振興会費、公民館費、神社、寺等々)</p>	<p>A 住民会の存在意義や活動に対する理解促進(再)</p> <p>B 会費の有り方の検討</p> <p>C 財政運営の見直し</p>	<p>A 住民会の存在意義を確認し問題・課題を共有するワーキングや講演会の開催【住民会、市】(再)</p> <p>B 会費のあり方検討会の開催【住民会】</p> <p>C 会費収入に見合った事業運営に向けた住民合意に基づく活動の優先順位付けや内容の見直し【住民会】</p> <p>C 小規模住民会への支援(継続:総合交付金)【市】</p> <p>C 各種団体・組織の整理・統合・再編【住民会】(再)</p>
<p>【組織の規模】</p> <p>①郊外地の住民会の1/3が30世帯以下の小規模組織であり、少子高齢化が進展する中で、今後の維持に不安を抱えている</p> <p>②集落内に2つの学区が存在するところもある</p>	<p>A 将来を見据えた住民会の再編に係る情報交換</p> <p>B 周辺住民会との連携、広域コミュニティ組織による支援機能構築(補完機能)</p>	<p>A 小規模住民会への支援(継続:総合交付金)【市】(再)</p> <p>A 住民会の再編・統合への実務的支援と財政支援(継続:統合住民会への総合交付金の経過措置)【市】</p> <p>B 広域コミュニティ組織による住民会機能の補完【広域コ】</p> <p>B 周辺住民会との住民会役員による情報交換会の開催【住民会】</p>
<p>【他の地域組織との関わり】</p> <p>①</p>		
<p>【行政との関わり】</p> <p>①</p>		

【その他】 ①		
------------	--	--

<運営上の課題>

現状、問題意識	課題項目	具体的取り組みのアイデア (地域資源活用方策含む※具体的取り組みを設定するうえで地域資源の活用ができるものがあれば記載)
【組織の役割・機能】 ①		
【事業参加】 ①参加者が固定化、高齢化、減少している	A <u>事業への参加の呼びかけ</u>	A 多様な媒体を活用した事業周知、年齢層やライフステージを意識したPR活動【住民会】 A あきらめず誘い続ける声かけの実践【住民会】(再) A 総会資料等の作り方に工夫をこらし活動方針や活動自体の見える化【住民会】(再)
【事業日程】 ①		
【事業企画】 ①		
【事業運営】 ①会員の高齢化や減少により、実施困難な事業が発生しつつある(スポーツ事業、祭典等) ②地域事業が多く負担が大きいと感じる人がいる ③リーダーが不足している ④会員減少や高齢化で運営資金不足が懸念される ⑤住民会単独での行事ができなくなっている	A <u>住民会事業等の喫緊の課題の洗い出し作業(住民ニーズの把握)</u> B 住民合意に基づく活動の優先順位付けや内容の見直し C <u>持続可能な事業運営のための人材育成・確保、資金管理</u> D 運営・活動資金の確保と、会員の理解と協力が得られるような適正配分 E 周辺住民会との連携(再)	A 住民会の存在意義を確認し問題・課題を共有するワーキングや講演会の開催【住民会、市】(再) B 住民合意に基づく活動の優先順位付けや内容の見直し【住民会】 C 事業を通じて自分が必要とされている喜びや達成感を共有できる仕掛けづくり【住民会】 C 人材育成のための研修機会の充実(住民会若手を対象とした研修会、PTAと連携しての地域人材育成研修会、コミセン職員研修会など)【市】 D 各種助成金や協賛金等の外部資金の獲得【住民会】 E 周辺住民会との住民会役員による情報交換会の開催【住民会】(再)
【生涯学習(公民館活動)】 ①事業のマンネリ化	A <u>住民合意に基づく活動の優先順位付けや内容の見直し</u>	A 住民合意に基づく活動の優先順位付けや内容の見直し【住民会】(再) A 単位自治組織と広域コミュニティ組織との機能・役割分担会議の開催【住民会、広域コ、市】(再)
【福祉】 ①一人暮らし世帯、高齢者世帯、要支援者の増加が懸念される	A <u>声掛け・見回りの体制の構築</u>	A 災害時要援護者支援計画の策定【住民会】 A 自治組織による要支援者の把握への市の協力【市】
【防犯・防災】 ①高齢者や要支援者が増加し、会員の高齢化・減少、若者の減少、さらに平日日中の人口減少等、地域の防犯・防災体制を弱体化させる要因が増えてきている	A <u>住民会と広域コミュニティ組織との連携・役割分担による安全・安心の確保</u> B 消防団 OB の活用(消防団活動協力員の強化含む)	A 安全・安心の確保を目的に、住民会と広域コミュニティ組織による連携・役割分担会議の開催【住民会、広域コ】 B 登録の消防団活動協力員への活動協力・参加について、あきらめず誘い続ける声かけの実践【住民会】
【生活環境整備】 ①会員の高齢化等により、除草作業や側溝清掃等の共同作業への協力要請が難しくなりつつある	A <u>住民会の状況(年齢構成等)に応じた共同作業の役割・作業分担、作業の簡略化の検討</u>	A 共同作業の在り方の検討【住民会】
【財産管理】 ①自治公民館等の維持・管理経費が増大している	A 自治公民館等の適切な維持・管理方策の検討 B 代替施設等の可能性に係る検討	A 各種助成金や協賛金等の外部資金の獲得【住民会】(再) A 自治公民館等の適正な維持・管理に向けた勉強会の開催(同時に住民理解を深める)【住民会】 B 空き家を活用した事例等の勉強会の開催【住民会】

<p>【情報伝達・収集】 ①(緊急時や災害時への備えとして)要支援者等に係る情報が得にくい ②世帯カード等を作成する際に情報が得にくい</p>	<p>A 緊急時や災害時に備えた個人情報の提供に係る理解促進と情報収集 B 民生児童委員等との連携による情報伝達・収集力の向上</p>	<p>A 住民情報の収集の必要性と活用方法、活用成果についての情報公開、収集したデータをもとにした地域の現状に関する情報共有【住民会】 A 自治組織による、アンケートを活用してのコミュニティ活動に必要な住民情報や住民ニーズの収集・把握【住民会】 A 防災訓練時に、緊急時や災害時に備えた個人情報の提供の必要性を説明する【市、住民会】 A 緊急時の連絡先の情報収集【住民会】 A 手助けできる人の情報収集【住民会】 B 住民会・広域コミュニティ組織、民生児童委員・社協の連携による情報収集活動の実践【住民会】</p>
<p>【行政との関わり】 ①行政の多様な依頼(下請け的)が住民会の負担になっている</p>	<p>A 行政からコミュニティ組織に依頼される仕事の洗い出しや整理・統合</p>	<p>A 行政からコミュニティ組織に依頼される仕事の洗い出しや整理・統合【市】</p>
<p>【その他】 ①</p>		

(1) 自治組織が抱える組織上・運営上の課題

②広域コミュニティ組織

<組織上の課題>

現状、問題意識	課題項目	具体的取り組みのアイデア (地域資源活用方策含む※具体的取り組みを設定するうえで地域資源の活用ができるものがあれば記載)
<p>【市民の意識】 ①</p>		
<p>【会員】 ※会員は学区に所属する住民会の会員で構成されていることから、単位自治組織の組織上の課題と同じ</p>	<p>※会員は学区に所属する住民会の会員で構成されていることから、単位コミュニティ組織の組織上の課題と同じ</p>	<p>※会員は学区に所属する町内会の会員で構成されていることから、単位自治組織の組織上の課題と同じ</p>
<p>【役員】 ①役員が一斉に変わるところもあり、地域の問題・課題に向け積極的に動けない状況にある ②後継者が育たない</p>	<p>A 役員の選出方法の検討 B 担い手となる人材の確保・育成(再)</p>	<p>A 役員の任期・交代・選定方法(公募含む)のあり方検討会の開催【広域コ】(再) B 女性の力の活用、女性の活躍の場の拡大(女性を役員に登用)【住民会、広域コ】(再) B 学区内での人材育成のための研修機会の充実(住民会若手を対象とした研修会、PTAと連携しての地域人材育成研修会、コミセン職員研修会など)【市】(再)</p>
<p>【会費・資金】 ①会費が高いとの声がある ②会員減少による資金不足が心配される</p>	<p>A 会費のあり方の検討 B 財政運営の見直し(再) C コミュニティビジネスを含めた活動資金の確保策の検討</p>	<p>A 会費のあり方検討会の開催【住民会】(再) B 会費収入に見合った事業運営に向けた住民合意に基づく活動の優先順位付けや内容の見直し【住民会】(再) C コミュニティビジネスの取り組みに向けた研究活動【広域コ】</p>
<p>【町内会との関わり】 ①住民会と広域コミュニティ組織で重なる事業もある ②住民会への支援が十分行き届いていないとの声もある</p>	<p>A 住民会と広域コミュニティ組織の連携、事業の範囲と役割の調整・明確化 B 住民会への支援体制の整備(機能補完)</p>	<p>AB 単位自治組織と広域コミュニティ組織の機能・役割分担会議の開催【住民会、広域コ、市】</p>
<p>【組織の規模】 ①小学校区のエリアが、コミュニティ活動の実態と一致していないところもあり、活動への思い入れ等に温度差が生じる等、一体感を作りあげていくことが難しい</p>	<p>A 情報の共有</p>	<p>A 交流や話し合いの機会を持つ【広域コ】 A コミュニティ広報紙(コミュニティだより)の充実による情報発信力の強化【住民会】(再)</p>
<p>【他の地域組織との関わり】 ①</p>		
<p>【行政との関わり】 ①</p>		
<p>【その他】 ①</p>		

<運営上の課題>

現状、問題意識	課題項目	具体的取り組みのアイデア (地域資源活用方策含む※具体的取り組みを設定するうえで地域資源の活用ができるものがあれば記載)
<p>【組織の役割・機能】</p> <p>①広域コミュニティ組織の存在意義や拠点施設としてのあり方が問われている</p> <p>②住民会の小規模化が進み、住民会の負担が益々大きくなっている</p>	<p>A 地域課題を踏まえた住民会と広域コミュニティ組織の連携・役割分担(再)</p> <p>B 課題解決型広域コミュニティ組織運営への転換</p> <p>C 住民の声を反映した地域ビジョンづくり</p> <p>D 地域における人的ネットワークに資する拠点性の確保と情報発信力の強化</p>	<p>AB 広域コミュニティ組織が先導して「地域課題総合調整会議」を開催し、課題解決のための優先順位付け、役割分担等を定める【広域コ、住民会】(再)</p> <p>B 地域コミュニティの実態を把握するための調査の継続実施【市・広域コ】</p> <p>C 住民の声を反映した学区地域計画の策定【広域コ】</p> <p>D 市民が気軽に集まれる場を作るための検討会議の開催【広域コ】</p> <p>D コミュニティ広報紙(コミュニティだより)の充実による情報発信力の強化【広域コ】(再)</p>
<p>【事業参加】</p> <p>①老人クラブ(高齢者)や小学校(児童)へのアンケート結果によれば、声がかかれば手伝ってもよい、参加してもよいとする回答がある</p>	<p>A 住民に開かれた事業運営(多様な年齢層に情報共有を図り参加を促す)</p> <p>B 事業への参加の呼びかけ(再)</p>	<p>AB 多様な媒体を活用した事業周知、年齢層やライフステージを意識したPR活動【広域コ】(再)</p> <p>AB あきらめず誘い続ける声かけの実践【広域コ】(再)</p> <p>AB 総会資料等の作り方に工夫をこらし活動方針や活動自体の見える化【住民会】(再)</p>
<p>【事業日程】</p> <p>①</p>		
<p>【事業企画】</p> <p>①事業のマンネリ化、固定化、地域事業と重複している</p> <p>②会員の価値観が多様化している</p>	<p>A 参加者を意識した魅力的な事業企画と実施</p> <p>B 組織や事業の統合・再編</p> <p>C 関係団体との協力・連携体制の構築</p>	<p>A 年齢層やライフステージの観点から通常事業の見直し【広域コ】</p> <p>A 若者が関心を持つ行事の開催【広域コ】</p> <p>B 事業ごとに最適な担い手(住民会なのか広域コミュニティ組織なのか、あるいは全くの別組織なのか)を決め、事業を統合・再編する【広域コ、住民会】</p> <p>C 共通課題解決に向けた団体横断的プロジェクトを展開し協力・連携体制構築する【広域コ】</p> <p>C 分野別に強みを持つ関係団体との事業共催【広域コ】</p>
<p>【事業運営】</p> <p>①役員が一斉に変わるところもあり、地域の問題・課題に積極的に動けない状況にある</p> <p>②事業が多く、広域コミュニティ組織事務局の負担が増加している</p>	<p>A 住民会と広域コミュニティ組織の連携・役割分担(再)</p> <p>B 関係団体、NPO、志縁団体との協力・連携体制の構築</p> <p>C 持続可能な運営のための人材育成・確保、資金管理(再)</p> <p>D 広域コミュニティ組織事業等の喫緊の課題の洗い出し作業(住民ニーズの把握)(再)</p>	<p>A 単位自治組織と広域コミュニティ組織の機能・役割分担会議の開催(再)【広域コ】</p> <p>B 広域コミュニティ組織と地区内の関連団体との連携強化【広域コ】</p> <p>B 体育協会(若者)や婦人会(女性)との事業共催【広域コ】</p> <p>C 地域の課題解決に向け自治組織自らが取り組む事業への資金の獲得と支援(ステップアップ事業補助金)【広域コ】</p> <p>D 広域コミュニティ組織の存在意義を確認し問題・課題を共有するワーキングや講演会の開催【広域コ、市】(再)</p>
<p>【生涯学習】</p> <p>①事業のマンネリ化</p> <p>②参加者の固定化</p> <p>③事業を実施する際の担い手不足</p>	<p>A 参加層を意識した魅力的な事業企画立案と実施(再)</p> <p>B 事業への参加の呼びかけ(再)</p> <p>C 生涯学習推進員の役割・位置づけ・活用方策の整理</p>	<p>A 年齢層やライフステージの観点から通常事業の見直し【広域コ】(再)</p> <p>A 若者が関心を持つ行事の開催【広域コ】(再)</p> <p>A 分野別に強みを持つ関係団体との事業共催【広域コ】(再)</p> <p>B 多様な媒体を活用した事業周知、年齢層やライフステージを意識したPR活動【広域コ】(再)</p> <p>C 生涯学習推進員の意識づけと研修活動や情報交換【市】</p> <p>C 生涯学習推進員の活動のあり方の検討【広域コ】</p>
<p>【福祉】</p> <p>①</p>		

<p>【防犯・防災】</p> <p>①消防団員が平日日中集落にいない</p> <p>②消防団の管轄区域がコミュニティ活動の区域と一致していないため、消防団と広域コミュニティ組織との連携が難しく、自主防災活動を進めて行くうえでの障壁となっている</p>	<p>A 広域的な防災体制の整備</p> <p>B 消防団 OB の活用(消防団活動協力員の強化含む)(再)</p> <p>C 消防団と広域コミュニティ組織が連携できる体制づくり</p>	<p>A 安全・安心の確保を共通目的に、住民会・広域コミュニティ組織・学区団体による連携プロジェクトの実施</p> <p>B 登録の消防団活動協力員への活動協力・参加について、あきらめず誘い続ける声掛けの実践【住民会】(再)</p> <p>C 消防団と広域コミュニティ組織との連携に向けた情報交換会の開催【広域コ】</p>
<p>【生活環境整備】</p> <p>①</p>		
<p>【情報伝達・収集】</p> <p>①一人暮らしや高齢者世帯等の緊急時連絡者(家族関係者)の情報が得にくい</p> <p>②要支援者の生活実態がわからない</p>	<p>A 緊急時や災害時に備えた個人情報提供に係る理解促進と情報収集(再)</p> <p>B 学区内組織や民生児童委員等との連携による情報伝達・収集力の向上</p>	<p>A 住民情報の収集の必要性と活用方法、活用成果についての情報公開、収集したデータをもとにした地域の現状に関する情報共有【広域コ】(再)</p> <p>A 自治組織による、アンケートを活用してのコミュニティ活動に必要な住民情報や住民ニーズの収集・把握【広域コ】</p> <p>A 防災訓練時に、緊急時や災害時に備えた個人情報の提供の必要性の説明を行う【広域コ】(再)</p> <p>B 住民会・広域コミュニティ組織、民生児童委員・社協の連携による情報収集活動の実践【広域コ】(再)</p>
<p>【施設】</p> <p>①今後増加する高齢者が利用しやすいコミュニティ(防災)センター環境整備</p>	<p>A コミュニティ(防災)センターのバリアフリー化の推進</p>	<p>A コミュニティ(防災)センターにおける老朽化対策の計画的な実施、バリアフリー化の推進、駐車場の拡張【市】</p>
<p>【他の地域組織との関わり】</p> <p>①</p>		
<p>【行政との関わり】</p> <p>①</p>		
<p>【その他】</p> <p>①</p>		

(2) 地域(住民)が抱える課題

現状、問題意識	課題項目	具体的取り組みのアイデア(地域資源活用方策含む※具体的な取り組みを設定するうえで地域資源の活用ができるものがあれば記載)
<p>【地域連帯感の希薄化、帰属意識の低下】</p> <p>①住民流出による過疎化の進行(市街地への流出)</p> <p>②若い人ほど地域への帰属意識が薄い</p> <p>③親が地域行事に出なければ子どもも同じようになる</p>	<p>A 移住・定住の勧誘活動の促進</p> <p>B 地域の魅力の再発見</p> <p>C 小さい頃から地域に愛着を持てるような教育の機会の提供</p> <p>D 地域コミュニティ活動への子どもを持つ親の理解促進</p>	<p>A 首都圏等にある各地域の故郷会等との連携による交流イベントの開催【広域コ】</p> <p>A 移住定住促進員を配置した移住促進活動の展開【広域コ】</p> <p>A 首都圏等の地域出身者への地域広報紙等の配送【広域コ】</p> <p>BC 地域コミュニティ組織で子どものころから地域に愛着を持てるような教育の提供【市】</p> <p>C 人材育成のための研修機会の充実(住民会若手を対象とした研修会、PTAと連携しての地域人材育成研修会、コミセン職員研修会など)【市】(再)</p> <p>D 若い世代が会議に参加しやすいように、同日・同時に子ども行事を実施し、親は会議に参加、子どもは行事で楽しむ【住民会】(再)</p> <p>DPTA との連携【市、広域コ】</p>
<p>【高齢化の進展(高齢者の増加)】</p> <p>①高齢化に伴い日常生活活動(除雪、買い物、通院等)が困難な住民が増えている</p>	<p>A 高齢者の生活ニーズへの対応</p> <p>B 市街地への移動手段の確保</p>	<p>A 高齢者の生活ニーズ(支援が必要な人と支援ができる人の情報収集、必要とされる支援内容の洗い出し、高齢者支援のボランティア体制の確立)への対応策の検討【住民会、広域コ】</p> <p>A コミュニティビジネスの取り組みに向けた研究活動【広域コ】(再)</p> <p>B 交通手段の検討【市、広域コ】</p>
<p>【少子化の進展(子どもの減少)、子育て環境の変化】</p> <p>①小学校の再編が進んでいる。これにより、児童居住地における放課後教室等の場の減少や、学校と地域が協働で取り組んできた事業がなくなることによる地域活力の低下が懸念されている</p>	<p>A 児童居住地の学童保育や放課後教室等の場の確保</p> <p>B 子どもが地域活動に参加する機会づくり</p>	<p>A 児童居住地の学童保育や放課後教室等の場の確保【市、広域コ】</p> <p>B 地域コミュニティ組織で子どものころから地域に愛着を持てるような教育の提供【市】(再)</p>
<p>【晩婚化、未婚化の進展】</p> <p>①</p>		

<p>【若者の流出】 ①地域に就労先が少なく子ども達が流出傾向にある</p>	<p>A 地域資源を活用した雇用の創出</p>	<p>A コミュニティビジネスの取り組みに向けた研究活動【広域コ】(再)</p>
<p>【日中人口の減少】 ①</p>		
<p>【地域伝統芸能文化の継承】 ①人口減少により担い手が不足し、伝統芸能の継承に不安を抱えている ②神社等への思い入れが薄くなってきている ③学校の再編によって地域に小学校が無くなったため、地域行事への子どもの参加に支障をきたしている、地域行事と学校の連携に問題がある ④お祭りの日程上、参加者を確保することが難しい</p>	<p>A 担い手の確保 B 伝統芸能への理解促進 C 氏子としての位置付けの理解促進 D 出来る限り地域事情に配慮した学校運営 E 小さい頃から地域の伝統行事への理解を促すような機会の提供 F 地域行事へ参加しやすい環境づくり</p>	<p>A 若い世代に任せる【住民会】 BCE 小さい頃から地域の伝統行事への理解を促すような機会の提供【住民会、市】 D 出来る限り地域事情に配慮した学校運営【市】 F 開催日を変更する【住民会】</p>
<p>【地域団体の活力低下、多様化】 ①地域にリーダーが育たない</p>	<p>A 地域リーダーとなる人材の確保・育成(再)</p>	<p>A 学区内での人材育成のための研修機会の充実(住民会若手を対象とした研修会、PTAと連携しての地域人材育成研修会、コミセン職員研修会など)【市】(再)</p>
<p>【空き家の増加】 ①</p>		
<p>【地域交通の不便さ】 ①バスの本数も少なく交通が不便である ②バスが通らない集落もある ③児童はバス通学である</p>	<p>A 市街地への移動手段の確保(再) B 児童の通学に係る安全確保</p>	<p>A 交通手段の検討【市】(再) B 交通安全協会や防犯協会等との連携した通学時の見守り体制の充実【住民会、広域コ】</p>
<p>【その他】 ①郊外地は、山間地域や海岸地域があり、集落規模や立地条件等も多様 ②コミセンまでの距離が遠く集まりにくい ③住民流出による過疎化の進行(市街地への流出)(再) ④有害鳥獣による農作物等への被害が問題となっている ⑤山林・農地・生態系の保全が行き届いていない ⑥地区内に医院がなくて不安に感じている ⑦地域資源の活用が経済的にうまく結びつかない</p>	<p>A 集落等支援に関する考え方を整理 B 広域コミュニティ組織と住民会との連携強化 C 移住・定住の勧誘活動の促進(再) D 鳥獣被害対策の実施 E 山林・農地等の保全に係る関係団体との連携 F 医療体制の確立 G 地域資源の活用方法の見直し</p>	<p>B 単位自治組織と広域コミュニティ組織の機能・役割分担会議の開催(再)【広域コ、住民会、市】 C 首都圏等にある各地域の故郷会等との連携による交流イベントの開催【広域コ】(再) C 移住定住促進員を配置した移住促進活動の展開【広域コ】(再) C 首都圏等の地域出身者への地域広報紙等の配送【広域コ】(再) D 鳥獣被害防止対策の実施【市】 G コミュニティビジネスの取り組みに向けた研究活動【広域コ】(再)</p>

3 基本方針に定める「目指すコミュニティ像」の実現に向け、地域コミュニティが抱える課題

(1) 自治組織が抱える組織上・運営上の課題

①単位自治組織

<組織上の課題>

現状、問題意識	課題項目	具体的取り組みのアイデア(地域資源活用方策含む※具体的取り組みを設定するうえで地域資源の活用ができるものがあれば記載)
【市民の意識】 ①住民が自己中心的になってきており、組織に縛られることを嫌う傾向がある	A町内会の存在意義や活動に対する理解促進を図り、災害時の町内会の重要性など認識してもらう	A町内会だよりなどの広報による必要性の再認識 A防災訓練実施などによる関係の緊密化
【会員】 ①若者の流出により高齢化している ②会員の情報がわからない ③町内会に所属したくない市民が増えてきた	A会員名簿の作成、必要性への理解促進	A転入者及び転居者に対して、市民課等窓口での住民票異動手続きの際に、住民会加入呼びかけチラシを配付する(継続)【市】
【役員】 ①後継者不足と高齢化が深刻になっている	A業務の見直しにより、役員個人の負担軽減を図り、町内会全体で担う仕組みを検討していく B選出方法の見直し	AB広域コミュニティ組織と町内会において役員の任期・交代・選定方法におけるあるべき姿の検討【住民会、広域コ】 A 役員の負担軽減に繋がる効果的な分担制の検討
【会費・資金】 ①小規模町内会では会費負担が重くなっている ②高齢者世帯が増加し、地区費の減免が自治会運営に影響を与えている	A財政運営の見直し B会費負担の基準の見直し	AB会費収入に見合った事業運営に向けた住民合意に基づく活動の優先順位付けや内容の見直し AB各種団体・組織の整理・統合・再編(再) B会費のあり方検討会の開催
【組織の規模】 ①小規模町内会では自治組織としての機能維持が難しくなっている	A周辺住民会との連携、広域コミュニティ組織による支援機能構築(補完機能)	A小規模自治会と広域コミュニティ組織との連携会議の開催
【他の地域組織との関わり】 ①ひとりで行くつも役職を持たなければならず、仕事量が增大している	A町内会内にある様々な組織の整理及び簡素化を図る	A広域コミュニティ組織と連携し、組織の整理・統合会議の開催
【行政との関わり】 ①行政からの依頼業務が多い ②負担金や募金依頼が多い。依頼時期も様々で手数がかかる	A行政依頼業務の見直し	A行政から町内会に依頼される仕事の洗い出しや整理・統合
【その他】 ①		

<運営上の課題>

現状、問題意識	課題項目	具体的取り組みのアイデア(地域資源活用方策含む※具体的取り組みを設定するうえで地域資源の活用ができるものがあれば記載)
【組織の役割・機能】 ①共同作業への参加率の低下	A共同作業体制の見直し	
【事業参加】 ①少子化による子供会活動の低迷	A周辺子供会や広域コミュニティ組織との連携強化 B事業目的と内容の再検討	AB小規模自治会と広域コミュニティ組織との連携会議の開催(再)
【事業日程】 ①町内会事業に加えて、地区事業や地域事業もあり過密になっている	A町内会、広域コミュニティ組織、市の業務分担を整理する B学校事業・スポ少活動との調整	AB小規模自治会と広域コミュニティ組織との連携会議の開催(再)
【事業企画】 ①事業がマンネリ化している	A参加層を意識した魅力的な事業企画立案と実施	A住民ニーズの把握(アンケートなど)とニーズに合った事業企画 A広域コミュニティ単位での情報交換研修会の開催
【事業運営】 ①会員の高齢化や減少により、実施困難な事業が発生しつつある(スポーツ事業、祭典等)	A住民合意に基づく活動の優先順位付けや内容の見直し	A有志グループやボランティア活用の検討
【生涯学習(公民館活動)】 ①少子高齢化と町内会人口の減少により活動規模を縮小せざるをえなくなっている	A近隣町内会や地区地域活動センターとの連携	A単位自治組織と広域コミュニティ組織との機能・役割分担会議の開催【町内会、広域コ、市】
【福祉】 ①高齢者世帯、要介護者などが増加している	A高齢者世帯への声掛け・見回りの仕組みづくり	A高齢者見守りネットワークの構築

【防犯・防災】 ①消防団員の担い手が不足しており、安全・安心な生活が脅かされている ②高齢者や要支援者が増加し、会員は高齢化・減少、若者は減少、さらに日中の人口が減少する等、地域の防犯・防災体制を弱体化させる要因が増えてきている	A消防団員等の担い手確保 B災害時における要介護者や高齢者世帯への支援体制づくり	A消防団OBの協力員への加入推進 B災害時要援護者支援計画の策定
【生活環境整備】 ①高齢化や世帯減少により河川・公園など市や県からの管理委託をうけられなくなってきている ②連絡のとれない空き家が増えており、動物が住みつき、周辺に被害を与えている	A町内会の状況(年齢構成等)に応じた役割・作業分担、作業の簡略化の検討 B空き家管理者の情報収集	A共同作業の在り方の検討 A各種交付金事業の活用 B住民会情報の関係者での共有化 B空き家を活用した事例等の勉強会の開催
【財産管理】 ①農地や林野を維持するための共同作業が困難 ②公民館や遊具などの施設が老朽化してきた ③共有地や地縁団体の名義が古くなっており問題となっている	A適正な支援管理への支援 B管理業務や作業体制の見直し	A交付金・補助金の活用 A認可地縁団体手続きの支援 B財産処分も含めた検討会の開催
【情報伝達・収集】 ①個人情報保護法以前は、町内会長に転入・転出者の連絡が来たが、今は人の出入りがわからない	A町内会の存在意義や活動に対する理解促進 B緊急時や災害時に備えた個人情報の提供にかかわる理解促進と情報収集	AB防災訓練時に緊急時や災害時に備えた個人情報の提供の必要性を説明する
【行政との関わり】 ①各種の寄付・募金が多くなり、住民の金銭的負担が重くなっている また、集金の回数が多いため、役員の労力負担も増えている	A住民会と行政の信頼関係の構築 B行政からコミュニティ組織に依頼される仕事の洗い出しや整理・統合	AB地区担当職員制度の活用 A行政から町内会に依頼される仕事の洗い出しや整理・統合(再)
【その他】 ①		

(1) 自治組織が抱える組織上・運営上の課題

②広域コミュニティ組織

<組織上の課題>

現状、問題意識	課題項目	具体的取り組みのアイデア(地域資源活用方策含む※具体的取り組みを設定するうえで地域資源の活用ができるものがあれば記載)
【市民の意識】 ①広域コミュニティ組織への参加のあり方について、まだ理解が進んでいない	A広域コミュニティ組織の活動内容のPR	A広域コミュニティ組織単位の行事において他の事業の活動状況をPR
【会員(構成員)】 ※会員は学区に所属する町内会の会員で構成されていることから、単位コミュニティ組織の組織上の課題と同じ	※会員は学区に所属する町内会の会員で構成されていることから、単位コミュニティ組織の組織上の課題と同じ	※会員は学区に所属する町内会の会員で構成されていることから、単位コミュニティ組織の組織上の課題と同じ
【役員】 ①理事が町内会や団体からのあて職中心で、選出区分の任期で交代してしまうため、事務局頼みになってしまう	A将来的には、町内会役員以外から役員を選出するなど役員選任方法の検討 B役員と事務局の情報共有体制の強化	AB役員任期・交代・選定方法(公募含む)におけるあるべき姿の検討会の開催
【会費・資金】 ①新たな事業に取り組む時には財源確保が必要となる	A負担意識を醸成し、会費導入を検討	A会費のあり方検討会の開催 A会費収入に見合った事業運営に向けた住民合意に基づく活動の優先順位付けや内容の見直し
【町内会との関わり】 ①広域コミュニティ組織ができたばかりということもあり、町内会と広域コミュニティ組織との役割分担が明確になっていない	AB町内会と広域コミュニティ組織の事業を整理し、役割を明確化していく	A単位自治組織と広域コミュニティ組織の機能・役割分担会議の開催
【組織の規模】 ①5組織あるが、地区の大小により規模に差がある ②小学校区のエリアが、広域コミュニティ組織と一致していない組織があるため、小学校やPTAと調整が必要	A広域コミュニティ組織間の連携強化 B広域コミュニティ組織と学校、PTAとの連絡体制づくり	A広域コミュニティ組織連絡協議会の設立 B小学校地区担当教員との連携会議
【他の地域組織との関わり】 ①多くの組織が地区(広域コミュニティ区域)にあり、あて職も多くあるので、役員の仕事量が増大している	A広域コミュニティ組織区域内にある様々な組織の整理	A各種団体の整理・統合に向けた意見交換会の開催
【その他】 ①広域コミュニティ組織間の情報共有、連絡調整機能がない	A広域コミュニティ組織間の連絡体制づくり	A広域コミュニティ組織連絡協議会の設立(再)

<運営上の課題>

現状、問題意識	課題項目	具体的取り組みのアイデア (地域資源活用方策含む※具体的取り組みを設定するうえで地域資源の活用ができるものがあれば記載)
【組織の役割・機能】 ①これまで地区公民館事業として行っていた事業はあるが、新たに取り組むべき活動が手探り状態である	A地区の課題を把握し、事業化を検討していく B事業の周知方法の見直し	A地域コミュニティの実態を把握するための調査の継続実施 A広域コミュニティ組織が先導して「地域課題総合調整会議」を開催し、課題解決のための優先順位付け、役割分担等を決める【広域コ、住民会】 A住民の声を反映した地域計画の策定
【事業参加】 ①参加者が固定化している	A新たな人材の掘り起し B事業の周知方法の見直し	Aワークショップによる人材の掘り起しと住民ニーズの把握 B広域コミュニティ組織単位の行事において他の事業の活動状況をPR B多様な媒体を活用した事業周知、年齢層やライフステージを意識したPR活動
【事業日程】 ①多くの組織が地区(広域コミュニティ区域)にあるので、日程が過密になっている	A広域コミュニティ組織による調整	A広域コミュニティ組織が先導して「地域課題総合調整会議」を開催し、課題解決のための優先順位付け、役割分担等を決める【広域コ、住民会】(再)
【事業企画】 ①各種企画がマンネリ化している	A事業の整理、再編に向けて検討する	A年齢層やライフステージの観点から通常事業の見直し A分野別に強みを持つ関係団体との事業共催
【事業運営】 ①運営役員は、ほぼ固定化しており、新たな役員を確保する必要がある ②広域コミュニティ組織事務局の負担が増加している	A地域課題を踏まえた町内会と広域コミュニティ組織の連携・役割分担 B担い手となる人材の育成・確保	A単位自治組織と広域コミュニティ組織の機能・役割分担会議の開催(再) A広域コミュニティ組織と地区内の関連団体との連携強化 B体育協会(若者)や婦人会(女性)との事業共催
【生涯学習】 ①地区公民館として取り組んできた事業の継続と発展	A若手人材の育成・確保	A生涯学習推進員として意識づけと研修活動や情報交換【市】
【福祉】 ①町内会と市の間であって、役割分担が整理されていない ②高齢者世帯が増加している	A各町内会の状況を把握し、広域コミュニティ組織で取り組むべき課題を整理する	A単位自治組織と広域コミュニティ組織の機能・役割分担会議の開催(再)
【防犯・防災】 ①町内会と広域コミュニティ組織、市の3者の役割分担が明確でない ②日中の人口が減少しており、防犯・防災体制が弱体化している	A打ち合わせや防災訓練などで3者間において情報共有を図り、役割を整理・確認していく B高齢者世帯への声掛け・見回りのしくみづくり	A単位自治組織と広域コミュニティ組織に市も加わって機能・役割分担会議の開催(再) A広域コミュニティ組織単位での防災訓練の実施 B町内会と連携した空き家調査と見守り体制の構築
【生活環境整備】 ①空き家の増加で有害鳥獣の被害が増加している ②環境維持体制の弱体化(除草作業や側溝清掃への人手不足)	A空き家情報の収集 B有害鳥獣駆除方法について情報共有を図る C町内会の状況に応じた作業分担の見直しと作業の簡略化	A町内会と連携した空き家調査 AB広域コミュニティ組織単位で空き家と有害鳥獣駆除について研修会の開催 C単位自治組織と広域コミュニティ組織の機能・役割分担会議の開催(再)
【情報伝達・収集】 ①緊急時に、町内会と広域コミュニティ組織、市の3者の情報伝達方法をより確立していく必要がある	A情報伝達機器を適切に配備するとともに、緊急時の情報伝達手順を確認しておく	A防災訓練時に緊急時の情報伝達訓練を行う A補助金等の活用による情報伝達資機材の整備を検討
【施設】 ①地域活動センターが、災害時拠点施設に指定され、各種資機材が増えていることから、手狭になってきている	A防災資材の保管場所の確保	A補助金等の活用による防災資材庫の整備を検討
【他の地域組織との関わり】 ①ひとりでいくつも役職を持たなければならず、仕事量が增大している(再)	A広域コミュニティ組織内にある様々な組織の整理及び簡素化を図る(再)	A広域コミュニティ組織と連携し、組織の整理・統合会議の開催(再)

【行政との関わり】 ①地域の諸問題解決のため、住民と行政の橋渡し役を広域コミュニティ組織が担ってほしい	A住民と行政の橋渡し機能構築	A地区担当職員制度の活用
【その他】 ①		

(2) 地域（住民）が抱える課題

現状、問題意識	課題項目	具体的取り組みのアイデア (地域資源活用方策含む※具体的取り組みを設定するうえで地域資源の活用ができるものがあれば記載)
【地域連帯感の希薄化、帰属意識の低下】 ①農業など地域で一体となって取り組む産業が衰退し、つながりが少なくなった	A近隣関係の再構築	A地域コミュニティ組織で子どものころから地域に愛着を持てるような教育の提供【市】 A伝統行事などを通して次世代を担う住民への継承
【高齢化の進展(高齢者の増加)】 ①高齢者世帯や要支援者の増加により、組織活動が弱体化するとともに、役員や見守りに新たな負担が増えている	Aボランティアなど新たな支援組織の育成	A 高齢者の生活ニーズ(支援が必要な人と支援ができる人の情報収集、必要とされる支援内容の洗い出し、高齢者支援のボランティア体制の確立)への対応策の検討【住民会、広域コ】
【少子化の進展(子どもの減少)、子育て環境の変化】 ①登校班の子供が少なくなり、ひとりで歩く距離が長くなっている	A登校班編成の見直しと見守り活動の充実	A 町内会とPTAの連絡会議の開催
【晩婚化、未婚化の進展】 ①晩婚化、未婚化により少子高齢化に結びついている	A町内会や広域コミュニティ組織での情報交換 B婚活事業の推進	A世話焼きボランティアの育成と連絡会議の開始 B地域内を対象に婚活イベントの開催
【若者の流出】 ①農業や商業など家業を継いでも生活が成り立たず、勤めるにしても就労の場が少ないため、後継者が流出している ②町内会対抗スポーツ大会への参加チームが少なくなり、大会実施に支障が出ている	A地域内の新たな就労の場の創出 Bチーム編成の見直し	B年齢層やライフステージの観点から通常事業の見直し(再)
【日中人口の減少】 ①高齢世帯が多くなり、悪質商法の被害にあう事件が増えてきた	A悪質商法についての情報共有と、近隣での見守り体制の構築	A自治組織役員を対象とした研修会の開催
【地域伝統芸能文化の継承】 ①若者不在のため獅子踊りも休止団体が増えつつある	A伝統芸能継承について支援策の検討 B単位集落でなく広域的な対応の検討	A小さい頃から地域の伝統行事への理解を促すような機会の提供 A補助金制度の活用 B伝統芸能団体に対する広域コミュニティ組織の支援策の検討
【地域団体の活力低下、多様化】 ①若者の価値観や生活様式が多様化しており、地域団体に所属する必要性を感じなくなっている	A活動の必要性や楽しさを積極的に伝えていく	A 広域コミュニティ組織単位での研修機会の充実 A年齢層やライフステージの観点から通常事業の見直し(再)
【空き家の増加】 ①空き家に動物やハチなどが住み着き、周辺住民に被害を与えている ②倒壊の危険性のある空き家が増えており、周辺住民に不安を与えている	A市または町内会による所有者への適正な維持管理の指導	A空き家バンクへの登録推進 A広域コミュニティ組織単位で空き家と有害鳥獣駆除について研修会の開催(再)
【地域交通の不便さ】 ①利便性が悪いため利用者が少なくなっており、さらに便数が減るなど悪循環に陥っている	Aデマンド交通の利用者の増加と収益の改善 B既存の公共交通について、利用促進のための実態調査を行い、ニーズにあった運行形態を探る	Aデマンド交通運行形態見直しのため要望調査の実施 B広域コミュニティ組織単位で交通座談会の開催
【その他】 ①農家が少なくなり、農業用水路の管理や、農業生産組合、機械利用組合の存続も難しくなってきた	A農家の所得向上対策の推進による農業後継者の確保	A庄内農業高校地域連携事業による後継者育成 A東京藤島会との連携による交流イベントの開催

3 基本方針に定める「目指すコミュニティ像」の実現に向け、地域コミュニティが抱える課題

(1) 自治組織が抱える組織上・運営上の課題

①単位自治組織

<組織上の課題>

現状、問題意識	課題項目	具体的取り組みのアイデア(地域資源活用方策含む※具体的取り組みを設定するうえで地域資源の活用ができるものがあれば記載)
【市民の意識】 ①近隣関係の希薄化 ②職業の多様化による結束力の弱体化 ③自治組織へ加入しない世帯がある	A近隣関係の再構築 B自治組織の存在意義の周知と市民意識の向上 C自治組織加入への働きかけ	Aあいさつ運動 A近隣が集う機会の創出(隣組座談会など) B自治組織の存在意義についての勉強会開催や啓蒙活動【市】 C転入転居者へ自治組織加入のきっかけづくり【市】 C自治組織からの情報提供と働きかけ
【会員】 ①会員の情報がわからない	A会員名簿の作成、必要性への理解促進 B個人情報の取得や取り扱い方法の検討	AB会員名簿の集め方・作り方・運用方法の講習会【市・集落】 A個人情報を出したいくない原因の調査【市】
【役員】 ①役員の選出に苦勞する ②兼務が多い	A人材の育成が必要 B役員の仕事内容の再検討 C市民意識の向上	A役員養成システムの構築 A養成講座(役員体験談の発表、社会的成長に応じた役割分担と実践の働きかけ)【市・集落】 B行政で依頼している役員の整理や検討【市】 Cやればできる、楽しいという意識づけ
【会費・資金】 ①年金暮らし、収入の減少により会費収入が減少 ②小規模集落で1戸当たりの負担が大きい	A運営方法の見直し B集落再編の検討	A集落運営の勉強会
【組織の規模】 ①小規模集落で1世帯当たりの負担が大きい	A運営方法の見直し(再) B集落再編の検討(再)	A集落運営の勉強会(再)
【他の地域組織との関わり】 ①会費や負担金などの依頼が様々で手間がかかる	A納入時期や方法について、関係団体との協議	A協議の場の設定
【行政との関わり】 ①行政からの依頼業務が多い ②負担金や募金依頼が多い。依頼時期も様々で手数がかかる。募金へ協力必要か	A行政依頼業務の見直し B納入時期や方法について、市内部での調整と協議	AB行政内部での検討、関連団体との協議の設定【市】
【その他】		

<運営上の課題>

現状、問題意識	課題項目	具体的取り組みのアイデア(地域資源活用方策含む※具体的取り組みを設定するうえで地域資源の活用ができるものがあれば記載)
【組織の役割・機能】 ①共同作業への参加率の低下	A共同作業体制の見直し	A作業内容や方法の見直し A企業への協力要請 A小中高等学校生への協力要請
【事業参加】 ①参加者の減少、固定化 ②若者の参加の減少	A事業目的と内容の再検討	A企業への協力要請(再) A小中高等学校生への協力要請(再)
【事業日程】 ①就労形態の多様化により行事日程の調整が難しい ②子供が忙しく行事への参加が少ない	Aコミュニティ活動に対する企業や社会の理解促進 B事業内容の再検討 C学校事業・スポ少活動との調整	A企業への協力要請(再) A小中高等学校生への協力要請(再)
【事業企画】 ①改善や工夫がない	A事業内容の再検討	A市からの助言 A類似他団体との情報交換や勉強会 A若者への企画依頼 A住民ニーズの調査把握
【事業運営】 ①幼児小学生がいなくて運動会等に困っている ②今後地域活動センター事業と重複する事業をどう考えるか	A少子化対策 B事業内容の検討	A他地区の小中学生の参加を募る(ふるさと枠や交流枠など) B小学生がいなくてもできる種目を検討する

【生涯学習（公民館活動）】 ①若者のリーダー育成が必要 ②集落に参加を取りまとめる人が必要 ③子供たちが忙しく集まらない ④地区公民館の事業に参加することが活動	A若者のリーダー育成の推進 B集落役員の育成 C地域活動センターと連携して事業実施	A B若者から企画段階から事業参加してもらう A B C講座から仲間づくりや地域活動を担う人材育成へ結びつく生涯学習活動 A B Cサークルの育成
【福祉】 ①高齢者のみ世帯への配慮が必要	A高齢者のみ世帯の見守りが必要	A羽黒福祉センターや民生児童委員と連携
【防犯・防災】 ①自主防災機能が果たされていない ②空家が増加し、防災防犯上の心配がある。 ③個別受信機が故障し、屋外拡声器では防災情報が聴こえない	A機能が果たされない原因調査と対策の推進 B防災情報の取得及び伝達方法の検討	Aアンケートの実施 A研究会の実施 B必要な情報の取得方法を知ってもらう B代表者への連絡手段 B SNS 等を利用した双方向情報システムの検討
【生活環境整備】		
【財産管理】 ①公民館が老朽化してきた。耐震強度が心配 ②高齢化に伴い2階への昇り降りが大変になり、公民館の改修が必要 ③共同名義になっている財産がある	A適正な施設管理の支援	A補助制度の整備 A財産管理方法への助言 A認可地縁団体手続きの支援
【情報伝達・収集】 ①集落住民の情報が得られにくい	A会員名簿の作成、必要性への理解促進 B個人情報の取得や取り扱い方法の検討 C集落の情報を住民へ伝える	A B個人情報取り扱いについて集落内で共通の認識を持つための勉強会 C集まりや広報誌による周知
【行政との関わり】 ①要望の相談先がわからない	A相談窓口の明確化	A市民便利帳の更新【市】 A集落役員用の相談先一覧表等の作成【市】 A地区担当職員制度の活用
【その他】 ①新興住宅の集落は役員が仕事の関係もあり地区の会議等にあまり出られない	A情報の伝達 B意思確認方法の構築	A会議決定事項の情報伝達 B紙面等により意見を反映

(2) 地域（住民）が抱える課題

現状、問題意識	課題項目	具体的取り組みのアイデア(地域資源活用方策含む※具体的取り組みを設定するうえで地域資源の活用ができるものがあれば記載)
【地域連帯感の希薄化、帰属意識の低下】 ①つながりや顔の見える関係が低下	A近隣関係の再構築（再）	Aあいさつ運動（再） A近隣が集う機会の創出（隣組座談会など）（再）
【高齢化の進展（高齢者の増加）】 ①高齢者一人暮らしが多い	A高齢者の見守り対策の推進	Aあいさつ運動（再） A見守り活動
【少子化の進展(子どもの減少)、子育て環境の変化】 ①子どもの通学の安全確保（少子化で帰りが一人） ②集落内の子どもが年々減少している	A子どもの見守り対策の推進 B少子化対策の推進 C地域で子どもを育てる意識と活動の推進	A見守り隊や子育てサークル活動の推進 A子育てについての勉強会 B C子育て世代やひとり親家庭への理解と近隣の見守り等支援
【晩婚化、未婚化の進展】 ①男性の一人暮らしが多い ②未婚者が多い	A婚活事業の推進	A出会いの場の創出 Aコミュニケーションの推進
【若者の流出】 ①農家の後継者、若い人がいない ②雇用の場がなく帰って来られない	A農業環境の改善 B新規就農者への支援 C雇用の場を創出 D新規事業者への地域の理解と協力 E移転者の受け入れ推進	A農業環境の改善と支援【市】 B新規就農者への支援【市】 C地域資源の発信と起業意識化【市、集落】 D新規事業者への地域の理解と協力 E移転者の受け入れ推進【市、集落】
【日中人口の減少】 ①日中人口が減少し、消防団等の出動ができない	A地域内事業所等との協力関係の構築	A地域内事業所等との協力関係の構築
【地域伝統芸能文化の継承】 ①史跡・神社の維持管理や行事の負担	A担い手の確保、負担軽減の検討	A地区内外の人材活用 A事業方法の見直し

<p>【生涯学習（公民館活動）】 ①事業のマンネリ化 ②参加者の固定化</p>	<p>A事業企画力の向上 B周知方法の見直し</p>	<p>A住民からの提案募集 A事例研修や勉強会 A生涯学習の目的や目標の再認識 A事業成果と問題点のフィードバック B IT等を利用した周知</p>
<p>【地域団体の活力低下、多様化】 ①地区自治振興会の役割がどうなるのか</p>	<p>A活発に活動できるか心配</p>	<p>A活動が軌道に乗るまで、市から助言と支援を行う【市】 A先進事例を参考にしながら実践を積む</p>
<p>【空き家の増加】 ①管理不良の空家による居住環境への悪影響がある ②空家からの落雪による通行障害が発生</p>	<p>A管理不良空家の対策強化</p>	<p>A空家バンクへの登録促進</p>
<p>【地域交通の不便さ】 ①高齢者の移動手段の確保</p>	<p>A利用しやすい公共交通等の検討</p>	<p>A利用しやすい公共交通等の検討【市、集落】</p>
<p>【その他】 ①豪雪対策、除排雪対策が必要 ②米価の低下など農業収入の減収による生活不安 ③防犯・防災において、個別受信機が使えなくなり外の防災無線は聞き取れず、今までより情報が得られず心配である ④熊など野生動物による農業被害や危険がある</p>	<p>A除排雪の支援 B農業環境の改善（再） C防災情報を取得する方法の周知や情報提供方の検討 D被害対策の推進（猟友会や関係機関との連携）</p>	<p>A除排雪の支援【市】 B農業環境の改善と支援【市】（再） C防災情報を取得する方法の周知や情報提供方の検討【市】 D被害対策の推進（猟友会や関係機関との連携）【市】</p>

3 基本方針に定める「目指すコミュニティ像」の実現に向け、地域コミュニティが抱える課題

(1) 自治組織が抱える組織上・運営上の課題

①単位自治組織

<組織上の課題>

現状、問題意識	課題項目	具体的取り組みのアイデア (地域資源活用方策含む※具体的取り組みを設定するうえで地域資源の活用ができるものがあれば記載)
【市民の意識】 ①新興住宅地がある地区や一部の地区でコミュニティ意識や人のつながりの希薄化が心配されている	A 自治会活動への理解促進 B 住民同士の交流の促進	A 広報誌の発行等による自治会活動のPR【自治会】 B 参加しやすい交流事業の実施【自治会】
【会員】 ①		
【役員】 ①経費削減のための役員の兼務が、役員の負担増につながっている ②定年延長、再雇用等高齢者が仕事をするようになり役員のなり手が不足し、役員の固定化につながっている ③小規模の地区においては、組織の役職が多いがなり手が少ないため、同じ人が何度も役員になり負担となっている ④役員が若手まで下りてきており、この先の担い手が不足している ⑤晩婚化による子育て時期の高年齢化により、PTA役員と地区役員が重なり負担となっている	A 役員の役割・分担の見直しと負担軽減策の検討 B 組織の見直し C 人材育成、担い手となる人材の確保	AB 役員や組織に関する課題解決に向けた単位自治組織間の情報共有【自治会】 C 次世代のリーダー育成を目的とした研修や情報交換会の実施【自治会、市】
【会費・資金】 ①高齢者世帯が増加し、地区費の減免が自治会運営に影響を与えている	A 収入に見合った地区運営の検討	A 効率的な地区運営に関する研修の実施【自治会】 A 地区費見直しの検討【自治会】
【組織の規模】 ①		
【他の地域組織との関わり】 ①青年会や若妻会など若者組織の活動が停滞している地区が見られる ②地域婦人会から脱会する地区が出ており、地域婦人会全体との連携が失われることが心配されている	A 若者組織の活性化 B 婦人会活動のあり方の見直し	A 若者による集落ビジョンの作成【自治会】 B 婦人会役員の負担軽減に向けた検討【団体】 B 魅力ある婦人研修の実施【団体】
【行政との関わり】 ①文書配布や募金・会費の集金等、行政や団体からの依頼が自治会の負担となっている	A 行政から自治会に依頼される業務の整理、見直し	A 依頼業務の縮小に向けた行政内部での検討会議の実施【市】
【その他】 ①		

<運営上の課題>

現状、問題意識	課題項目	具体的取り組みのアイデア (地域資源活用方策含む※具体的取り組みを設定するうえで地域資源の活用ができるものがあれば記載)
【組織の役割・機能】 ①		
【事業参加】 ①地区行事に中高生の参加が少ない地区がある	A 若者が事業の企画・実施に参画する体制作り	A 若者向けの事業の実施【自治会】
【事業日程】 ①休日出勤や残業などで地区行事に参加できない人が増えている傾向にある	A 事業開催日程の見直し	A 参加しやすい事業日程の検討【自治会】 A 事業開催日程の早期周知【自治会】
【事業企画】 ①		
【事業運営】 ①人口減少を背景とした担い手不足により、伝統芸能や祭事の維持・継承に不安を感じている地区がある	A 若者の定住促進 B 結婚し子供を産み育てるための環境整備、支援の拡充	A 郷土愛を育む教育活動の実施【自治会、市】 A 転出者とのつながりを継続する取り組みの実施【自治会】 B 子育て世代へのサポートの検討【自治会、市】
【生涯学習(公民館活動)】 ①		
【福祉】 ①地区内に仕組みとして、高齢者の買い物や通院などの交通手段をサポートする体制がない	A 高齢者の交通手段をサポートする体制の検討 B 高齢者へ買い物や医療などを提供する体制の検討	AB 高齢者のニーズ調査、買い物や通院のサポート事業の試行【自治会】

【防犯・防災】 ①自主防災組織が形式的な地区が見られる。有事の際に機能できるか心配する声が出ている ②就業形態の多様化、就業先の理解不足やプレッシャーなどから消防団に入団する若者の確保が難しくなっている ③倒壊の危険性や犯罪の温床になることが懸念される空き家がある	A 自主防災組織の訓練の充実 B 消防団活動への理解促進 C 空き家の所有者情報の管理 D 空き家所有者への適正管理の指導	A 有事を想定した防災訓練の実施【自治会】 B 消防団活動のPR【自治会】 C 住民動向を隣組単位で把握して自治会に伝達する仕組みの検討【自治会】 D 空き家所有者への適正管理の働きかけ【市】 D 市への管理不全空き家の情報提供【自治会】
【生活環境整備】 ①高齢者世帯の増加により、共同作業への参加者が減少傾向にある	A 共同作業のあり方の見直し	A ボランティア団体への働きかけの実施【自治会】
【財産管理】 ①山林や墓地など地区共有財産の所在や境界が不明確なままになっているものがある ②山を知っている人が高齢化し、山林の財産の境界を引き継ぐことが難しくなっている ③財産の歴史や経過がきちんと管理されておらず、役員に引き継がれていくか不安がある	A 地区共有財産に関する境界・歴史経過の確認と引き継ぎ	A 財産管理に関する研修の実施【自治会】
【情報伝達・収集】 ①転入転出者の情報が入手できず自治会員の把握が難しい	A 情報収集体制の検討	A 転入者への自治会活動のPR【自治会】 A 転入者への住民情報登録への勧誘【自治会】
【行政との関わり】 ①		
【その他】 ①見守り隊の参加人数が減ってきており、継続するのが難しくなっている	A 見守り隊の活動体制の見直し	A 見守り隊の必要性に関する広報活動【自治会、市】

（２）地域（住民）が抱える課題

現状、問題意識	課題項目	具体的取り組みのアイデア（地域資源活用方策含む※具体的取り組みを設定するうえで地域資源の活用ができるものがあれば記載）
【地域連帯感の希薄化、帰属意識の低下】 ①		
【高齢化の進展（高齢者の増加）】 ①自力で雪下ろしができず業者等に依頼する必要があるため、その費用が負担となっている ②災害が発生した場合、避難に援護が必要な高齢者が多くいる	A 高齢者世帯の雪下ろしに対する支援 B 要援護者の避難のマニュアル化	A 高齢者世帯の雪下ろしをサポートする組織の検討【自治会】 B 要援護者リストを活用した防災訓練の実施【自治会】
【少子化の進展（子どもの減少）、子育て環境の変化】 ①		
【晩婚化、未婚化の進展】 ①民間や行政が提供する男女の出会いの場は増えてはいるものの、晩婚化・未婚化が進行している ②世話焼きの活動や結婚したい人を地域で後押しする環境が衰退している ③40～50代の独身者が増えている。将来的に高齢者世帯や空き家の増加にもつながるため、心配する声が上がっている	A 結婚したい人を支援する地域体制の構築 B 世話焼き・仲人活動の環境づくり	A 婚活イベントの実施【自治会、市】 B 世話焼きボランティアの発掘・養成【自治会、市】
【若者の流出】 ①後継ぎでない若者は進学・就職で地域外に転出する傾向にある。特に大卒者は希望の職種が少ないため地元に戻らない傾向にある	A 若者の定住促進(再)	A 郷土愛を育む教育活動の推進【自治会、市】(再) A 転出者とのつながりを継続する取り組みの実施【自治会】(再)
【日中人口の減少】 ①消防団員が日中ほとんど地区にいないため、有事の際が心配である	A 消防団活動協力員と消防署・消防団の連携	A 有事を想定した防災訓練の実施【自治会】(再)
【地域伝統芸能文化の継承】 ①担い手不足が今後想定されるため、保存・伝承していけるか不安がある ②黒川能の能座から抜ける家ができており、能や祭り自治会との連携が難しくなっている	A 担い手の確保 B 伝統芸能への理解促進	A 伝統芸能に関する教育活動の推進【自治会、市】 B 伝統芸能に関するPR活動の実施【自治会、市】
【地域団体の活力低下、多様化】 ①		
【空き家の増加】 ①朽ちた空き家に棲みついた野生動物が、農作物に被害を与えている状況が見られる	A 空き家所有者への適正管理の指導(再)	A 空き家所有者への適正管理の働きかけ【市】(再) A 市への管理不全空き家の情報提供【自治会】(再)
【地域交通の不便さ】 ①交通手段がなく、日常生活を送るために必要な通院や買い物などが自由にできない高齢者が多い	A 高齢者の交通手段をサポートする体制の検討(再)	A 高齢者のニーズ調査、買い物や通院のサポート事業の試行【自治会】(再)

<p>【その他】 ①農業後継者が減少しており、将来の農業経営に不安を感じている ②榎引の特色である果樹栽培などの優れた技術の継承が途絶えることへの不安がある</p>	<p>A 若手生産者への支援 B 果樹栽培の中核的な担い手の育成</p>	
---	---	--

3 基本方針に定める「目指すコミュニティ像」の実現に向け、地域コミュニティが抱える課題

(1) 自治組織が抱える組織上・運営上の課題

①単位自治組織

<組織上の課題>

現状、問題意識	課題項目	具体的取り組みのアイデア (地域資源活用方策含む※具体的取り組みを設定するうえで地域資源の活用ができるものがあれば記載)
【市民の意識】 ①組織の合理化を進め、事業が流れ作業的に進むようになった反面、集まる機会が減り、集落としての一体感が希薄になってきた	A 多くの世代が集まれる総会のシステム検討	A 世代間交流による一体感の醸成【自治会】 A 世代間交流事業の同日開催による総会への参加促進【自治会】
【会員】 ①高齢化が進んでいる ②世帯数の減少も進んでおり、会員も減少してきている	A 地域内の人口増加の促進	A 空き家利用によるUターン・Iターン等移住希望者の定住促進【自治会】
【役員】 ①役員の高齢化が進んでいる ②次世代層が少ないなどなり手がおらず、役員が不足、固定化してきた ③他団体のあて職が多く負担になっている ④まわり番で役員が交代する自治会等、任期が短すぎると逆に組織運営上問題がある	A 近隣自治会との連携／協力による組織体制の見直し B 研修等でのリーダーの育成 C 行政の依頼や団体業務の見直し(負担軽減) D 役員への財政面での支援	A 広域コミュニティ組織の体制を活用した役員業務の負担軽減【広域コ、自治会】 B 女性役員の登用【自治会】 C 業務内容の整理と会員間の分担協力【自治会】
【会費・資金】 ①高齢化・世帯数減少により事業委託費・会費負担が増加傾向にある ②高齢化・世帯数減少による会費収入が減少傾向である ③施設老朽化により会費徴収が増加している	A 共同作業の範囲・分野の見直し B 組織運営の見直し C 負担方法の見直し D 交付金・補助金の活用	ABC 自治会の再編・統合の検討【自治会】 ABC 細部にわたる運営の見直し【自治会】 D 長期的な修繕計画の策定【自治会】 D 有利な事業の情報提供【市】
【組織の規模】 ①		
【他の地域組織との関わり】 ①敬老会や運動会等の共催事業における自治会間の連携・協力体制の低下がみられる	A 各自治会への問題提起と体制の強化	A 広域コミュニティ組織の体制を活用した参加の促進【広域コ、自治会】
【行政との関わり】 ①行政からの依頼業務が多く役員の負担となる	A 負担軽減化に向けた行政との調整	A 行政の配布物依頼等の連絡便の回数を減らせるか検討【自治会、市】
【その他】 ①		

<運営上の課題>

現状、問題意識	課題項目	具体的取り組みのアイデア (地域資源活用方策含む※具体的取り組みを設定するうえで地域資源の活用ができるものがあれば記載)
【組織の役割・機能】 ①しきたり等の若者への引継ぎがなく、組織の機能自体が薄れてきている	A 若者が楽しめるコミュニティ事業の検討	A 伝統的行事の復活など興味ややりがいのある事業を計画【自治会】
【事業参加】 ①事業への出席者が少ない	A 幅広い年代を対象にした事業の展開	A 広報の充実、隣組等での声かけの実施【自治会】 A 事業の子ども会育成会との共催【自治会】
【事業日程】 ①		
【事業企画】 ①各年代から新しい事業に対する要望が挙がっている	A 子供から高齢者まで集える世代間交流事業の開催	A 事業の子ども会育成会との共催【自治会】(再) A 広域コミュニティ組織との事業連携【自治会、広域コ】
【事業運営】 ①個々の集落で行ってきた事業が過疎や高齢化の進行で実施困難となることが予想される	A 事業内容を精査し、近隣の集落と共同して行うなど実施方法を検討する	A 広域コミュニティ組織による補完【自治会、広域コ】 A 伝統的・特徴的な行事については、対外的に発信して外部の運営協力を得ることも検討【自治会】
【生涯学習(公民館活動)】 ①		
【福祉】 ①高齢者・一人暮らし世帯の増加が懸念される	A 自治会内での見回り・声掛け実施など互助体制の構築	A 対象者の情報把握【自治会】 A 社協と連携して取り組んでいる安否確認事業の拡大【自治会】

【防犯・防災】 ①若者の減少で消防団員の欠員がみられる ②消防団の支出が自治会会計の負担となっている	A 近隣地域との団の連携・合併の検討 B 消防団OBの活用、協力員の増員 C 自主防災活動の充実	B 自治会内の消防団OBの調査・把握と協力員への参加促進【自治会】 C 自主防災訓練による日頃からの防災意識の高揚【自治会、広域コ】
【生活環境整備】 ①高齢化・世帯減少により農林道・水路の整備作業範囲が狭まってきた、または労力負担が増加傾向 ②高齢化・世帯減少により公民館・社寺の雪囲い・雪下ろし作業が困難になってきた ③休日のたびに整備作業があるような状態で、労力だけでなく精神的にも負担が大きい	A 転出者の協力を検討 B 整備作業範囲の見直し C 業者委託による作業の軽減化の検討、負担に対する行政支援 D 施設改修による作業の軽減化 E 各種交付金事業の活用	A 転出者のほか、寺の檀家や地域の縁故者へ要請【自治会】 B 詳細な検討会の実施【自治会】 CDE 有利な支援事業の情報提供【市】(再)
【財産管理】 ①公民館や遊具などの施設が老朽化してきた ②共有地や地縁団体の名義が古くなっており問題となっている ③統廃合により廃校の利活用問題が発生している	A 交付金・補助金の活用 B 土地所有者の洗い出しと更新 C 利活用について地元自治会、広域コミュニティ組織で検討	A 有利な支援事業の情報提供【市】(再) C コミュニティセンターとしての活用も含め検討【市】
【情報伝達・収集】 ①		
【行政との関わり】 ①過疎化高齢化が深刻な地域では地区の自助努力にも限界があるため、交付金など従来の金銭的支援ではない直接的な支援が必要	A 行政による労働力の提供や機器の貸与などの検討	A 機器購入に対する国の補助制度など情報収集【自治会、市】
【その他】 ①		

(2) 地域（住民）が抱える課題

現状、問題意識	課題項目	具体的取り組みのアイデア (地域資源活用方策含む※具体的取り組みを設定するうえで地域資源の活用ができるものがあれば記載)
【地域連帯感の希薄化、帰属意識の低下】 ①勤務体系や生活リズムの違いから若者との交流が少なく、地域とのつながりや近所との付き合いが少ない	A スポーツ事業など若者参加型の事業の開催	A 近隣自治会または広域コミュニティ組織との共催によるスポーツ大会の開催と参加【自治会、広域コ】
【高齢化の進展(高齢者の増加)】 ①高齢化世帯では自身での除雪作業が困難となっている ②高齢化により運転できなくなった場合など、買い物・通院の移動手段確保に不安がある	A 除排雪サービス体制の事業化検討 B 除雪パートナーズ等の既存サービスの活用 C 福祉団体等の移送サービスの活用 D 宅配や移動販売の利用 E バス定期券助成・巡回バス運行支援の継続	A 民間事業者の育成【市】 A 特別豪雪地帯住宅除雪支援の充実・検討【市】 D 買い物代行サービスの事業化、または当該民間事業者の育成【市、自治会】
【少子化の進展(子どもの減少)、子育て環境の変化】 ①子供が少なく、保育園や学校、集落の存続に不安 ②子育て世帯の減少で学校 PTA や子ども会、交通安全母の会等の役割が増え負担となっている	A 行政の少子化対策促進 B 自治会等での子育て環境の構築 C 近隣地域の団体との連携や合併の検討	A 行政の婚活事業の継続【市】
【晩婚化、未婚化の進展】 ①中高年層の未婚者が多い	A 地域・自治会等で出会いの機会創出を企画する	A 中高年層向け婚活事業の企画【自治会、市】 A 新規婚活事業を広域コミュニティ組織と共催する【自治会、広域コ】 A 行政の婚活事業の継続【市】(再)
【若者の流出】 ①現農業者がいつまで農業を継続できるか不安 ②農家世帯の後継者が将来定住してくれるか不安 ③地域内に就労の場が少ないため、後継者が流出している	A 集落営農や機械利用組合の設立と継続 B 地域資源を活かした中山間地農業の確立 C 地域内の新たな就労の場の創出 D 全集落実態調査により世帯後継者の将来の定住化を探る	AB 補助事業的農業から収益的農業への転換【自治会】 C コミュニティビジネスの取り組み【広域コ】
【日中人口の減少】 ①自治消防団員の不在状態により、火災・災害対応に不安	A 自主防災組織活動への支援 B 消防団OBの活用、協力員の増員(再)	A 防災研修会の開催や自主防災訓練による日頃からの防災意識の高揚【自治会、広域コ】(再) A 広域コミュニティ組織の防災事業の活用【自治会、広域コ】 B 自治会内の消防団OBの調査・把握と協力員への参加促進【自治会】(再)
【地域伝統芸能文化の継承】 ①演者の高齢化と若者不足による消滅の危機がある ②長らく行われていない伝統の復活への要望	A 消滅させないよう、口伝だけによらず録画などで保存していく	A 「民族芸能等記録保存事業」によるデータ化【自治会】
【地域団体の活力低下、多様化】 ①		
【空き家の増加】 ①空き家の購入者が誰だか分からず不安である	A 空き家管理体制の整備	A 空き家管理体制の整備【自治会、市】

<p>【地域交通の不便さ】 ①定期バス路線があってもバス停が遠い集落の住民は利用しない、できない ②集落内の県道が狭く長年課題となっている ③深夜から早朝の道路の積雪が通勤時間問題である</p>	<p>A 路線バスの存続問題と合わせて、デマンド型交通や全国の過疎中山間地の交通形態について調査研究を行う B 市を通し県へ継続要望していく C 除雪の回数や時間帯についての検討を要請</p>	<p>A 地域交通に関する調査研究【市】 C 除雪受託業者との調整【自治会、市】</p>
<p>【その他】 ①農作物の鳥獣被害が多く、特にひどい地域では耕作をやめる者もでてきた ②他所から来ての山菜盗難が多い ③撤退や廃業により近場に店舗がなくなり不便に</p>	<p>A 鳥獣被害防止対策協議会との連携協力 B 被害防止器具購入補助の活用 C 猟友会員の育成と駆除体制の確保 D 警察等のパトロールや声かけの実施 E 特に市街地住民の、山菜や私有地山林に対する認識不足を解消する必要がある F 宅配や移動販売の利用</p>	<p>ABC 鳥獣被害防止対策の実施【市】 C 若者の猟友会員への勧誘【自治会】 E 防犯部門による広報と啓発【市】 D 買い物代行サービスの事業化、または当該民間事業者の育成【市、自治会】(再)</p>

3 基本方針に定める「目指すコミュニティ像」の実現に向け、地域コミュニティが抱える課題

(1) 自治組織が抱える組織上・運営上の課題

①単位自治組織

<組織上の課題>

現状、問題意識	課題項目	具体的取り組みのアイデア(地域資源活用方策含む※具体的取り組みを設定するうえで地域資源の活用ができるものがあれば記載)
<p>【市民の意識】</p> <p>①特に大きい集落だと、すべての面において他人任せになっている</p> <p>②小さい集落だと何か提案すると自分がすることになるので発言がしにくい</p> <p>③世代間におけるコミュニティ意識のズレがある</p>	<p>A社会教育の推進</p> <p>B自治会活動の必要性の周知</p> <p>C世代間交流の推進</p>	<p>AB自治会の意義や必要性等の理解促進のための研修会等の開催【自治会・市】</p> <p>B各世代が自治会活動に参加しやすい雰囲気づくり【自治会】</p> <p>A世代間交流を目的とした交流事業の実施【自治会】</p> <p>A伝統行事や既に行われなくなった事業の復活などを通じた次世代を担う住民への継承作業の実施【自治会】</p>
<p>【会員】</p> <p>①特に大きい集落では、転出転入等の情報が入手できないので会員の把握ができない場合がある</p>	<p>A個人情報保護と会員把握の方策</p>	<p>A隣組単位での声かけ、日頃からの交流による情報の把握【自治会】</p> <p>A転入者への呼びかけと情報提供【自治会】</p>
<p>【役員】</p> <p>①役員のなり手が少なくなっており、同じ人が長年にわたり役を務めたり兼務したりしている</p> <p>②老人クラブ、婦人会の会長のなり手がなく解散しているところもある</p> <p>③会社の定年延長、再雇用等により高齢者が仕事をできるようになり役員のなり手が少なくなった</p> <p>④自治会長の業務が多岐にわたり多すぎる</p> <p>⑤自治会長の任務が仕事をしながらでもできるようにしなくてはならない</p>	<p>Aリーダー等の人材育成</p> <p>B役員負担軽減</p> <p>C会議、行事等の効率的な開催</p>	<p>A団塊世代の活用、多様な人材の掘り起し、鍵となる人材の育成、人材バンクの立上げなど【自治会】</p> <p>B役員業務の見直しによる負担軽減【自治会】</p> <p>B自治会活動の年間スケジュールを明確にし、行動しやすい体制づくり【自治会】</p> <p>B自治会内で特定の個人に負担を集中させない一人一役の推進【自治会】</p> <p>C・会議、行事等の内容の見直し、事業整理【自治会】</p>
<p>【会費・資金】</p> <p>①市町村合併後、市街地の町内会費と比較し、地元の自治会費が高いと思う人が多くなった</p> <p>②高齢者世帯を中心に自治会費の負担が大きくなり自治会費の見直しを行ったところもある</p> <p>③過疎化により世帯が減少し自治会費収入が少なくなり予算規模が小さくなった</p> <p>④大きな自治会においては、自治会費の未納や滞納傾向にあり、他への影響が懸念される</p> <p>⑤生活保護世帯、生活困窮者世帯の自治会費を軽減している</p> <p>⑥所得等により会費を決めている所があるが、所得の把握の困難や不公平感があり、会費の見直しを行っているところもある</p>	<p>A自治会費の内容及び必要性の周知</p> <p>B高齢者世帯の減免対応</p> <p>C事業の見直しによる予算の縮減</p> <p>D公的助成制度の利活用</p> <p>Eコミュニティビジネスの検討</p> <p>F自治会費の未納・滞納対策</p> <p>G生活困窮者世帯への対応</p> <p>H自治会費の公平性の保持</p>	<p>AF総会等で自治会費の内訳について詳細な説明を行い、会費の用途についての理解を深める【自治会】</p> <p>BGH自治会費についての検討、見直しを行い、実情に即したものとする。特に高齢者世帯、年金生活者などの負担について配慮する【自治会】</p> <p>C自治会事業の総点検を行い、継続、見直し、廃止など必要性の有無について検討する【自治会】</p> <p>D公的助成制度等の活用を積極的に推進し、自治会会計の負担軽減を図る【自治会】</p> <p>E自治会会計の財源としてコミュニティビジネスの導入について検討する【自治会】</p>
<p>【組織の規模】</p> <p>①21 世帯未満の集落が 4 つあり、今後の集落の存続が懸念される</p>	<p>A極小集落への支援</p> <p>B自治会の統合再編の検討</p>	<p>A「地区担当職員制度」の活用による支援を行う【市】</p> <p>A地区自治会による事業の推進【地区自治会】</p> <p>AB隣接する集落との交流と連携【自治会】</p> <p>B統合再編した際の住民生活のメリット・デメリットの整理、その検討【自治会】</p>
<p>【他の地域組織との関わり】</p> <p>①老人クラブや婦人会は、上部団体への参加を嫌う傾向にある</p>	<p>A上部団体との連携強化</p> <p>B参加しやすい事業の検討</p>	<p>A団体の目的や活動内容の理解を深める啓発活動【各組織】</p> <p>A役職員の負担を軽減するなど、参加しやすい環境づくり【各組織】</p> <p>B参加したくなるような事業内容の検討や参加しやすい工夫を凝らす【各組織】</p>
<p>【行政との関わり】</p> <p>①鶴岡での会議が増え負担が多くなった</p> <p>②行政の会議が多すぎる</p>	<p>A行政に対する会議等の効率化と簡素化の要請</p>	<p>A行政による会議の開催、依頼業務等の把握を行い、整理、統合等による効率化を図る。【自治会・市】</p>
<p>【その他】</p> <p>①神社、寺の修繕に伴い多額の負担金を求められる場合がある</p>	<p>A計画的な修繕費等の積立</p>	<p>A修繕計画をあらかじめ明らかにしておき、積み立てや負担金の分割化など、一度の負担額を抑える取り組み【自治会・各組織】</p>

<運営上の課題>

現状、問題意識	課題項目	具体的取り組みのアイデア (地域資源活用方策含む※具体的取り組みを設定するうえで地域資源の活用ができるものがあれば記載)
【組織の役割・機能】 ①自治公民館活動の再確認が必要と思われる	A自治公民館活動の見直し	A公民館事業の目的、内容等が地域のニーズにあっているかどうかの再確認を行う【自治会】
【事業参加】 ①三交代勤務、サービス業従事者の増加により夜勤や休日勤務が増え活動に影響が出ている ②少子化、過疎化により事業への参加者が少なくなっている	A仕事と事業への相互理解 B事業内容の精査と参加者ニーズに合致した事業の検討	A仕事により自治会活動に参加できない現状は止むを得ない事情でもあるので、そのような中でも参加できる時には参加してもらえるような体制・雰囲気づくり【自治会】 B多様な世代の参加が見込める事業内容の検討【自治会】 B地区自治会事業への移行の検討【地区自治会】
【事業日程】 ①スポーツ少年団の活動が多く、日程調整が難しい	Aスポーツ少年団との調整	Aスポーツ少年団との相互の連絡を密にし、年間計画により事業を組み立てるなどの工夫【自治会】
【事業企画】 ①事業のマンネリ化が進んでいる	A原因の分析及び目標設定 Bニーズの把握	ABやることが目的となっていないか、本当に必要な事業、ニーズに合致した事業なのか検証を行い、変更や廃止、もしくは新たな事業に切り替えるなどの取り組み【自治会】
【事業運営】 ①子供が少なく子供神輿ができなくなった	A祭典運営体制の見直し	A祭典への参加体制・方法の再検討【自治会】
【生涯学習(公民館活動)】 ①参加者が少なくなってきた	A事業への再認識と工夫	A住民ニーズに合った事業なのか検証を行い、参加したくなる事業内容の検討【自治会】
【福祉】 ①要支援者の個人情報の把握ができない場合がある	A近隣者による情報の把握	A要支援者に対する福祉面、防災面での情報把握の必要性を説明【自治会】 A要支援者カード、名簿の作成【自治会】
【防犯・防災】 ①地域内に職場が少なく、多くの消防団員が地域外に就労しており日中には、ほとんどいない状況である ②地理的に集落が点在しており、土砂災害により孤立の恐れが心配である ③消防資機材の配給や整備補助制度がなくなり、自治会(自主防災会)の負担が大きくなった	A自主防災組織の強化 B消防団OBの活用 C女性、高齢者の初期消火訓練の推進 D災害時における集落の孤立対策 E要支援者カードの作成	ABCD定期的な防災・避難・初期消火訓練等の開催と防災体制の確立【自治会】 D住民の防災意識高揚に向けた研修会の開催や防災資機材の整備【自治会】 E要支援者に対する福祉面、防災面での情報把握の必要性を説明【自治会】(再) E要支援者カード、名簿の作成【自治会】(再)
【生活環境整備】 ①毎年、海岸集落は海岸清掃を行っているが漂流物が増え小さい集落では対応できない ②側溝掃除、海岸清掃等の共同作業に参加できるのにしない人が増えてきているので出不足金を徴収するか検討しているところもある ③住民の高齢化により共同作業に参加できる人が少なくなった。草刈りなど危険が伴う作業は免除しなくてはならない	A海岸の漂流ごみ対策 B共同作業への参加の推進 C共同作業の委託化、ボランティア導入等の検討	A県の清掃事業や清掃ボランティアと連携した海岸清掃の実施【自治会・県・市】 A釣りや海水浴等の海岸利用者による経費負担制度の確立【自治会】 B共同作業への参加要請【自治会】 C高齢化により共同作業が困難になってきた自治会においては、業者への委託やボランティア団体、大学生、地区自治会への協力を依頼する【自治会・地区自治会】
【財産管理】 ①築後 30 年を経過した自治公民館が多く、修繕や施設管理費が多くなった ②広い集落では、有線放送設備の配線等の修繕費が多額で財政的に困っている ③相続登記が行われていないために、役員等の名義不動産の自治会への所有権移転登記ができない ④自治会所有している、山林の境界がわかる人がなくなった ⑤公民館・神社等の清掃、雪下ろし、雪囲い等の共同作業が人口減少や高齢化により困難になってきた	A施設の維持管理計画の策定及び修繕費の積立 B自治公民館の維持管理費の節約 C有線放送設備の代替設備の検討 D自治会所有の山林、土地等の財産台帳の整備 E共同作業の委託化、ボランティア導入等の検討 (再)	AB修繕及び維持管理計画の策定と資金の積み立て、公民館類似施設整備補助金の活用【自治会】 C情報伝達ツールとして、有線放送からメンテナンスが容易な無線システムへの切替【自治会】 D地縁団体としての法人化を進め、自治会名義への所有権移転登記【自治会】 E高齢化により共同作業が困難になってきた自治会においては、業者への委託やボランティア団体、大学生、地区自治会への協力を依頼する【自治会・地区自治会】(再)
【情報伝達・収集】 ①色々な分野で、行政から情報を提供されない場合が多くなった	A独自の情報収集体制の確立	A地域庁舎からの定期的な情報提供の場の創出と情報を収集する連絡体制の確立【自治会・市】

【行政との関わり】 ①行政と自治会との役割や仕事の区分が不明確な場合がある	A役割の明確化	A行政からの事業に対する説明及び話し合う機会の場の創出【自治会・市】
【その他】 ①温海地域以外の自治会、町内会との違いの理解ができない場合が多い ②繰越金が少なく、4・5月支払のために銀行から借り入れを行っている	A組織の相違点の学習 B財政の健全化 C年度当初の運営費の確保	A自治組織としての目的、役割を学ぶ研修会の開催【自治会・市】 BC事業の見直しや管理費の節約など財政の健全化に取り組むことで繰越金を確保し、年度当初の事業費を確保する【自治会】

(2) 地域（住民）が抱える課題

現状、問題意識	課題項目	具体的取り組みのアイデア (地域資源活用方策含む※具体的取り組みを設定するうえで地域資源の活用ができるものがあれば記載)
【地域連帯感の希薄化、帰属意識の低下】 ①同級生とは交流するが、目上の人との交流を避ける傾向にある ②農繁期の「結い」や冠婚葬祭時の「契約講」もほとんど無くなり隣近所の付き合いが希薄になった	A世代間交流の推進(再) B近所・隣組での交流会の実施	A世代間交流を目的とした交流事業の実施【自治会】(再) A伝統行事や既に行われなくなった事業の復活などを通して次世代を担う住民への継承作業の実施【自治会】(再) B隣組単位での話し合いや交流の場の設定【自治会】
【高齢化の進展(高齢者の増加)】 ①高齢化率が39.2%になったが、団塊世代の高齢化により更に加速されると思われる ②老老介護が始まっている ③高齢者は、以前からあった集落内の商店がなくなり買い物が不便になった ④高齢者を狙った振り込め詐欺、悪質訪問販売が増えており、実際に振り込め詐欺を未然に防いだ事件があった ⑤災害時における高齢者等の災害弱者の避難体制の確立が急がれる ⑥高齢者世帯の雪下ろしが困難になってきた	A超高齢化社会への対応策 B老老介護への対応 C高齢者の買い物対策 D振り込め詐欺、悪質訪問販売の対策強化 E高齢者の災害時の対応 F除雪ボランティアなど支援体制の確立	AB高齢者を地域で支える仕組みの検討【自治会】 AB高齢者の健康づくりのための教室の開催【自治会・市】 C山村地域での買い物等生活支援のあり方について検討を行う【自治会・市】 D県や市の消費生活センターと連携しての研修会の開催や啓発活動を実施する【自治会・市】 E各自治会において、定期的な避難訓練や防災意識を高めるための取り組みを実施する【自治会】 F有志や学生ボランティア等による除雪体制の構築を図り、高齢者世帯の雪下ろしなどの負担軽減を図る【自治会】 F市除雪費助成制度の活用を図る。【自治会・市】
【少子化の進展(子どもの減少)、子育て環境の変化】 ①外で遊んでいる子供を見ることがなくなった ②集落内の子供がどこの家の子かわからなくなった ③自然に親しむことがないため、海の子が魚、海産物の名前、山の子が山菜の名前を知らなくなった ④小学校の統廃合により、地域の文化を学ぶ機会が少なくなる	A子供の自然体験の推進 B地域の残る伝統文化の継承	A公民館活動において、温海地域の豊かな自然や文化に親しむ機会を積極的に創出する【自治会】 B地域に伝わる伝統芸能の継承を図るため、子供たちが学び、発表する機会を創出する。合わせて衣装・用具も整備する【自治会】
【晩婚化、未婚化の進展】 ① 村部に限らず晩婚や未婚が増えている	A若者・男女の交流の場、出会いの場の確保 B若者の職場の確保 C若者のスポーツの推進	A地域で行われている「婚活事業」の情報提供や若者を対象とした交流事業の実施【自治会・市】 B雇用の場の確保【市】 C若者を対象としたスポーツ交流会の開催【地区自治会】
【若者の流出】 ①一度は都会に出て、その後Uターンしてくるが仕事がないと再び出ていく ②仕事が無いと「とじこもり」や「ニート」のような片寄せた生活をおくる若者が増えた ③結婚や子供の小学校入学を契機に転出する	A再転出の防止対策 B地元の仕事の創出 CUターンした若者の受入態勢の検討 D青年が主体の交流活動の推進	A子供の頃から地域の自然や文化、地域行事等に触れあう機会を多く作ることで郷土愛を醸成する取り組み【自治会】 AC今住んでいる人が楽しくいきいきと幸せに暮らしている魅力ある地域づくり【自治会】 B雇用の場の確保【市】 CD若者を対象とした交流会の開催【地区自治会】
【日中人口の減少】 ①地域外への職場に勤める人が多いため、日中の人口が少なく、その間の防災体制に不安がある	A企業誘致等による職場の確保 B新規事業、観光産業の推進 C防災意識の向上 D隣近所の見守り体制の強化	A雇用の場の確保【市】(再) B観光地としての産業の育成【市】 C防災訓練、避難訓練、初期消火訓練、研修会の開催など地域防災力の向上、防災意識の高揚【自治会】(再) D要支援者に対して「要支援者カード」の必要性を説明し、作成に取り組む【自治会】

<p>【地域伝統芸能文化の継承】</p> <p>①伝統芸能・祭典が数日にわたって行われる際、会社から休暇がもらえない場合がある</p> <p>②祭典等で羽織・袴・理容・美容等に係る経費が負担になっている</p> <p>③祭典等の役回りに高齢者が応じられなくなり継承が危ぶまれている</p> <p>④高齢化により途絶えてしまった伝統芸能文化も多い</p>	<p>A祭典等への参加体制の検討</p> <p>B祭典の工夫と簡素化</p> <p>C地域に継承されてきた伝統芸能文化の記録保存</p>	<p>A伝統芸能や祭典の広報活動により、その継承に対する地域の理解を深め、参加しやすい土壌・風土を地道に構築していく【自治会】</p> <p>B祭典の経費負担についての検討を行い、個人負担の軽減を図る【自治会】</p> <p>C過去に演じられた映像や唄などの音声記録を劣化、紛失しないうちにデジタルデータにて記録保存を行う【自治会】</p>
<p>【地域団体の活力低下、多様化】</p> <p>①多種多様のサークル・団体等はあるが、それらを連携し活用できていない</p>	<p>A総合コーディネートやネットワークシステムの確立</p>	<p>A各種団体の連携や交流を推進し、活動の活性化を図る【自治会】</p>
<p>【空き家の増加】</p> <p>①大きい集落においては、50軒もあり、防災・防犯・衛生面から管理に苦慮している</p> <p>②土地も含め空き家も売却したいが相手方が見つからない現状である</p> <p>③台風、地震においては、老朽化した空き家が心配される</p> <p>④廃業した旅館が観光地のマイナスイメージになる</p>	<p>A空き家管理体制の確立</p> <p>B危険空き家の把握とその対応策の検討</p> <p>C空き家や廃業旅館の利用促進</p>	<p>AC空き家データベースの構築により、移住希望者や利用希望者への的確な情報提供を行うことで、その有効活用を図る【自治会】</p> <p>AB空き家所有者もしくは管理者を把握し、何かあった時の連絡体制を明らかにしておく【自治会・市】</p>
<p>【地域交通の不便さ】</p> <p>①高齢者は、バスの運行数が少なくなり通院、買い物等が不便になった</p> <p>②バス利用が減少していることで、いつバス事業者から運行廃止されるか不安</p>	<p>A利用しやすいバス運行体系の検討</p> <p>Bバスに替る交通機関の検討</p>	<p>A公共交通の利用者増に向けたニーズの把握と話し合いの場の設定【自治会・市】</p> <p>B利用者の視点による新たな交通体系の検討【自治会・市】</p>
<p>【その他】</p> <p>①サルの被害が増え耕作意欲をなくす農家が増えている</p> <p>②農家が少なくなり、農業用水路の管理や、農業生産組合、機械利用組合の存続も難しくなってきた</p> <p>③これまであった医療機関がなくなり緊急時の対応が心配される</p>	<p>A行政、自治会と連携した鳥獣被害対策の実施</p> <p>B農家の所得向上対策の推進</p> <p>C耕作放棄地の防止対策</p> <p>D中山間部の医療体制の確立</p> <p>E隣近所の見守りの重要性</p>	<p>A行政・自治会と連携した鳥獣被害対策の取り組み【自治会・市】</p> <p>BC産地直売や3万円ビジネス等農家の所得向上に向けた取り組みを地域あげて検討する【自治会】</p> <p>D通院に便利な交通体系の検討【自治会・市】</p> <p>D高齢者の健康づくりのための教室の開催【自治会・市】(再)</p> <p>E「安心カード」「福祉カード」の全域的取り組みにより、緊急時の初期対応が迅速に行える環境作り【自治会】</p>